

1865迄 (2324件)

- 1861年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事代行「トウアルテ・レオ・カブレイラ」(~1862年)
- 1861年-08:00|マレーシア| |||<就任>スグリ・スンビラン統治者(ヤン・デ・イ・ヘルトウアン・ベ・サル)「ヤムトウアン・ウリン・アル=マルフム・ラジヤ・アリ」(~1869年没)
- 1861年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Muhammad Arsad」(~1876年)
- 1861年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「フンショ・ナムギヤル」(~1864年)
- 1861年-05:30|インド| |||<就任>サントウル国統治者(ヒンドゥー・ラオ、マリカット・マダール)「シウ・アサカ・ラオ」(~1876年)
- 1861年-05:30|インド| |||<就任>ダスマラ国ラジヤ「ナルシハ・テ・オ・バ・ニ」(~1873年1月)
- 1861年-05:30|インド| |||<就任>ハガット国統治者(ラ)「ウメイド・シン」(~同年没)⇒「ダリップ・シン」(~19111230没)
- 1861年-05:30|インド| |||<就任>ハンスダ国統治者(ラジヤ・マハラル)「ケラフ・シムジ 2世」(~18760213没)
- 1861年-05:30|インド| |||<就任>ミラジ国統治者(ラ)「カンパトラオ2世ティア・サヒブ・ハトワルタン」(~1875年没)
- 1861年-05:30|インド| |||<即位>シッキム王「シクオン・ナムゲル」(~1874年4月、死去)
- 1861年-05:30|インド| |||<退位>シッキム王「ツグ・フ・ナムゲル」
- 1861年-05:30|インド| |||チャンネリ国がケワリエルによって再併合される
- 1861年-05:30|インド/イギリス| |||ハルワニ国をイギリス領インドが統治(~1873年)
- 1861年-03:00|エリトリア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国マッサラ総督「ムハンマド・ラシフ・ベ・イ」(~1863年)
- 1861年-03:00|ペラルシ/ロシア| |||<就任>シシクのロシア軍臨時総督兼シシク県民事務管理者「ニコライ・マトウエヒビッチ・ヤフイモビッチ」(~同年)⇒「セルゲイ・イェゴロビッチ・クシエレフ」(~1862年)
- 1861年-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト大宰相「スルフィカル・ハシヤ」(2回目~1864年)
- 1861年-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督「メフメト・カイルツァー・ハシヤ」(~1862年3月)
- 1861年-02:00|モザンビーク| |||<即位>アンゴシエ・スルタン国スルタン「ムサ・ムハンマド・サヒブ・ムサ・クアント」(~1877年)
- 1861年-01:00|ガボン/フランス| |||<就任>ガボン・キニア湾入植地司令官「ポール・クロード・ニコラ・ブリュ」(~1863年)
- 1861年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ガボン/ポルトガル| |||<制定>ポルトガル保護領コンゴ王国(1888年に再確認~1914年)
- 1861年 00:00|モリタニア| |||<就任>アラル連合エミール「ムハンマド・ウルト・ウスマーン」(~?)⇒「アフマト・ウルト・シディ・アフマト」(~1871年)
- 1861年 04:00|ケレタ/イギリス| |||<就任>ケレタ副総督代行「アレクサンダー・ベイン」(1回目)⇒「コーネリアス・ヘントリクセン・コトライト」(4回目~1863年)
- 1861年1月-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バグダットのワリス「アフメド・テフフィク・ハシヤ」(~6ヶ月)
- 1861年1月-01:00|イタリア| |||イタリアで初の総選挙が行われる/ガエルデイも当選
- 1861年1月-01:00|チュニジア| |||チュニジアで立憲君主制の憲法を公布
- 1861年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連邦大統領「メルチオール・ヨセフ・マーティン・ケニセル」Lib(1期目~12.31)
- 1861年1月1日 07:00|メキシコ| |||ペラルス政府、内戦に勝利。国庫は破産状態
- 1861年1月2日-01:00|ドイツ| |||<死去>プロシエン国王「フリードリヒ・ヴィルヘルム4世」65歳(誕生17951015)
- 1861年1月2日-01:00|ドイツ| |||<即位>プロシエン国王「ヴィルヘルム1世」フリードリヒ・ヴィルヘルム4世の弟(~18880309死去90歳)
- 1861年1月3日-09:00|日本/ロシア| ||万延1年11月23日|幕府日露条約締結
- 1861年1月4日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア帝国閣僚評議会議長「ライナー・フォン・エスターライ化大公」(~18650626)
- 1861年1月4日-01:00|ドイツ| |||<初演>ヨハネス・ブラームス《弦楽六重奏曲第1番変ロ長調Op. 18》
- 1861年1月6日-04:00|日本|長崎県長崎市|万延1年11月26日|暁、長崎茂木村本郷の漁師弥六宅より出火、烈風にあおられ大火に、344軒が焼ける
- 1861年1月9日 06:00|アメリカ| |||<脱退>アメリカ合衆国:ミシシッピ州
- 1861年1月10日-09:30|オーストリア| |||<就任>ニューサウスウェールズ植民地政府首相「チャールズ・クーパー」無所属(~18631015)
- 1861年1月10日 06:00|アメリカ| |||<脱退>アメリカ合衆国:フロリダ州
- 1861年1月11日 06:00|アメリカ| |||<脱退>アメリカ合衆国:アラバマ州
- 1861年1月12日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍外輪スループ「フルトン」(1200t)アメリカ連合国軍に拿捕
- 1861年1月14日 04:00|ボリビア| |||<就任>ボリビア共和国大統領「政府機関:ルパート・フェルナンデス/ルセ・マリア・デ・アチャ・バリエンテ/ヌニョ・アントニオ・サンチェス(18610409まで)」(~5.4)
- 1861年1月14日 04:00|ボリビア| |||ボリビア軍部によるクーデター。リナス政権崩壊。ルセ・マリア・アチャ・バリエンテ將軍はラパス軍司令官プラジト・イェバス大佐に命じルセ・コルトバをふくむベルス支持者71人を虐殺。「イェバスの殺人」として知られる
- 1861年1月14日-09:00|日本/アメリカ|東京都港区|万延1年12月4日|米国公使館通訳のヒュースケン、中ノ橋付近で攘夷派薩摩藩士に襲撃され翌日死亡
- 1861年1月17日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア閣僚会議議長(首相)「アナタシー・ハナイイッチェ・ハヌ」(~9.23)
- 1861年1月17日 05:00|エクトル| |||<就任>エクトル国暫定大統領(⇒18610402大統領「ガブリエル・ガルス・モレノ」(~18650830))
- 1861年1月19日 06:00|アメリカ| |||<脱退>アメリカ合衆国:ジョージア州
- 1861年1月20日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア国務院議長・閣僚委員会委員長「ケラフ・ト・ミトリ・ニコラエヴィチ・フルトフ」(~18640302没)
- 1861年1月20日-04:00|ロシア/中国| ||清・咸豊10年12月10日|清が外交にあたる総理衙門を設置
- 1861年1月21日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールト=ゴースト総督「コーネリス・ヨハネス・マリウス・ナゲラ」(2回目~18620623)
- 1861年1月23日-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア・ヘルツェゴビナ総督「シエリフ・トハール・オスマン・ハシヤ」(1回目~18690121)
- 1861年1月23日-09:00|日本|東京都中央区|万延1年12月13日|江戸八丁堀から築地にかけて大火

1865迄 (2324件)

- 1861年1月24日-09:00|日本|ドイツ| ||万延1年12月14日|幕府、ロシアと修好通商条約調印
 1861年1月25日 05:00|ロシア| |||<就任>グラーナダ 連合大統領「ファン・ホセ・ニエト・ジラル」(反体制派~3.31)
 1861年1月26日 06:00|アメリカ| |||<脱退>アメリカ合衆国:ルイジアナ州
 1861年1月26日-09:00|日本|新潟県新発田市|万延1年12月16日|<高直し>越後新発田藩5万石「溝口直溥」⇒10万石(⇒慶応3(1867)年8月28日、隠居)
 1861年1月26日-09:00|日本| ||万延1年12月16日|寛永通寶精鉄四文銭铸造
 1861年1月29日 00:00|イギリス| |||<死去>6代キルフォート伯「フランス・ノース」
 1861年1月29日 00:00|イギリス| |||<就任>7代キルフォート伯「ダートリー・フランス・ノース」(~18851219死去)
 1861年1月29日 06:00|アメリカ| |||<加盟>カンザス準州⇒アメリカ合衆国カンザス州(34番目)
 1861年1月29日-09:00|日本|大阪府大阪市|万延1年12月19日|<死去>戯作者「暁鐘成」68歳
 1861年2月1日-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||ハトの自治権が廃止され、ハンガリーに再編入される
 1861年2月1日-01:00|セルビア/ハンガリー| |||ヴオイヴォディナはハンガリーに再編入
 1861年2月1日 06:00|アメリカ| |||<脱退>アメリカ合衆国:テキサス州
 1861年2月2日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「ホセ・イバテラネイ」(~18620707)
 1861年2月2日-01:00|モナコ| |||モナコ公国の主権回復、フランスの保護下で独立
 1861年2月4日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア閣僚会議議長(首相)代行「ゲオルゲ・コスタ・フォル」(~同年)
 1861年2月4日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「ライナー・フェルディナント・エルツァーク・フォン・オステルライヒ」(~18650727)
 1861年2月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ連合州議会議長「Robert Woodward Barnwell」Dem(数時間)⇒「Howell Cobb」Dem(~18日)
 1861年2月4日 06:00|アメリカ| |||<設立>アメリカ連合州(南部7州:サウスカロライナ州、ミシシッピ州、フロリダ州、アラバマ州、ジョージア州、ルイジアナ州)独立を宣言
 1861年2月7日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「セバスチャン・ロペス・デ・カリエロス・エ・メネズ」(~18620918)
 1861年2月7日-01:00|フランス/ベトナム| |||シャルネ提督がサイゴンに来航し、阮朝軍を撃破
 1861年2月7日-09:00|日本|東京都千代田区|万延1年12月28日|<就任>老中「松平信義」(~文久3年9月5日)
 1861年2月7日-09:00|日本|大阪府大阪市|万延1年12月28日|<就任>大坂城代「松平宗秀」(⇒文久2(1862)年6月30日)
 1861年2月9日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、南部諸州よりなるアメリカ連邦が、臨時大統領にミシシッピ州のジェファソン・デービス(53)を選出
 1861年2月10日-09:00|日本|北海道小樽市|万延2年|忍路環状列石(ストーンサークル)発見される
 1861年2月10日-09:00|日本| ||万延2年1月|<出版>一孟斎芳虎「万国人物図会」
 1861年2月10日-09:00|日本| ||万延2年1月|<出版>二代歌川広重「絵本江戸土産」八編
 1861年2月11日-09:30|オーストリア| |||パークとウリスがカーペンタリア湾に到着/初の大陸南北縦断に成功
 1861年2月12日 04:00|ボリビア/スペイン| |||スペインはボリビアの独立を承認
 1861年2月15日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラド・ロイスモ民政知事代理「Jose Inacio de Almeida Monjardino」PH(3期目)
 1861年2月16日-08:00|インドネシア| |||インドネシア、スマトラ島M8.4地震・津波、死者905人
 1861年2月16日-01:00|ドイツ| |||<死去>イゼンブルク=ビュデインゲン侯「エルスト・カジミール2世」
 1861年2月16日-01:00|ドイツ| |||<就任>イゼンブルク=ビュデインゲン侯「ブルーノ」(~19060126死去)
 1861年2月16日-09:00|日本|東京都|万延2年1月7日|<死去>二代目・中村翫雀
 1861年2月18日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ連合州大統領「ジェファソン・デービス」(~18650510) Dem
 1861年2月22日-04:00|ロシア| |||<施行>「農奴解放令」(ロシア皇帝アレクサンドル2世が19日発布)
 1861年2月22日 00:00|イギリス| |||<死去>2代サザラント公・3代スタッフォード侯「ジョージ・グランヴィル・サザラント=ルソン=ゴア」
 1861年2月22日 00:00|イギリス| |||<就任>3代サザラント公「ジョージ・グランヴィル・ウィリアム・サザラント=ルソン=ゴア」先代の長男(~18920922死去)
 1861年2月23日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国首相代行「ヘムストラ男爵シエラ」(1回目~18610314)
 1861年2月23日 06:00|アメリカ| |||テキサス州が連邦を脱退
 1861年2月24日-09:00|日本|東京都|万延2年1月15日|清水次郎長一家、森の石松の仇、吉兵衛兄弟を江戸の旅館で刺殺
 1861年2月25日-09:00|日本|東京都|万延2年1月16日|<死去>桂文治・5代(落語家) [1831年生~]
 1861年2月26日-01:00|オーストリア| |||オーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ1世(31)が、2月勅令憲法を公布
 1861年2月26日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||ダルマチアはオーストリア王領地
 1861年2月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>アーレンベルク公「フロスベル-ルトヴィヒ」
 1861年2月27日-01:00|ドイツ| |||<即位>アーレンベルク公「エンゲルベルト・アウグスト」(~18750328死去)
 1861年2月27日 00:00|イギリス| |||<死去>2代サザラント公「ジョージ・グランヴィル・サザラント=ルソン=ゴア」
 1861年2月27日 00:00|イギリス| |||<就任>3代サザラント公「ジョージ・グランヴィル・ウィリアム・サザラント=ルソン=ゴア」(~18920922死去)
 1861年2月27日-09:00|日本| ||万延2年1月18日|幕府が外国御用出役を設置(在留外人警護の為)
 1861年2月28日-01:00|イタリア| |||トリノで第1回国会が開かれる
 1861年3月 07:00|メキシコ| |||メキシコは大統領選挙に勝利
 1861年3月2日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「カシアス男爵・伯爵・侯爵ルイス・アルメス・デ・リマ・エ・シルバ」(2回目~18620524)

1865迄 (2324件)

- 1861年3月2日 06:00|アメリカ| |||<加盟>アメリカ連合国:テキサス州
- 1861年3月2日 06:00|アメリカ| |||<発足>フュージョン、タコタ準州とネバダ準州を設置する法案に署名
- 1861年3月2日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、モリス関税法成立
- 1861年3月3日-04:00|ロシア| ||ロシア暦2月19日|ロシア、アレクサンドル2世が農奴解放令に署名
- 1861年3月4日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国第16代大統領「アブラハム・リンカーン」共和党 (~18650415)
- 1861年3月11日 06:00|アメリカ| |||アメリカ南部連合議会、憲法を全会一致で採択
- 1861年3月11日-09:00|日本| ||万延2年2月|歌川芳信「亜墨利加飛鳥山」を描く
- 1861年3月11日-09:00|日本|東京都墨田区|万延2年2月|<大相撲>万延2年2月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東前頭)陣幕,9勝0敗1休
- 1861年3月12日-05:30|インド| |||<就任>カトマンズ王国統治者(ラジャイ・ラジガーン)「ランデー・ル・シン」(~18700402)
- 1861年3月13日-09:00|日本/ロシア|長崎県対馬市|万延2年2月3日|露艦「サドニク」、海軍根拠地設置を目的に対馬に来航、滞泊の許可を対馬藩に求める
- 1861年3月14日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ王国首相「スレイン・ファン・ナイエ」男爵「ジェイク・ヒーター・ホッペンシユス」(~1871.10)
- 1861年3月14日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督「ハリ・St. ジョージ・オード」大佐(1期目~18640615)
- 1861年3月14日-09:00|日本/ロシア|長崎県対馬市|万延2年2月4日|ロシア軍艦「サドニク」兵士が対馬芋崎に上陸して占拠
- 1861年3月17日-01:00|イタリア| |||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「カミッロ・ベンソ、コンテ・デ・イ・カール」(18600121から「サルデーニャ首相」)(~6.6)
- 1861年3月17日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「ウイットーリオ・エマヌエーレ2世」サルデーニャ王(~18780109死去) 首都はトリノ
- 1861年3月18日 04:00|トミカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・トミンゴ総督・総司令官「パドロー・サンタ・ファミリアス」(6.8から事実上代行~18620720)
- 1861年3月18日 04:00|トミカ共和国/スペイン| |||スペインがサント・トミンゴを併合(スペイン植民地サント・トミンゴ~18650504)
- 1861年3月20日 03:00|アルゼンチン| |||アルゼンチンで地震(M6.8) 死者1万8000人
- 1861年3月22日-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Benedikt von Riccabona」(~18790313)
- 1861年3月23日 01:00|カーホベルグ/ホルトガール| |||<就任>カーホベルグ総督「カロス・ホキン・フラン」(~18640425)
- 1861年3月25日-09:30|オーストラリア| |||メルボルンのシスター・ロイアルでウィリアム・リスターのオペラ劇団が旗揚げ
- 1861年3月25日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード知事代行「エドワード・ジョン・ホワージー」(~1861.5)
- 1861年3月28日-05:30|インド/イギリス| |||シッキムはイギリスの保護領(~19470814)
- 1861年3月28日 00:00|イギリス| |||イギリスのウィリアム・クルックスがトリウムを発見
- 1861年3月29日-09:00|日本| ||文久1年2月19日|文久に改元
- 1861年4月 04:00|セントクリストファー・ネイビス| |||<就任>ネイビス大統領「カル・アーサー・エドワード・ランボルト」(2度目~1863年)
- 1861年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「セッティミオ・ベルツィ」(「ジヤコモ・ベルティ」)
- 1861年4月1日 05:00|コロンビア/パラグアイ| |||<就任>グアラタ連合大統領代行「バルトロメ・カルボ・イ・デ・イアス・デ・ラマト・リット」(~7.18)
- 1861年4月2日-03:00|タンザニア/モザン| |||モザン領東アフリカが、ザンバル王国として分離独立
- 1861年4月4日-01:00|リヒテンシュタイン| |||<就任>リヒテンシュタイン公爵領管理者「カール・フライヘル・ハウス・フォン・ハウゼン」(~18840924)
- 1861年4月6日-01:00|スロベニア/ドイツ| |||<就任>ドイツ軍スロベニア地方長官「アントン・フライヘル・フォン・コテツリ・フォン・ファーンフェルト」(~18661119)
- 1861年4月10日 05:00|エクトル| |||エクトル、第7次憲法制定。「直接・普通選挙」を柱とする
- 1861年4月12日 06:00|アメリカ| |||南北に分裂した米国で、南軍が連邦のサムター要塞を砲撃/南北戦争が勃発(-65年)
- 1861年4月13日 06:00|アメリカ| |||北軍のサムター要塞が南軍の攻撃で陥落
- 1861年4月13日-09:00|日本|高知県高知市|文久1年3月4日|<永福寺門前事件>土佐上士、山田広衛、松井繁齊、郷土の池田寅之進に斬られる/池田寅之進、切腹
- 1861年4月14日-09:00|日本|東京都|文久1年3月5日|<死去>浮世絵師・歌川国芳(65, 1798年~)
- 1861年4月17日 06:00|アメリカ| |||<脱退>アメリカ合衆国:ヴァージニア州
- 1861年4月17日 06:00|アメリカ| |||New York & Old Dominion S. S. Lineの外輪旅客船Yorktownをヴァージニア州が接收し、改装(後にアメリカ連合国海軍に移管、アメリカ連合国外輪旅客船「パトリック・ヘンリー」(1300t)と改名)
- 1861年4月18日-01:00|ベナン/フランス| |||サン・ジョアン洗礼者デ・アジウタ砦がフランス宣教師によって占領された(~18650306)
- 1861年4月20日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍でラウエ級戦列艦「ラウエ」(2602t)、ホトマツ級フリゲイト「リタタン」(1726t)、ユナイテッド・ステーツ級フリゲイト「ユナイテッド・ステーツ」(2200t)、戦列艦「コロンバス」(2480t)、戦列艦「ペンシルヴェニア」(3241t)、メリマック級フリゲイト「メリマック」(4636t)ゴスポート造船所にてアメリカ連合国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1861年4月21日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍ホトマツ級フリゲイト「コロンビア」(1726t)ゴスポート造船所にてアメリカ連合国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分(⇒18671010, 引き揚げられ売却)
- 1861年4月22日 06:00|ホンジュラス/イギリス| |||英国とホンジュラス、ハイチ諸島およびモスキティヤ海岸の、ホンジュラスへの帰属を確認
- 1861年4月23日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|文久1年3月14日|<死去>出羽本荘藩2万石「六郷政殷」⇒6月5日、長男「六郷政鑑」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1861年4月25日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領スロベニア首長「カール・アレクサンダー・ウルビッチェ・エドラー・フォン・クラインフェルス」(~18620723)
- 1861年4月30日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア閣僚会議議長(首相)「バルブ・シュテファン・カルクウ」(~5.12)

1865迄 (2324件)

- 1861年4月30日-09:00|日本|福島県いわき市|文久1年3月21日|<加増>陸奥磐城平藩5万石「安藤信正」+1万石⇒6万石(文久2年8月16日隠居)
- 1861年5月-01:00|スペイン/ドミニカ共和国|||スペイン軍、ドミニカに上陸。最初の反乱が起こるがただちに鎮圧される
- 1861年5月 00:00|セネガル|||<就任>ケール統治者(ダニエル)「マゼヨジョゼゲンコウ・ファル」(1回目~12.8)
- 1861年5月 00:00|セネガル|||<就任>ファクトル統治者(アルマニ)「アマトウ・ビラン・ワン」(~1861年8月没)
- 1861年5月 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス|||<就任>トリニダード 知事「ロバート・ウィリアム・キート」(2期目~18640725)
- 1861年5月 07:00|メキシコ|||フランス、治安悪化に対処するため地方警察(ルアラス)を設置。のちにデイズによって弾圧機構として整備
- 1861年5月1日-01:00|オーストリア|||フランス・ヨゼフが新たに帝国議会を開催
- 1861年5月4日 04:00|ボリビア|||<就任>ボリビア共和国大統領「セルマリア・デ・アチャ・パリエテ」(18620815まで暫定~18641228)
- 1861年5月4日-09:00|日本|三菱重工業|文久1年3月25日|幕府の肥前飽之浦製鉄所が完成(総坪数8,226坪、現在の長崎造船所の前身)
- 1861年5月6日 06:00|アメリカ|||<脱退>アメリカ合衆国:アーカンソー州、テネシー州
- 1861年5月7日 06:00|アメリカ|||<加盟>アメリカ連合国:バージニア州
- 1861年5月8日 05:00|コロンビア|||自由党のモスケラがボゴタを占領。カホを追放
- 1861年5月9日 04:00|ガイアナ/イギリス|||<就任>イギリス領ギアナ総督代行「ウィリアム・ウオーカー」(4回目~18620107)
- 1861年5月10日-09:00|日本|||文久1年4月|<出版>葛飾為斎「花鳥山水図式」二編
- 1861年5月10日-09:00|日本|||文久1年4月|<出版>松川半山「宇治川兩岸一覽」
- 1861年5月11日 06:00|アメリカ|||アメリカ連合、首都をリッチモンドに定める
- 1861年5月12日-02:00|ルーマニア|||<就任>ワキア閣僚会議議長(首相)「ステファン・デイク・コレスク」(~7.11)
- 1861年5月13日-09:30|オーストラリア|||オーストラリアのテバットが彗星C/1861J1(テバット彗星)発見、C/1500H1と同一かもしれない
- 1861年5月14日 00:00|イギリス|||<死去>ベッドフォード公「フランス・ラッセル」
- 1861年5月14日 00:00|イギリス|||<就任>ベッドフォード公「ウィリアム・ラッセル」先代の子(~18720527死去)
- 1861年5月14日-09:00|日本|愛媛県大洲市|文久1年4月5日|伊予新谷藩火薬製造場で爆発、9人が死亡
- 1861年5月16日-09:30|オーストラリア/イギリス|||<就任>ニューサウスウェールズ 植民地総督「ジョン・ヤング」(~18671224)
- 1861年5月16日 06:00|アメリカ|||<加盟>アメリカ連合国:テネシー州、ノース・カロライナ州
- 1861年5月16日 06:00|アメリカ|||<就役>アメリカ海軍特務艦「ユニオン」(1114t;18610424,フィラデルフィアにて汽船をチャーターし、改装)
- 1861年5月17日-01:00|ハイチ/イギリス|||<死去>ベニントン湾英国領事「ヘンリー・グラント・Foote」
- 1861年5月17日-01:00|ハイチ/イギリス|||<就任>ベニントン湾英国領事代理「ウィリアム・McCoskry」(~18620129)
- 1861年5月18日-05:30|インド|||ボンベイで「タイムズ・オブ・インディア」紙が発刊
- 1861年5月18日 06:00|アメリカ|||<加盟>アメリカ連合国:アーカンソー州
- 1861年5月20日 04:00|セントビンセント/イギリス|||<就任>イギリス領セントビンセント副総督代行「アンソニー・マスケレイヴ」(1回目⇒18620510、副総督~1864年)
- 1861年5月21日-12:00|ニュージーランド|||ニュージーランドで第2次アングロ・マオリ戦争の停戦協定が成立
- 1861年5月21日 04:30|ベネズエラ|||<就任>ベネズエラ共和国大統領代理「ペドロ・グアル・エスカドロン」無所属(3期目~18610910)
- 1861年5月21日 06:00|アメリカ|||<脱退>アメリカ合衆国:ノース・カロライナ州
- 1861年5月21日 06:00|アメリカ|||アメリカ、南部連合、綿花輸出禁止法制定
- 1861年5月21日-09:00|日本/ロシア|長崎県対馬市|文久1年4月12日|対馬に停泊中のロシア軍艦「サトニック」乗組員、大船越瀬戸で藩民と衝突(ロシアの対馬占領計画事件)/住民松村安五郎射殺される
- 1861年5月25日-09:30|オーストラリア|||フランス・トマス・グレイ、西オーストラリア植民地の北西部探検を行う/その補給船「ルイン」号は、ニコル・ベイで真珠を発見、ここから真珠業が始まる
- 1861年5月31日-03:00|バレーン/イギリス|||バレーンの首長がイギリスと条約を結び、保護下に入ることになる
- 1861年6月-07:00|カンボジア|||カンボジア王弟ソウオ、コンポンチャムで挙兵
- 1861年6月-02:00|ウクライナ/ロシア|||<就任>ガリシア知事「Alexander Constantin Albert Graf Mensdorff-Pouilly」(1期目~18641027)
- 1861年6月1日 00:00|セネガル/フランス|||<就任>フランス領セネガル総督代行「レオルド・フランソワ・ステファン」(~12.1)
- 1861年6月1日 06:00|ロシア|||ロシアがベイ諸島領有権を獲得
- 1861年6月6日-01:00|イタリア|||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)代行「マルコ・ミンゲッティ」(1回目~12日)
- 1861年6月6日-09:00|日本/ロシア|||文久1年4月28日|函館奉行支配調役水野正太夫ら、貿易や国勢調査のため、ニコラエフスクへ派遣される
- 1861年6月9日-02:00|バングラ|||バングラで、組織法が公布される
- 1861年6月9日-01:00|ドイツ|||プロシヤで、議会主義を推進する進歩党が結成
- 1861年6月9日 06:00|アメリカ|||<就役>アメリカ海軍少佐級フリゲイト「サンティア」(1726t,ボーツマス海軍工廠で建造)
- 1861年6月11日 06:00|アメリカ|||<設立>ウェストバージニア(バージニア州から分離)アメリカ合衆国に参加
- 1861年6月12日-01:00|イタリア|||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「フロイ伯爵ベッティーノ・リッソリ」(1回目~18620303)
- 1861年6月19日-02:00|ルーマニア|||<就任>ワキア閣僚会議議長(首相)代行「ヴァシル・イオルク・チェ・マリヌク」(~同年)
- 1861年6月21日-01:00|ナミビア/イギリス|||イチョベ島がイギリスに併合される

1865迄 (2324件)

- 1861年6月22日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久1年5月15日|A・W・ハンサート、日本初の英字新聞「ナガサキ・シッピング・リスト・アンド・アトバタイザ」を創刊
- 1861年6月22日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久1年5月15日|長崎大浦居留地に日本初のボウリング場「インターナショナル・ボウリング・サロン」が開業
- 1861年6月25日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第31代スルタン「アブデュルメジト1世」38歳(誕生18230223)
- 1861年6月25日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第32代スルタン「アブデュルアズィズ」先代の弟、30代マフムト2世の子(~18760530廃位~同年死去)
- 1861年6月27日-09:00|日本|東京都中央区|文久1年5月20日|清河八郎、水戸浪士との会合の帰途日本橋の路上で町人を斬殺
- 1861年6月28日-01:00|スペイン| |||<ラタガの叫び>、共和制と土地分割を求めて農民が蜂起
- 1861年6月29日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス女流詩人「ブラウニング」/55歳(誕生18060306)病身ながら詩作に精進した
- 1861年6月29日-09:00|日本| ||文久1年5月22日|亥方異星あり。光芒長し
- 1861年6月30日-09:00|日本|東京都|文久1年5月23日|<死去>医学者・石井宗謙(66歳)病没
- 1861年7月-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン長官「ムハンマド・ラシク・ベイ」(~1863年)
- 1861年7月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合国外輪旅客船「トマス・ジョージアソン」(1500t;1861.4,リッチモンドにて外輪旅客船「ジェームズ・タウン」を拿捕し、改装)
- 1861年7月1日-01:00|パチカン| |||パチカン新聞「オセルウ・アトレ・ローマ」創刊
- 1861年7月2日-09:00|日本/ロシア|北海道函館市|文久1年5月25日|ニコライ・カサトキンが箱館に上陸し正教を伝道
- 1861年7月4日-09:00|日本|広島県福山市|文久1年5月27日|<死去>備後福山藩11万石「阿部正教」23歳⇒6月17日、弟「阿部正方」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年11月22日、20歳で死去)
- 1861年7月5日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「フレデリック・ランボート・バーナード」(~18640305)
- 1861年7月5日-09:00|日本/イギリス|東京都品川区|文久1年5月28日|攘夷派の水戸藩士らが品川東禅寺のイギリス仮公使館に侵入し、イギリス人水兵2名を殺害(第二次東禅寺事件)。水戸浪士・有賀重信らを含み14名から成る犯人は、2名斬死・1名重傷のち捕らわれて死亡・3名は後に自刃
- 1861年7月10日-09:00|日本| ||文久1年6月3日|伊東玄朴、手術にクロホルム麻酔を使う
- 1861年7月11日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア閣僚会議議長(首相)代行「コンスタンティン・バルブ・バルチェスク」(~19日)
- 1861年7月12日-12:00|ニュージーランド| |||<就任>ニュージーランド 首相「ウィリアム・フォックス」(2回目~18620806)
- 1861年7月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、公債法成立
- 1861年7月17日-09:00|日本|京都府綾部市|文久1年6月10日|<交替>丹波綾部藩19500石「九鬼隆都」隠居⇒長男「九鬼隆備」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1861年7月18日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国宰相「アンタル・ゲル・フォルガツァ・ギ・メシ・エス」(~18640422)
- 1861年7月18日 05:00|コロンビア/パナマ/ブラジル| |||<就任>グアタマラ連合暫定大統領「トマス・シグリアーノ・イグナシオ・マリア・デ・モスケラ・フィゲロア・イ・アルカレタ・サラザール」(2回目~18630204)
- 1861年7月19日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア閣僚会議議長(首相)「デ・イミトリー・ゲリゴール・ブリンベ・ギカ」(~18620122)
- 1861年7月19日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「キーストン・ステート」(1364t;18610610, Ocean Steam Navigation Co. の汽船を海軍が購入し、フィテラルフ海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年7月21日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:第一次ブルランの戦い>バージニア州マサスでの最初の陸上戦で、北軍が南軍に惨敗
- 1861年7月22日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ウィリアム・ヒル」(1回目~8月)
- 1861年7月26日-09:00|日本| ||文久1年6月19日|幕府、庶民の大船建造と外国商船購入を解禁し国内輸送使用を認める
- 1861年7月29日 00:00|イギリス| |||<死去>2代バッキンガム=シャントス公・5代テンポル伯・2代ストーのテンポル伯・4代ニュージエント伯「リチャード・フランタジネット・テンポル=ニュージエント=ブリッジ=シャントス=グレンヴィル」
- 1861年7月29日 00:00|イギリス| |||<就任>3代バッキンガム=シャントス公・6代テンポル伯・3代ストーのテンポル伯・5代ニュージエント伯「リチャード・フランタジネット・キャンベル・テンポル=ニュージエント=ブリッジ=シャントス=グレンヴィル」(~18890326死去)
- 1861年7月29日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「ロード・アイランド」(1517t;18610627, Spofford, Tileston & Co. の汽船Eagleを購入し、ニューヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年7月29日-09:00|日本|長崎県|文久1年6月22日|<創刊>「商業新聞」、週二回英語、A. W. ハンサート(~8月27日)
- 1861年7月30日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ラッセル伯「ジョン・ラッセル」(~18780528死去)
- 1861年7月30日 05:00|コロンビア/パナマ/ブラジル| |||<就任>グアタマラ連合大統領代行「イグナシオ・グティエレス・ベルガラ」(反乱~18620125)
- 1861年8月-01:00|セルビア| |||セルビアで議会法制定
- 1861年8月 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「トマス・ハートウィック・スミス」(~9.24)
- 1861年8月1日-05:30|インド| |||インド 参事会法が発効
- 1861年8月2日-09:30|オーストラリア| |||<就任>タスマニア植民地政府首相「トマス・チャップマン」(~18630120)
- 1861年8月5日 06:00|アメリカ| |||アメリカ連邦が、陸海軍の資金調達のため、初めて所得税を設ける
- 1861年8月6日-05:30|インド| |||インド 高等裁判所法が成立
- 1861年8月6日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「メフメト・エミン・アリ・パシャ」(4期目~11.22)
- 1861年8月6日-01:00|ナジエリア/イギリス| |||<就任>ロス植民地総督代理「ウィリアム・McCoskry」(~18620122)
- 1861年8月6日-01:00|ナジエリア/イギリス| |||ロスと隣接地域は英国に割譲された
- 1861年8月6日 06:00|アメリカ| |||リンカン、第1次反乱者財産没収法案に署名

1865迄 (2324件)

- 1861年8月6日-09:00|日本/アメリカ| ||文久1年7月|アメリカ木造帆船「デニールブートル」(1851年、アメリカ・ボストンで建造)を幕府が購入し「千秋丸」と改称
- 1861年8月6日-09:00|日本|石川県金沢市|文久1年7月|兼六園噴水完成(日本最古)
- 1861年8月10日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:ウィルソズ・クリークの戦い>北軍敗北しミズーリ州の内戦激化
- 1861年8月12日-01:00|ナビア/イギリス| ||ベニン諸島がイギリスに併合される(ホルムズバード島、マキュー島、アザラシ島、ベニン島、ハリファックス島、ホセーション島、アルバトロソック島、ホチ島、シクレア島、ロンク島、フラムディング島)
- 1861年8月13日-09:00|日本|香川県高松市|文久1年7月8日|<交替>讃岐高松藩12万石「松平頼胤」隠居⇒9日、養子「松平頼聡」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1861年8月15日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ケープ植民地総督代行「ロバート・ヘンリー・ウインヤート」(2度目~18620115)
- 1861年8月16日-03:00|マダガスカル| ||<死去>マダガスカル女王「ラヴァルナ1世」83歳
- 1861年8月16日-03:00|マダガスカル| ||<即位>マダガスカル王「ラマ2世」(~18630512殺害される)
- 1861年8月21日 06:00|アメリカ| ||<購入改装>Livingston Crocheron & Co.の外輪汽船⇒アメリカ海軍ビエンガイル級外輪戦闘艦「デット」(1558t)
- 1861年8月22日-08:00|中国| ||清・咸豊11年7月17日|清朝第9代皇帝文宗咸豊帝死去/30歳(誕生:18310717)
- 1861年8月23日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「コネカット」(1725t;18610718, ニュー・ヨークにてNew York & Savannah Steam Navigation Co.の外輪汽船Mississippiを購入、大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年8月29日-01:00|オーストラリア| ||<初演>ランツ・ペーター・シュヘルト《歌劇「陰謀者たち」
- 1861年8月29日 04:30|ベネチア| ||<就任>ベネチア大統領「ルチアノ・パニス」(~18630615)
- 1861年8月31日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|文久1年7月26日|<死去>遠江横須賀藩35000石「西尾忠受」⇒10月13日、長男「西尾忠篤」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年9月5日、安房花房藩35000石へ移封)
- 1861年8月31日-09:00|日本|東京都|文久1年7月26日|桜田門に井伊大老を襲撃せる水戸浪士、金子孫二郎、岡部三太郎等数名、江戸で刑死
- 1861年9月-03:00|イラク/トルコ| ||<就任>バグダットのワリス「コンヤリ・ムト・ナミク・ハシヤ」(2回目~1868年3月)
- 1861年9月-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国ウイェイン・ワリス(総督)「アルヴト・スレイマン・レフト・ハシヤ」(~1864年4月)
- 1861年9月-01:00|ナインシア/イギリス| ||<就任>ヒアワ湾英国領事「Richard フランス・Burton卿」(~1864.9)
- 1861年9月-01:00|フランス/ベトナム| ||ベトナムでチュオン・ティンの抗仏武装蜂起が始まる
- 1861年9月2日-08:00|インドネシア/オランダ| ||<就任>オランダ領東インド総督代理「Ary Prins」(1期目~10.19)
- 1861年9月2日-01:00|ドイツ/中国| ||清・咸豊11年7月28日|清が、プロシアと天津通商条約に調印
- 1861年9月3日 06:00|アメリカ| ||南軍のロニダス・ホーク少将がミシシッピ川を見下ろす崖のキーとなる陣地であるケンタッキー州コロンバスを占領
- 1861年9月4日-05:30|インド| ||<就任>ケアンギャル国ラジャ「タヌルジャイ・ナヤン・ハンツ・デオ」(~19051027)
- 1861年9月5日 06:00|アメリカ| ||北軍のクリス・グラント准将がバテューカを占領
- 1861年9月5日-09:00|日本|東京都|文久1年8月|江戸で武市半平太ら下級武士・郷士・村役人層を中心とする土佐勤王党を結成
- 1861年9月6日-09:00|日本| ||文久1年8月2日|ハンサートの欧字新聞「The Nagasaki Shipping -list and Advertisement」が28号で廃刊
- 1861年9月10日 04:30|ベネチア| ||<就任>ベネチア共和国大統領「Jose Antonio Paez Herrera」(3期目~18630617)PC
- 1861年9月10日 04:30|ベネチア| ||連邦戦争、連邦党の勝利で終結
- 1861年9月10日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|文久1年8月6日|<交替>摂津尼崎藩48000石「松平忠栄」隠居⇒七男「松平忠興」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1861年9月10日-09:00|日本|山形県鶴岡市|文久1年8月6日|<交替>出羽庄内藩14万石「酒井忠発」隠居⇒弟「酒井忠寛」が継ぐ(⇒文久2(1862)年9月17日、死去)
- 1861年9月11日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カリヤ諸島市民知事「Diego Vazquez y Carranza」(~18630608)
- 1861年9月11日 06:00|アメリカ| ||ケンタッキー州、中立を放棄し連邦に加わる
- 1861年9月16日-09:00|日本|秋田県由利本荘市|文久1年8月12日|<死去>出羽亀田藩2万石「岩城隆政」⇒10月16日、弟「岩城隆邦」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、2000石減封され18000石、隠居)
- 1861年9月16日-09:00|日本|新潟県上越市|文久1年8月12日|<死去>越後高田藩15万石「榊原政愛」⇒甥「榊原政敬」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1861年9月17日 03:00|アルゼンチン| ||ミトレのひきいるブエノスアイレス軍、ふたたび決起/パボンの戦いで連合軍を打破る/ミトレがアルゼンチン連合の臨時大統領になる
- 1861年9月18日 04:00|チリ| ||<就任>チリ共和国大統領「ルチアノ・パニス」(~18710918)
- 1861年9月19日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>スペイン王領カリヤ諸島総司令官「Mariano Rebagliato y Pescetto」(~18631201)
- 1861年9月19日-09:00|日本/ロシア|長崎県対馬市|文久1年8月15日|ロシア軍艦対馬占領事件:ホサート・ニコ号が芋崎浦を退去
- 1861年9月20日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「ジームズ・アジヤ」(1152t;18610720, ニュー・ヨークにてSpofford, Tileston & Co.の汽船を海軍が購入し、ニュー・ヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年9月20日-09:00|日本| ||文久1年8月16日|幕府、ホソの建議に基づき、長崎下長崎村小島郷佐古稻荷岳

1865迄 (2324件)

- に日本初の西洋式病院小島養生所と医学所を設立/2階建2棟には洋式8病室・124床・手術室・薬品室・隔離室・浴室・調理室を備える/隣接した医学所が入る別棟に教室・講義室・奇宿舍をもつ(→8. 17診療開始)
- 1861年9月24日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ウィリアム・ヒル」(~2回目~10. 11)
- 1861年9月25日-04:00|セイシェル/イギリス| |||<就任>イギリス領セイシェル長官代「シリアン・エルモガン・ウヅエヌ・デュピュイ」(1度目~1. 17)
- 1861年9月26日 00:00|イギリス| |||<ゴルフ>第2回全英オープン選手権優勝:トム・モリス・シニア(スコットランド/163)
- 1861年9月28日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「オーガスタ」(1310t;18610801ニューヨークにてNew York & Savannah Steam Navigation Co. の外輪汽船を購入、ニューヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年9月29日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランドの女流作曲家パダージェフスカ/27歳(誕生1834年)/「乙女の祈り」
- 1861年9月30日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍アラバマ級外輪戦闘艦「アラバマ」(1261t;New York & Savannah Steam Navigation Co. の外輪汽船を購入、ニューヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年10月-05:30|インド| |||<就任>ダミアン国ジャトンプツンイギリス領インド統治下(~1865年5月)
- 1861年10月-03:00|サウジアラビア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国ビジャース総督「アフメド・イェット・ハシャ」(~1864年9月)
- 1861年10月-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのクリス「メフメド・ラシット・ハシャ」(~1862年4月)
- 1861年10月 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| |||<就任>ヴァージン諸島主席「ジェームズ・ロバート・ロングデン」(~1865年)
- 1861年10月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「ハッテラス」(1126t;18610925, 汽船St. Mary'sを海軍が購入し、フィラデルフィア海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ルキオール・ピリビ」(トメニコ・ファットリ)
- 1861年10月1日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合国クルザー「ナッシュヴィル」(1221t;チャールストンにてニューヨーク〜チャールストン間の外輪旅客船を取得し、クルザーに改装⇒1862年、ピュフォートにて民間に売却、封鎖突破艦船に改装、トマス L. ラグと改名)
- 1861年10月3日-12:00|ニュージーランド/イギリス| |||<就任>イギリス連邦ニュージーランド総督代行「ロバート・ヘンリー・ウインヤート」(2回目~12. 4)
- 1861年10月4日-09:00|日本|東京都墨田区|文久1年9月|江戸常泉寺諸堂再興
- 1861年10月4日-09:00|日本/アメリカ|北海道函館市|文久1年9月|アメリカ船「アルキ」(1856年、フェルハーフンで建造)を函館奉行が購入し「健順丸」と改称
- 1861年10月5日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア閣僚会議議長(首相)「アレクサンドル・コンスタンティン・モルダ」18620122)
- 1861年10月5日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍アラバマ級外輪戦闘艦「フロリダ」(1261t;18610812New York & Savannah Steam Navigation Co. の外輪汽船を購入、大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年10月8日-09:30|オーストラリア| |||<就任>南オーストラリア植民地政府首相「ジョージ・ウォーターハウス」(~18630704)
- 1861年10月8日-09:00|日本|島根県安来市|文久1年9月5日|<死去>出雲広瀬藩3万石「松平直諒」⇒「松平直巳」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1861年10月9日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区暫定民政知事「Juvenal Honorio de Ornelas」(~18日)
- 1861年10月11日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「ステイブン・ジョン・ヒル卿」(4回目~18620722)
- 1861年10月17日-09:30|オーストラリア| |||19人の白人がコレイショウ・ウィルズの牧場でアボリジナルに殺される/170人以上のアボリジナルが報復に殺害されたと言われる
- 1861年10月17日-01:00|ポーランド| |||ポーランドで赤党が創設される
- 1861年10月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区暫定民政知事「Antonio Correia Heredia」(~18620113)
- 1861年10月19日-08:00|インドネシア/オランダ| |||<就任>オランダ領東インド総督「Ludolph Anne Jan Wilt Sloet van de Beele」(~18661025)
- 1861年10月21日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首席大臣「イリヤ・ガラシヤニン」(2回目~18620322)
- 1861年10月21日 00:00|イギリス| |||<就任>初代カマティ女伯「(サザラント公爵夫人)アン・サザラント=ルソン=コア」(~1881125死去)
- 1861年10月21日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>ポールズブラフの戦い>バージニア州ラウドン郡で、北軍ジョージ・マクレラン少将の北バージニアにおける作戦の一部として行われた戦闘で、南軍が北軍を破って壊走させ北軍兵の223名が戦死
- 1861年10月23日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ビエンガイル級外輪戦闘艦「ビエンガイル」(1558t;18610814, Livingston Crocheron & Co. の外輪汽船を購入、大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年10月23日-09:00|日本|長崎大学|文久1年9月20日|幕府、長崎に日本初の西洋式病院小島養生所と医学所を設立
- 1861年10月25日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州総督「ハリラモンのモンク子爵(18660712からモンク男爵)チャールズ・スタンレー」(11. 28まで代行~18670630)
- 1861年10月26日-01:00|ドイツ| |||ドイツのライプツィヒが音を電気信号に伝える装置を考案し、フランクフルトの物理学協会で公開実験を行った
- 1861年10月28日-09:00|日本|大阪府高槻市|文久1年9月25日|<交替>摂津高槻藩36000石「永井直輝」隠居⇒養子「永井直矢」が継ぐ(⇒慶応元(1865)年4月17日、死去)
- 1861年10月31日-01:00|フランス/スペイン/イギリス| |||英仏西がロンドン協定に調印し、メキシコに対する武力干渉を決定
- 1861年11月-05:30|インド| |||<就任>シヒ国摂政「ウメイト・シン」(~18621208没)
- 1861年11月-01:00|クロアチア| |||クロアチアの議会が廃止される
- 1861年11月 00:00|セネガル| |||<就任>ワタトロー統治者統治者(アルマニ)「エリマン・バハベ・マムドゥ・ハ」(~1862年2月)
- 1861年11月 00:00|モロッコ/スペイン| |||モロッコがスペインと通商条約を締結
- 1861年11月 06:00|ペリウ/イギリス| |||<就任>ペリウ居留地管理者(ジャマイカの知事に従属)「フレデリック・シーモア」(2度目

1865迄 (2324件)

~18620512)

- 1861年11月2日-08:00|中国| ||清・咸豊11年9月30日|清で、西太后がクーデターで実権を掌握
- 1861年11月3日-09:00|日本|東京都墨田区|文久1年10月|<大相撲>文久1年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東前1)大鳴門, 7勝1敗2休
- 1861年11月5日 03:00|アルゼンチン| ||<辞任>アルゼンチン連合大統領「サンティアゴ・ラファエル・リス・マヌエル・ホセ・マリア・テレス・ロドリゲス」
- 1861年11月5日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>アルゼンチン連合大統領代行「ファン・エステバン・ペテルネラ」(~12. 12)
- 1861年11月5日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「サンチアゴ・デ・キューバ」(1567t; 18610906, ニュー・ヨークにて外輪汽船を購入し、ニュー・ヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年11月6日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国総督「エリック・ハルフィ・エルデイ伯爵」(~18650718)
- 1861年11月7日-09:30|オーストラリア| ||第1回メルボルン・カップ、フレミントンのコースで開催される
- 1861年11月7日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争>「ベルモントの戦い」北軍ゲラント准将が南軍キャンプ破壊も決着付かず
- 1861年11月7日-09:00|日本|東京都|文久1年10月5日|<死去>十二代目・長谷川勘兵衛(大道具方)
- 1861年11月9日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メウラ総督「Felipe Ginoves Espinar」(~1862年)
- 1861年11月10日-01:00|オランダ| ||<就任>オランダ王国首相代行「ヘムストラ男爵シム」(2回目~18620201)
- 1861年11月11日 00:00|ポルトガル| ||<死去>ポルトガル王「ペドロ5世有望王」コレラで/24歳(誕生18370916)
- 1861年11月11日 00:00|ポルトガル| ||<即位>ポルトガル王「リス1世民衆王」(~18891019死去) マリア2世とフェルナンド2世の子
- 1861年11月11日-09:00|日本|栃木県大田原市|文久1年10月9日|<交替>下野黒羽藩2万石「大関増徳」隠居⇒養子の「大関増裕」(~慶応3年12月9日(18680103)、死去)
- 1861年11月11日-08:00|中国| ||清・同治0年10月9日|西皇后(26)が実子の載淳を第10代皇帝の同治帝として即位させる(-1875年1月12日)
- 1861年11月14日-09:30|オーストラリア| ||<就任>ビクトリア植民地政府首相「ジョン・オギナシー」(~18630627)
- 1861年11月16日-01:00|ドイツ| ||<初演>ヨハネス・ブラームス《ピアノ四重奏曲第1番ト短調Op. 25》
- 1861年11月17日-04:00|セイシェル/イギリス| ||<就任>イギリス領セイシェル長官代「ロバート・セシル・ダジョン」(~18620815)
- 1861年11月20日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦ステート・オブ・ジョージア(1204t; 18610925, フィラデルフィアにてPhiladelphia & Savannah Steamship Co. の外輪汽船を購入し、フィラデルフィア海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年11月21日-09:00|日本|青森県八戸市|文久1年10月19日|日英南部藩主信順公の帰依により、八戸玄中寺を創す
- 1861年11月22日-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ケチメ・ト・ムフト・ファト・ハシヤ」(1期目~18630105)
- 1861年11月23日-09:00|日本|大阪府大阪狭山市|文久1年10月21日|<交替>河内狭山藩11000石「北条氏燕」隠居⇒養子「北条氏恭」が継ぐ(~明治2(1869)年6月6日、版籍奉還)
- 1861年11月23日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久1年10月21日|<刊行>週刊新聞「シヤパン・ヘラルド」、A・W・ハンザート、ジョン・R・ブラック編集
- 1861年11月25日-09:00|日本|新潟県南魚沼郡湯沢町|文久1年10月23日|桜田門外の変における実行部隊の指揮者・関鉄之助が越後湯沢で捕縛される
- 1861年11月28日-07:00|ベトナム/フランス| ||フランスはコンカン(ハノイ)を占領
- 1861年11月28日 06:00|アメリカ| ||<加盟>アメリカ連合国: ミズーリ州反対党派
- 1861年11月30日-09:00|日本|東京大学|文久1年10月28日|種痘所が幕府経営となり西洋医学所と改称
- 1861年12月-09:30|オーストラリア| ||サキュラー・キー、ピット・ストリート、セントラル・レイルウェイ・ステーションの間に、最初の路面馬車鉄道が開通
- 1861年12月-01:00|フランス/ベトナム| ||フランス軍がビエンホア、ジアデイン、ミトのコーチン東部3省を占領
- 1861年12月-01:00|ポーランド| ||ポーランドで白党が創設される
- 1861年12月1日 00:00|セカール/フランス| ||<就任>フランス領セカール総督「ジャン・ベルナル・ジュレ・ベリ」(~18630513)
- 1861年12月2日-09:00|日本|東京都|文久1年11月|<襲名>10代横綱「雲竜久吉」(~元治2年2月)
- 1861年12月4日-12:00|ニュー・ジブラルト/イギリス| ||<就任>イギリス連邦ニュー・ジブラルト総督「ジョージ・グレイ卿」(2回目~18680205)
- 1861年12月5日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍ワイミング級スループ「タスコロー」(1457t, フィラデルフィア海軍工廠で建造)
- 1861年12月7日-02:00|ルーマニア| ||<就任>トランシルヴァニア総督「ルートヴィヒ・グラーフ・フォリオット・ド・クレンネヴィル(政府大統領)」(~18670507)
- 1861年12月7日-01:00|ドイツ| ||<初演>ヨハネス・ブラームス《ヘンデルの主題による変奏曲とフガ変ロ長調》
- 1861年12月7日-09:00|日本|長野県須坂市|文久1年11月6日|<交替>信濃須坂藩10053石「堀直武」隠居⇒弟「堀直虎」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年1月17日、自害)
- 1861年12月10日 06:00|アメリカ| ||<加盟>アメリカ連合国: ケンタッキー州反対党派
- 1861年12月11日-02:00|フィンランド/ロシア| ||<就任>ロシア領フィンランド総督「ワトソン・イェリツァ・ホソフスキー」(~18660602)
- 1861年12月11日-09:00|日本|栃木県さくら市|文久1年11月10日|<死去>喜連川藩5000石(10万石格)「喜連川熙氏」⇒12月、婿養子「喜連川宜氏」が継ぐ(⇒翌年5月3日、死去)
- 1861年12月12日-01:00|ルウェー| ||<就任>ルウェー総督・首席国務長官代行「エリック・レーリク・モイニヒン」(~17日)
- 1861年12月12日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>アルゼンチン第6代大統領「バルトロメ・ミトレ」自由主義派(~18681012) 間接選挙で選出、アルゼンチン統一後の初の大統領
- 1861年12月14日-01:00|スペイン/メキシコ| ||スペイン艦隊がメキシコのベラクルスに到着。占領開始

1865迄 (2324件)

- 1861年12月14日 06:00|アメリカ | ||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「ケーカー・シティ」(1428t;18610812, Hargous & Co. の汽船を海軍が購入し、ニュー・ヨークで大型外輪戦闘艦に改装)
- 1861年12月17日-01:00|ルウェー | ||<就任>ルウェー総督代行・首席國務長官「フレデリック・スタン」(~18730721)
- 1861年12月17日 01:00|アゾリス諸島/ポルトガル | ||<就任>アングラド・イロイスモ民政知事「Jacome de Ornelas Bruges de Avila Paim da Camara」PH(1期目~18650929)
- 1861年12月21日 00:00|コートジボワール/フランス | ||<就任>ダブー(テュス砦)民間司令官「ネル・ブルヤス」(~1867年頃)
- 1861年12月21日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|文久1年11月20日|<交替>肥前佐賀藩32万石「鍋島直正」隠居⇒長男「鍋島直大」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1861年12月23日-02:00|ルーマニア | ||<改称>モルダヴィア・ワラキア連合公国⇒ルーマニア公国
- 1861年12月24日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久1年11月23日|ハンサド、横浜で週刊「ジャパン・ヘラルド」を創刊
- 1861年12月25日-09:00|日本|東京都中央区|文久1年11月24日|吉原普請落成
- 1861年12月26日-02:00|南アフリカ/イギリス | ||<就任>グリアラント・イースト酋長「アダム・コック3世」(~18751231)
- 1861年12月26日-02:00|南アフリカ/イギリス | ||<設立>グリアラント・イースト(ニューグリアラント)
- 1861年12月26日-02:00|南アフリカ | ||フィリポリスをオレンジ自由国に編入
- 1861年12月27日-05:30|インド | ||<就任>ウダ・イール国統治者(マハラ)「ジャンゴ・シン」(~18741007没)
- 1861年12月27日 00:00|ポルトガル | ||<死去>ペーザ公「ジョアン」
- 1861年12月28日-08:00|インドネシア | ||<死去>マタラム王国スルタン「Pakubuwono8世」
- 1861年12月28日-08:00|インドネシア | ||<即位>マタラム王国スルタン「Pakubuwono9世」(~1893年死去)
- 1861年12月30日 04:00|トミカ国/イギリス | ||<就任>イギリス領トミカ副総督「トマス・ブライス」(~18641025没)
- 1861年12月30日 06:00|アメリカ | ||ニュー・ヨークの銀行、正貨の支払いを停止
- 1861年12月31日-09:00|日本 | ||文久1年12月|幕府、物価引上・暴利の禁止令を出す
- 1862年-12:00|ウリス・ツナ | ||<死去>トウア(アロ)王「Filipo Meitala」
- 1862年-12:00|ウリス・ツナ | ||<即位>トウア(アロ)王「Alia Segi」(~1887年)
- 1862年-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル | ||<就任>ティモール知事「アフォンソ・デ・カストロ」(2期目~18630411)
- 1862年-08:00|インドネシア | ||<即位>ハカン・スルタン「Muhammad Sadik」(~1889年)
- 1862年-08:00|インドネシア | ||<即位>ハカンラン君主「Cakraningrat10世」(~1882年)
- 1862年-07:00|ラオス | ||<即位>チャンパ・サク王「カム・スク」(1863年まで総督~19000728没)
- 1862年-06:00|ブータン | ||<就任>ブータン精神的支配者・国家元首「ジグメ・チギヤル」(~1904年没)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>アスガール国ラジャ「カラン・ジャクナス・ハワルタ・ハトナイク2世」(~1869年没)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>ケントール国ラジャ「マントラ・セン」(~1882年没)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>コッタ・サンガニ国統治者(タコル)「タセイ」(~1878年没)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>コティ国統治者(ライ)「ラン・ハハト・ウル・シン」(~1887年没)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>チャルカリ国摂政「コネル・トムソン」(~1866年)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>ハタティ国支配者(ナワ)「モハマト・アリ・タキ・カン」(~1867年没)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>ラージコット国摂政「タラニ・ハ・イ・シュリ・ナニハ・クンヴァーバ」(~1867年)
- 1862年-05:30|インド | ||<就任>ライガール国ラジャ「ガンシャマン・シン」(~1890年没)
- 1862年-03:00|カンタ | ||<就任>ユキ王国統治者(オムカマ)「ルハン・ラ」(~1884年没)
- 1862年-03:00|イラク/トルコ | ||<就任>ハスラのワリス「メフメド・セフィク・ベイ」(~1863年)
- 1862年-03:00|カンタ | ||<就任>ブコノ統治者(オムカマ)「ムガリヤ」(~1863年頃)
- 1862年-03:00|エチオピア | ||<即位>アウサ・スルタン国スルタン「ムハンマト・「イラルタ」・ヒン・アンファリ」(~1902年)
- 1862年-03:00|ジブチ | ||<即位>ラハイト・スルタン「ティニ・ヒン・ムハンマト」(~1863年)
- 1862年-02:00|ザンビア | ||<就任>アマガザ統治者(ソシ)「ムシラ・ヌシマロ」(2回目~1884年8月)
- 1862年-02:00|南アフリカ | ||<就任>オレンジ自由国政府書記「ジョセフ・アリソン」(~18630617)
- 1862年-02:00|ザンビア | ||<就任>カゼンベ統治者(ムワ・カゼンベ)「カゼンベ7世ムウォンガ2世ンセンバ」(~1870年)
- 1862年-01:00|ガボン | ||<即位>オルンク王国国王「ンテブリア=ロクンベ」(~1865年)
- 1862年 00:00|セカール | ||<就任>ケヨル統治者(タンメル)「ラト・ジョー・ンゴ・ン・ラティール・ジョップ」(1回目~1864年1月)
- 1862年 00:00|セカール | ||<就任>ジョロフ帝国統治者(ブルバ・ジョロフ)「バカン・タム・サリ・ジョル・ン・ンジェイ」(~1871年)
- 1862年 00:00|フェロ諸島/デンマーク | ||<就任>フェロ諸島知事(トスハウ)「Peter Holten」(~1871年)
- 1862年 04:00|アンギラ/イギリス | ||<死去>イギリス領アンギラ主任判事「ロバート・William Pickwool」
- 1862年 04:00|アンティグア・バブーダ | ||<就任>アンティグア総督代行「ウィリアム・ハイルム卿」(2回目)
- 1862年 04:00|モントセラト/イギリス | ||<就任>イギリス植民地モントセラト大統領「William Cleaver Francis Robinson」(~1866年)
- 1862年 04:00|アンギラ/イギリス | ||<就任>イギリス領アンギラ主任判事「Isidore ピーター・Lynch Dyett」(~1863年)
- 1862年 04:00|セントルシア/イギリス | ||<就任>イギリス領セントルシア管理者「ジェームズ・マイヤー・グラント」(~18680112)
- 1862年 04:00|フォークランド/イギリス | ||<就任>イギリス領フォークランド諸島総督「James George Mackenzie大佐」(~1866年)
- 1862年 04:00|BES諸島 | ||<就任>サバ島副知事代理「E. J. Beaks」(~18630122)
- 1862年 04:00|プエルトリコ/スペイン | ||<就任>ビエクス島知事「Manuel Iturriaga」(1期目~1864年)
- 1862年 05:00|ペルー | ||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長(首相)「ファン・アントニオ・リベロ・イスターダ」(1回目~10. 24)
- 1862年1月-04:00|ロシア | ||ロシアの作家ツルゲーネフが「父と子」を刊
- 1862年1月-01:00|フランス/スペイン/イギリス/メキシコ | ||スペイン、イギリス、フランス三国同盟軍、債務不履行を口実にペラルカス港を占拠
- 1862年1月1日-11:30|ノーフォーク島/オーストラリア | ||<就任>ノーフォーク島主任判事「Arthur Quintal2世」(1期目~18651231)

1865迄 (2324件)

- 1862年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連邦大統領「ヤコブ・ステフリ」Rad (3期目~12. 31)
- 1862年1月1日-09:00|日本/オランダ| ||文久1年12月2日|<創刊>「官版ハルビヤ新聞」、オランダ 総督府機関紙、江戸本所、萬屋乗四郎、月刊で刊行
- 1862年1月1日-09:00|日本/アメリカ| ||文久1年12月2日|江戸の開市
- 1862年1月4日 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>アシー(ジョイントイール砦)民間司令官「ローラン・フィリップ・ダレ」(~1863年)
- 1862年1月4日 04:00|バルバドス/グレナダ/セントビンセント/セントルシア/トミカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス・ウインドワード 諸島総督「James Walker」(~1868年)
- 1862年1月5日 04:00|リ/フランス| |||<廃位>アラウカニア・パコニア王「オリ・アントワヌ1世」逮捕され、その後リによりフランスに強制送還された
- 1862年1月5日-09:00|日本|埼玉県川越市|文久1年12月6日|<交替>武蔵国川越藩17万石「松平直侯」隠居⇒養子「松平直克」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年3月、上野前橋藩17万石に藩庁移転)
- 1862年1月7日 04:00|ガイアナ/イギリス| |||<就任>イギリス領ギアナ総督「フランス・ヒクス」(~18660529)
- 1862年1月10日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの発明家サミュエル・コルト/47歳(誕生18140619)回転式6連発拳銃を発明した
- 1862年1月10日 06:00|アメリカ| |||ガフィールド、ミドル・クリークの戦いで敵軍を破る
- 1862年1月11日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事代理「Louis Hippolyte de Lormel」(~7. 4)
- 1862年1月11日 06:00|ホンジュラス| |||<死去>ホンジュラス共和国大統領「カアルテ・イラ」反対派により暗殺される
- 1862年1月11日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領代行「ホセ・フランシスコ・モンテス・フォンセカ」(1回目~2. 4)
- 1862年1月12日-09:00|日本|神奈川県横浜市中区|文久1年12月13日|外国人居留地に横浜天主堂建立
- 1862年1月13日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区暫定民政知事「Antonio Lopes Barbosa de Albuquerque」(1期目~18日)
- 1862年1月14日-02:00|ルーマニア| |||<就任>モルダヴィア閣僚会議議長(首相)代行「イオン・ニコラエ・カンタク・ノ・マクレア」(~22日)
- 1862年1月15日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ケープ 植民地総督「フィリップ・エドモント・ウォード・ハウス卿」(~18700520)
- 1862年1月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区暫定民政知事「Joao de Santa Ana」(~19日)
- 1862年1月18日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカ第10代大統領ジョン・タイラー/71歳(誕生:17900329)
- 1862年1月18日-09:00|日本|東京都小笠原村|文久1年12月19日|幕府が小笠原諸島は日本領と宣言
- 1862年1月19日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事「Januario Correia de Almeida」Mil(~8. 18)
- 1862年1月19日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>ミルズ・リンクスの戦い>ケンタッキー州で北軍が初勝利
- 1862年1月21日-09:00|日本/ヨーロッパ|長崎県長崎市|文久1年12月22日|開市・開港延期交渉のため、外国奉行・竹内保徳を正使とした第1回遣欧使節36名が長崎を出港
- 1862年1月22日-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<就任>ラゴス植民地総督「ハリー・Stanhope Freeman」(~1865. 4死去)
- 1862年1月24日-02:00|ルーマニア| |||ブカレストがルーマニア公国の首都となる
- 1862年1月24日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モヒカン級スループ「キアサージ」(1550t, ホーツマス海軍工廠で建造)
- 1862年1月24日-09:00|日本|東京都千代田区|文久1年12月25日|<死去>考証随筆家・蔵書家、石塚豊芥子(63歳)
- 1862年1月24日-09:00|日本|北海道函館市|文久1年12月25日|日本で初めてのスケート/函館に滞在していたイギリスの探検家トマス・ライト・ブライクストン/日本スケート場協会が1982年に制定
- 1862年1月29日-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<就任>ベコン湾英国領事「the administrators of Lagos」(~1867年)
- 1862年1月30日-09:00|日本|双日|文久2年|大阪に舶来商として岩井文助商店創業
- 1862年1月30日-09:00|日本|奈良県奈良市|文久2年|旅館魚佐創業
- 1862年1月30日-05:30|インド| |||<就任>リムディ国統治者(タル・サーヒブ)「ジヤンウツインジ・ファテンジ」(~19070415没)、摂政「ラニ・シュリ・ハリバ・クンワール・サーヒブ」(~18770801)
- 1862年1月30日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍デラウェア級戦列艦「ヴァーモント」(2602t, チャールズ・タウン海軍工廠で建造)
- 1862年1月30日-09:00|日本| ||文久2年1月|<出版>五雲亭貞秀「横浜開港見聞誌」二冊
- 1862年1月30日-09:00|日本/ヨーロッパ|長崎県長崎市|文久2年1月1日|第1回遣欧使節がイギリス軍艦オーテンに乗り長崎を出帆/正使竹内保徳(勘定奉行兼外国奉行)、副使松平康直(神奈川奉行兼外国奉行)、目付京極高朗ら一行総員36人/なかには咸臨丸で渡米した福沢諭吉や通訳として福地源一郎、翻訳官として箕作秋坪、松木弘安(寺島宗則)ら加わる
- 1862年1月31日-08:00|マレーシア| |||<死去>ジョホール・ダラ・タジム占領地域・植民地マハラジャ「ラジヤ・テムゴン・トウン・デー・ン・イブラヒム」
- 1862年1月31日-06:30|ミャンマー/イギリス| |||<就任>英領下ビルマ首席弁務官「アーサー・ハーフ・ス・ファイア」(~18670216)
- 1862年1月31日 06:00|アメリカ| |||アルガン・ケラム・クレークがシリウス伴星(シリウスB)を発見(初の白色矮星)
- 1862年2月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス「Mehmed Emin Pasha」(~1863. 4)
- 1862年2月1日-08:00|マレーシア| |||<即位>ジョホール・ダラ・タジム占領地域・植民地ダトク・テムゴン・セリ・マハラジャ「トウン・アブ・ハカール・セリ・マハラジャ・ビン・トウン・イブラヒム」(~1868年)
- 1862年2月1日-01:00|オランダ| |||<就任>オランダ 王国首相「ヨハン・ルト・ルフ・トルヘック」(2回目~18660210)
- 1862年2月1日 06:00|アメリカ| |||軍歌「リパブリック讃歌」発表
- 1862年2月3日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ルーマニア公国閣僚会議議長(首相)「バルブ・シュテファン・カトルキウ」(~6. 20)
- 1862年2月3日-01:00|フランス| |||<死去>フランスの物理学者・天文学者ジャン・バティスト・ビオ(17740421~)長さの標準単位(メートル)を較正するために子午線の弧の長さを測定、また分子の非対称性を研究した
- 1862年2月4日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領代行「ビクトリア・ノ・カステリヤノ・コルテス」(~12. 11)

1865迄 (2324件)

- 1862年2月5日-02:00|ルーマニア| |||<即位>ルーマニア公「アレクサンドル・カザ」(~18660222)
- 1862年2月5日-02:00|ルーマニア| |||ルーマニアが初の国民議会を開催
- 1862年2月5日 06:00|アメリカ| |||米リットン大統領が南北戦争戦費調達のため政府紙幣発行
- 1862年2月6日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:ヘンリー・砦の戦い>北軍グラント准将、ヘンリー砦を攻略
- 1862年2月10日-09:00|日本|東京都|文久2年1月12日|<死去>千葉周作の次男で後継者・千葉栄次郎(30歳)
- 1862年2月10日-09:00|日本|東京都|文久2年1月12日|老中安藤信正襲撃をくだてた罪で極攘夷主義者・大橋訥庵、南町奉行に逮捕される(慶喜擁立運動に参加)
- 1862年2月12日-09:00|日本|静岡県掛川市|文久2年1月14日|<交替>遠江掛川藩5万石「太田資功」36歳⇒養子「太田資美」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年9月21日、上総松尾藩53000石へ移封)
- 1862年2月13日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャで反王党派が反乱
- 1862年2月13日-01:00|日本|東京都千代田区|文久2年1月15日|<坂下門外の変>午前8時頃、老中安藤信正(磐城平藩)の行列が登城するため藩邸を出て江戸城坂下門外に差しかかると、水戸藩浪士・平山兵介、小田彦三郎、黒沢五郎、高畑総次郎、下野の医師・河野頭三、越後の医師・河本杜太郎の6人が行列を襲撃/信正は背中に軽傷を負って一人城内に逃げ込んだ/浪士ら6人は暗殺の目的を遂げることなく、いずれも闘死
- 1862年2月15日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍水補給艦「ケンズトン」(1052t;18620127,ホーストンにて汽船を購入し、チャールズタウン海軍工廠で水補給艦に改装)
- 1862年2月15日 06:00|アメリカ| |||グラント將軍の北軍はトールン要塞を包囲、立て籠もる南軍を無条件降伏させ、捕虜15000名をえる
- 1862年2月17日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督代理「Rafael Izquierdo y Gutierrez」(~5月)
- 1862年2月19日-09:00|日本|熊本県宇土市|文久2年1月21日|<交替>肥後宇土藩3万石「細川立則」隠居⇒弟「細川行真」が継ぐ(⇒明治3(1870)年9月4日、熊本藩に吸収され廃藩)
- 1862年2月19日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|文久2年1月21日|<交替>播磨赤穂藩2万石「森忠徳」隠居⇒次男「森忠典」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年3月19日、隠居)
- 1862年2月21日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:ウァルグアート の戦い>ニューメキシコ準州で南軍が勝利
- 1862年2月22日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ジョージア州の戦い<ジョージア州の戦い>が南部連合軍大統領に就任
- 1862年2月22日-04:00|ロシア| |||イワン・ツルゲーネフ小説『父と子』発表
- 1862年2月24日-09:00|日本|福岡県朝倉市|文久2年1月26日|<死去>筑前秋月藩5万石「黒田長義」16歳⇒7月25日、弟「黒田長徳」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1862年2月24日-08:00|中国| ||清・同治1年1月26日|米英仏3カ国の常勝軍が、上海に進攻してきた太平天国軍を破る
- 1862年2月25日 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ総督代行「アントニオ・マリア・マウリティ」(~18630328)
- 1862年2月25日 06:00|アメリカ| |||リットン大統領が初の政府紙幣(グリーンバック紙幣)を発行
- 1862年2月26日-01:00|フランス| |||フランス海軍の木造機帆走コルベット「デュプレクス」就役(18610328進水、1887年除籍)
- 1862年2月28日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>西オーストラリア植民地総督「ジョン・ハンプトン」(~18681101)
- 1862年2月28日-01:00|フランス| |||<初演>シャルル・フランソワ・グノー《歌劇「シバの女王」》
- 1862年2月28日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍イロクォイ級スloop「オネイタ」(1488t,ブルックリン海軍工廠で建造)
- 1862年3月-06:30|ミャンマー| |||マンダレーの王城と濠および宗教用建造物5カ所(クトー・パゴダ,アウマン僧院,戒壇,トゥガマ宿坊,経倉)の工事落成
- 1862年3月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| |||<即位>コーカンド(フェルガナ)汗「Shah Murad Khan」(~5月死去)、摂政「Ali m Bek」(~5月死去)
- 1862年3月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督代行「キプリスリ・マフメト・カミル・パシャ」(1回目~4月)
- 1862年3月-01:00|フランス/ベトナム| |||フランス軍がコンロン島、ビエンホア、ハリア、ウインロンを占領
- 1862年3月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合軍砲郭装甲艦「ヴァージニア」(3200t;18610420,ゴズポート造船所にてアメリカ連合軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分されたアメリカ合衆国海軍スクルー推進フリゲイト・メリマック Merrimackを拿捕⇒1861.7.船体を引き揚げられ砲郭装甲艦に改装)
- 1862年3月1日-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| |||<死去>コーカンド・ハン国汗「ムハンマド・マラ・ベク・ハン」
- 1862年3月1日-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| |||<即位>コーカンド・ハン国汗「シャー・ムラト・ハン」(~同年)⇒<復位>「ムハンマド・フターヤル・ハン」(3期目~1863年逃亡)
- 1862年3月3日-01:00|イタリア| |||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「ウルバノ・ラッタッツィ」(1回目~18621208)
- 1862年3月3日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍イロクォイ級スloop「ワチュセツ」(1488t,チャールズタウン海軍工廠で建造)
- 1862年3月4日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>南オーストラリア植民地総督「トミニク・デ・イリー」(~18680219)
- 1862年3月4日-04:00|ロシア/中国| ||清・同治1年2月4日;ロシア暦2月20日|清が、ロシアと陸路通商章程を調印する
- 1862年3月5日-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<設立>イギリス植民地ロス
- 1862年3月7日-09:00|日本|熊本県人吉市|文久2年2月7日|<寅助火事>正午頃、肥後国人吉(現・熊本県人吉市)鍛冶屋町にある鉄砲鍛冶の恒松寅助の家から出火、火は忽ちの内に川北から更に球磨川を越えて人吉城内にまで飛び火、未曾有の大火災となった
- 1862年3月8日 06:00|アメリカ| |||(7日~)南北戦争:ヒールリッジの戦い/アーカンソー州の北西、ベントンビルに近いヒールリッジでサムエル・カーティス准将率いる北軍がアルヴァント少将率いる南軍を破った
- 1862年3月8日 06:00|アメリカ| |||アメリカ連合軍砲郭装甲艦「ヴァージニア」(3200t)ハンプトン・ローズにてアメリカ合衆国海軍フリゲイト「カンバーランド」(1726t)「コングレス」(1867t)を撃沈
- 1862年3月9日 06:00|アメリカ| |||(8日~)南北戦争:ハンプトン・ローズ海戦/アメリカ合衆国海軍の革新的な設計の装甲艦「モ

1865迄 (2324件)

- ターとアメリカ連合軍海軍の装甲艦「バージニア」がバージニア州ハンプトン・ローズ河口付近のシーウェルズ・ポイント沖で交戦し明確な勝敗は付かなかった
- 1862年3月10日-01:00|フランス/イギリス| |||イギリスとフランスがオマーンとサングバルに関する協定を締結
- 1862年3月11日-03:00|ソマリア/フランス| |||フランスが、東アフリカ(ソマリア)のダケル海岸を5万フランで買収
- 1862年3月11日-03:00|ジブチ/フランス| |||フランスが林ツク港を獲得(18620520発効)
- 1862年3月11日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年2月11日|江戸城で将軍徳川家茂と皇妹和宮の婚儀挙行
- 1862年3月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>プロシヤ王国首相「アドルフ・ツォルンローエ＝インゲルフィンゲン」(~9. 23)
- 1862年3月13日 06:00|アメリカ| |||アメリカ議会、陸海軍の逃亡奴隷返却禁止法を可決
- 1862年3月13日 06:00|アメリカ| |||ニューヨークのコロンビア大学でキリスト教や世界の伝説を研究しているクレメント・クラーク・ムーアが、サタクロース誕生の元となる「クリスマスイブの夜」という詩を書く/この詩が基となって世界中にサタクロースの伝説が出来る
- 1862年3月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年2月14日|朝鮮慶尚道晋州で農民暴動「晋州民乱」(壬戌晋州民乱)起こる
- 1862年3月17日-05:30|インド| |||<就任>アラブ諸国統治者(ラ)「カン・デオ」(~1869年)
- 1862年3月18日-05:30|インド| |||<就任>ペリ国統治者(ラ)「ヒンシエーション」(~18921021没)
- 1862年3月21日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド帝国副王・総督「エルジン・キンカーデン伯爵ジェームズ・ブルース」(~18631120在職中インドで病死)
- 1862年3月22日-01:00|セルビア| |||<就任>セルビア公国首相「イリヤ・ガラシュ・アニン」(2回目~18671115)
- 1862年3月22日-01:00|イタリア/サンマリノ| |||イタリアがサンマリノ独立を承認(18720628、19390331確認)
- 1862年3月25日 04:00|バルバドス/イギリス| |||<就任>イギリス領バルバドス総督兼最高司令官「James Walker」(2期目~1869. 1)
- 1862年3月25日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サテニアコ総督「エドワード・ジョン・エド」(1864年5月まで代行~18651212)
- 1862年3月25日 06:00|アメリカ| |||<艦種変更>アメリカ海軍メマック級フリゲイト「ロアノーク」(4772t)⇒モニター
- 1862年3月26日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍セバゴ級外輪砲艦「セバゴ」(1070t, ホーツマス海軍工廠で建造)
- 1862年3月27日-05:30|インド| |||<就任>ムガル国統治者(ラ)「ラジエ・ゴールハデ・バハドゥル」(ラ)「ラジエ・ゴールハデ・ハラ・サヒブ」(~19000619没)
- 1862年3月27日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年2月27日|新選組の前身・壬生浪士組(壬生浪士隊)結成
- 1862年3月28日 06:00|アメリカ| |||南北戦争/ゲリラ的戦いで、北軍が南軍をアパッチ峠で破る
- 1862年3月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年2月29日|晋州民乱終わるも、周辺に「壬戌民乱」へと拡大
- 1862年3月29日-09:00|日本|兵庫県丹波篠山市|文久2年2月29日|<交替>丹波篠山藩6万石「青山忠良」隠居⇒次男「青山忠敏」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1862年3月30日-09:00|日本|東京都中央区|文久2年3月1日|「青砥稿花紅彩画」(白波五人男)初演、[作・河竹新七] 忠信・河原崎権十郎、弁天・五代目尾上菊五郎、赤星・三代目岩井糸三郎、日本駄右衛門・三代目関三十郎、南郷力丸・四代目中村芝翫、市村座
- 1862年4月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督「ジャハ・シャ」(~1863年)
- 1862年4月-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>イシュコラのワリス「チルクス・アフディ・ハシ」(2回目~1863年4月)
- 1862年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「イゼント・ボネリ」「ガエターノ・モンテチーニ」
- 1862年4月1日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文久2年3月3日|桜田事変逃亡犯、広木松之助、鎌倉上行寺で自刃
- 1862年4月3日-01:00|フランス| |||ウイクトル・ユグー小説『レ・ミゼラブル』発表
- 1862年4月7日 00:00|イギリス/アメリカ| |||アメリカとイギリスの間にアフリカ奴隷貿易の抑圧に関する条約が調印される
- 1862年4月7日 06:00|アメリカ| |||(6~)ミネソタ州でシャイロの戦い-グラントおよびヒュエル指揮下の北軍、ホウリガードおよびジョンストン指揮下の南軍を撃破
- 1862年4月10日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久2年3月12日|<死去>蘭学医学者・二宮敬作(59歳)
- 1862年4月12日 03:00|アルゼンチン| |||<就任>アルゼンチン共和国大統領「バルトロメ・マイトレ・マルティネス」(~18681012/18621012までブエノスアイレス州総督が国家行政権)
- 1862年4月13日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年3月15日|<解任>老中「本多忠民」
- 1862年4月13日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年3月15日|<就任>老中「板倉勝静」(~元治1年6月18日)、「水野忠精」(~慶応2年6月19日)
- 1862年4月14日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領コート・ヌーヴ総督・最高司令官代行「ウィリアム・A・ロス」(~10. 20)
- 1862年4月16日-01:00|フランス/メキシコ| |||フランスがメキシコに宣戦布告
- 1862年4月16日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、南部連合に徴兵令施行;コロンビア行政区で奴隷解放令が実施される
- 1862年4月17日 00:00|イギリス| |||<死去>チャールズ・カニングがロンドンで/49歳(誕生18121214)インド総督、インド副王をつとめた
- 1862年4月17日-01:00|フランス/イギリス/中国| ||清・同治1年3月19日|イギリス・フランス軍が、上海で太平軍を破る
- 1862年4月18日-02:00|南アフリカ| |||<就任>南アフリカ共和国行政評議会議長代行「ウィレム・コルネリス・ヤンセ・ヴァン・レンゼブルク」(⇒18631023、行政評議会議長~18640510)
- 1862年4月18日-09:00|日本|東京都墨田区|文久2年3月20日|<大相撲>文久2年2月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東前1)大鳴門, 7勝0敗1預2休
- 1862年4月21日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「ジョーン・バプティスタ・アルモンテ」(~18630112)
- 1862年4月25日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンソルック伯・モンゴメリー伯「ロバート・ハンリー・ハーバート」
- 1862年4月25日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンソルック伯・モンゴメリー伯「ジョージ・ロバート・チャールズ・ハーバート」(~18950503死去)

1865迄 (2324件)

)

- 1862年4月25日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合国防装艦「ミシッピ」(1400t)ニュー・オーリンズにてアメリカ合衆国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1862年4月25日-09:00|韓国/朝鮮| ||清・同治1年3月27日|益山で民乱(全羅道53コウル中、38コウルで民乱発生)
- 1862年4月26日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍外輪砲艦「ホート・ロイヤル」(1163t, Thomas Stackで建造)ニュー・ヨーク海軍工廠にて:アメリカ海軍外輪砲艦「ホル・ジョンズ」(1210t, John J. Abrahamsで建造)
- 1862年4月26日 06:00|アメリカ| ||アメリカ南北戦争/北軍がニュー・オーリンズを占領
- 1862年4月28日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合国防装艦「ルジアナ」(1400t)ニュー・オーリンズにてアメリカ合衆国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1862年4月29日-09:00|日本| ||文久2年4月|米国人ジョイヤーが英文紙「ジャパン・エクスプレス」創刊(不定期)
- 1862年4月29日-09:00|日本|東京都|文久2年4月|(~7月)江戸で麻疹が大流行/死者数千人
- 1862年4月29日-09:00|日本|兵庫県たつの市|文久2年4月|<交替>播磨龍野藩51000石「脇坂安宅」隠居⇒養子「脇坂安斐」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1862年4月29日-08:00|中国| ||清・同治1年4月1日|清の陝西、甘肅地方でムスリムの蜂起が起こる
- 1862年4月30日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年4月2日|洲千弁天地先の埋立地で駆り乗る(日本最初の洋式競馬)
- 1862年5月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| ||<死去>コーカンド(フェルガナ)ハ「Shah Murad Khan」
- 1862年5月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| ||<即位>コーカンド(フェルガナ)ハ「Sayyid Muhammad Khudayar Khan」(2期目~1863.7)
- 1862年5月 04:00|プエルトリコ/スペイン| ||<就任>プエルトリコ知事兼提督「フェリクス侯Felix Maria de Messina e Iglesias」(~1865.11)
- 1862年5月1日 00:00|イギリス| ||ロンドン国際博覧会開催(~1115)日本の遣欧使節団が視察[会場]ケンジントン公園(イギリス)[入場者]6,211,103人
- 1862年5月3日-09:00|日本|高知県高知市|文久2年4月5日|土佐藩校文武館開校
- 1862年5月4日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:ヨークタウンの包囲戦>(4.5~)南軍が抜け出し勝敗つかず
- 1862年5月4日-09:00|日本|山形県上山市|文久2年4月6日|<隠居>出羽上山藩3万石「松平信宝」隠居⇒長男「松平信庸」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、3000石を没収の上で隠居)
- 1862年5月5日-01:00|フランス/メキシコ| ||イグナチオ・サラサ将軍のひきいるメキシコ軍は、プエブラに侵攻したフランス軍を迎えうち撃破
- 1862年5月5日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍セブコ級外輪砲艦「マスカ」(1070t, ホーツマ海軍工廠で建造)
- 1862年5月6日-09:00|日本|高知県高知市|文久2年4月8日|<死去>吉田東洋、自宅近くで暴漢に襲われ殺害される/47歳(誕生:文化13(1816)06)/開国を主張していた土佐藩参政
- 1862年5月8日 06:00|アメリカ| ||南軍のストーンウォール・ジャクソン、シェナントア渓谷作戦で北軍を翻弄
- 1862年5月9日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年4月11日|<解任>老中「安藤信正」
- 1862年5月10日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合国防装艦「バルトック」(1200t)アメリカ合衆国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1862年5月11日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合国防装艦「ヴァージニア」(3200t)ジェームズ川のクランニー島付近にて座礁、アメリカ合衆国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1862年5月12日 06:00|ベネチア/イギリス| ||<就任>イギリス領ホンジュラス副総督(ジャマイカ総督に従属)「フレデリック・シーモア」(~1864年)
- 1862年5月12日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦政府、南部2港を綿花積出港としてヨーロッパ諸国に開放
- 1862年5月15日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合国防装艦「トマス・ジェファーソン」(1500t)James Riverにて閉塞船として沈没処分
- 1862年5月15日 06:00|アメリカ| ||リンカン、農務省創設
- 1862年5月20日 06:00|アメリカ| ||米エイブラハム・リンカン大統領が自営農地法(ホームステッド法)に署名し発効
- 1862年5月20日-09:00|日本|東京都中央区|文久2年4月22日|三瀬周三、シボルトのために日本の歴史書の翻訳をおこなっていた事が発覚し石川島の獄舎に投じられる
- 1862年5月21日-01:00|モナコ/フランス| ||<就任>モナコ総督・国務院議長「インバール・ティエ男爵エドゥアール」(~18740720)
- 1862年5月21日-01:00|チェコ| ||<就任>モラヴィア総督「アルフレッド・フォン・ホーチェ」(1回目~1866年7月)
- 1862年5月21日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文久2年4月23日|<寺田屋事件>薩摩藩士と慰撫しに来た藩士が衝突、有馬新七(38)ら10人が死亡
- 1862年5月22日-08:00|中国| ||清・同治1年4月24日|中国、漢族の民兵が陝西省のイスラム教徒の村秦家村を焼き討ちし、住民を皆殺しに
- 1862年5月23日-09:00|日本| ||文久2年4月25日|幕府、一橋慶喜(26歳)・徳川慶勝・松平春嶽(35歳)・山内容堂(36歳)を宥免
- 1862年5月24日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「セカリア・デ・ゴイス・エ・ヴァスコンセス」(1回目~30日)
- 1862年5月24日 06:00|カナダ/イギリス| ||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「ジョン・サント・フィールド・マクドナルド」(1回目/カナダ西部)「ルイス・スコット(カナダ東部)」(~18630515)
- 1862年5月24日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年4月26日|民乱(民衆反乱・一揆)の対策として、三政整釐庁を設置
- 1862年5月24日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年4月26日|(~27日)横濱新田、競馬開催、「ジャパン・ヘラルド」に競

1865迄 (2324件)

馬欄、1日目5レース、2日目7レース

- 1862年5月25日-09:00|日本|愛媛県今治市|文久2年4月27日|越智郡岡村大火、150軒を焼く
- 1862年5月27日-09:00|日本/アメリカ| ||文久2年4月29日|アメリカ木造船「アルミス」(1855年イギリスのサンダーランドで建造)を幕府が購入「千歳丸」と改称し就航
- 1862年5月29日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年5月|下岡蓮杖が野毛で日本人として初めて写真館「全楽堂」を開業(→弁天通5丁目横町に移転)
- 1862年5月30日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「オリヴァー子爵・侯爵ペドロ・デ・アラウジョ・リマ」(3回目~18640115)
- 1862年5月30日-09:00|日本| ||文久2年5月2日|寺田屋事件の同志残党、田中河内介以下多数、日向細島へ向かう船上で斬られる
- 1862年5月31日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:セブン・インズの戦い>バージニア州ヘンリコ郡での戦い、決着つかず
- 1862年5月31日-09:00|日本|栃木県さくら市|文久2年5月3日|<死去>喜連川藩5000石(10万石格)「喜連川宜氏」⇒6月28日、養子「喜連川繩氏」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月、「足利繩氏」に改姓⇒明治2(1869)年5月5日、隠居)
- 1862年6月 00:00|セネガル| ||<就任>アフリカ統治者(アルマニ)「アマトゥ・フェルナンデス・リ」(1回目~1863年3月)
- 1862年6月 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦軍がカナダ遠征軍を派遣
- 1862年6月2日-11:00|ニューカレドニア/フランス| ||<就任>ニューカレドニア知事「Charles Guillain」(~18700313)
- 1862年6月5日-01:00|フランス/スペイン/ポルトガル| ||ベトナム、グエン朝がサイゴンで、フランス、スペインと第1次サイゴン条約をベトナム側はコチン東部の3省とポルトガル島をフランスへ割譲、ダナンとクソイエンの港を開港、フランス、スペインに2000万フランの賠償金、キリスト教布教を認める
- 1862年6月5日 05:00|ハイチ/アメリカ| ||米国のリンカーン大統領、独立以来初めてハイチを承認
- 1862年6月6日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:メンフィスの戦い>テネシー州メンフィス市直ぐ上流のミシシッピ川で行われた水上戦で結果は南軍の大敗となり、ミシシッピ川における南軍の水上戦力は事実上消滅
- 1862年6月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||清・同治1年5月10日|懷徳民乱(忠清道の54コウル中、12コウルで民乱発生)
- 1862年6月6日 00:00|イギリス/日本| ||文久2年5月9日|ロンドン党書調印/兵庫・新潟・江戸・大坂の開港・開市を5年延期することが認められる
- 1862年6月7日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ首相(閣僚理事会議長)「イオニス・ゲナイクス・テオドロ・コロトリス」(~10.23)
- 1862年6月7日-08:00|台湾| ||台湾、台南・彰化地震/M6.5、死者500人以上
- 1862年6月8日-09:00|日本|東京都中央区|文久2年5月11日|関鉄之介が江戸で斬首される/39歳(誕生:文政7(1824)/10/17)/井伊直弼襲撃を指揮した元水戸藩士
- 1862年6月9日 06:00|アメリカ| ||リソカ、準州で奴隷を禁止する法案に署名
- 1862年6月13日 06:00|アメリカ| ||アメリカ海軍の最初の潜水艦「アリゲーター」就役(0501フランスのネフィー・アント・レヴィ造船で進水)
- 1862年6月15日-01:00|セルビア/トルコ| ||オスマン守備隊がベコラトを砲撃
- 1862年6月15日-09:00|日本|東京大学|文久2年5月18日|蕃書調所が、神田一橋門外に移転し、洋学調所と改称
- 1862年6月16日-09:00|日本|東京都|文久2年5月19日|<死去>秀/山雷五郎・秀の山親方(相撲)9代横綱[1808年生~](享年54)
- 1862年6月17日 00:00|イギリス| ||<死去>初代カンガ伯「チャールズ・ジョン・カンガ」廃絶
- 1862年6月18日 06:00|アメリカ/ハワイ| ||パルミラ環礁ハワイ王国に併合
- 1862年6月20日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ルーマニア公国暫定閣僚会議議長(首相)「アポストル・アルサ」(~7.6)
- 1862年6月20日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年5月23日|<就任>老中「脇坂安宅」(~文久2年9月6日)
- 1862年6月21日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文久2年5月24日|<死去>大和小泉藩11129石「片桐貞照」24歳⇒養子「片桐貞利」が継ぐ(⇒同年10月29日、死去)
- 1862年6月23日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年5月26日|<解任>老中「内藤信親」
- 1862年6月25日-01:00|フランス/ベトナム| ||ポータル総督がコチンに着任しフランスが武官統治を開始
- 1862年6月26日 03:00|ブラジル| ||ブラジルの財で電信が開通
- 1862年6月26日-09:00|日本|東京都品川区|文久2年5月29日|<第二次東禅寺事件>イギリス公使館東禅寺警備中の松本藩士伊藤軍兵衛がイギリス水兵二人を殺し自殺
- 1862年6月27日-09:00|日本| ||文久2年6月|<出版>二代歌川広重「広重画譜」
- 1862年6月28日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年6月2日|<解任>老中「久世広周」
- 1862年6月30日-01:00|赤道ギニア/スペイン| ||<就任>フェルナント・ホー総督「ハンタレオン・ロペス・デ・ラ・ト・レイオン・イ・バニエ」(~18650801)
- 1862年6月30日-01:00|フランス| ||フランスの小説家ヴィクトル・ユゴーが「レ・ミゼラブル」を出版
- 1862年6月30日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍オビニ級スルーフ「エディントン」(1934t,ブルックリン海軍工廠で建造):7アメリカ海軍ジェネシー級外輪砲艦「タイカ」(1120t,チャールズ・タウン海軍工廠で建造)
- 1862年7月1日-05:30|インド| ||カルカッタ高等裁判所が開設される
- 1862年7月1日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:マルバースヒルの戦い>バージニア州ヘンリコ郡の戦闘で北軍が勝利
- 1862年7月1日 06:00|アメリカ| ||北軍、ウィックスバーグを除くミシシッピ川全流域を制圧
- 1862年7月1日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦議会が、太平洋鉄道法を成立させる
- 1862年7月1日-04:00|ロシア| ||ロシア国立図書館設立
- 1862年7月2日 06:00|アメリカ| ||リソカ、第2次反乱者財産没収法案に署名/叛逆の処罰、適正財産の没収、反逆者の奴隷解放、最高10年の服役、1万ドルの罰金、法廷の決定があれば所有奴隷の解放/南軍兵士を反乱者であり合法的交戦者であることを認めた;リソカ各州が農業大学を設立するという、モリル土地交付法案に署名/州立大学の基

1865迄 (2324件)

礎になる

- 1862年7月3日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ジエネー級外輪砲艦「ジエネー」(1120t, チャールズタウン海軍工廠で建造)
- 1862年7月4日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Charles Victor Frebault」(2期目~18640226)
- 1862年7月6日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ルーマニア公国閣僚会議議長(首相)「ニコエ・アレクサンドル・クレテレスク」(1回目~18631024)
- 1862年7月7日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィピン総督「Salvador Valdes」(~7.9)
- 1862年7月8日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「政府評議会」(~11.17)
- 1862年7月8日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ソマ級外輪砲艦「ソマ」(1105t, ホーツマス海軍工廠で建造)
- 1862年7月9日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィピン総督「ラファエル・デ・エチャグエ」(~18650324)
- 1862年7月9日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍河用装甲艦「ジエネラル・ブラック」(1043t)
- 1862年7月10日-09:00|日本|茨城県牛久市|文久2年6月14日|<死去>常陸牛久藩1万石「山口弘徹」⇒8月6日、長男「山口弘達」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1862年7月11日-08:00|中国| ||清・同治1年6月15日|北京に、イギリス人を教師とする同文館が設立される
- 1862年7月12日 06:00|アメリカ| |||米国で名誉勲章制定
- 1862年7月16日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍ソマ級外輪砲艦「コネモ」(1105t, ホーツマス海軍工廠で建造)
- 1862年7月17日 06:00|アメリカ| |||アメリカ議会、民兵法可決、18歳から45歳までの軍役を認め、黒人の入隊も認める
- 1862年7月19日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年6月23日|<就任>関白「近衛忠熙」(~文久3年正月23日)
- 1862年7月20日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ドミンゴ 総督・総司令官「ホセ・フェリペ・ロドリゲス」(~18631023)
- 1862年7月22日 00:00|シエラレオネ/イギリス| |||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ウィリアム・ヒル」(3回目~11.12)
- 1862年7月23日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領スロベニア 首長代行「ヨーゼフ・ロス」(~10.30)
- 1862年7月24日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカ合衆国第8代大統領「アン・ヒューレン」/79歳(誕生17821205)
- 1862年7月26日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ暫定大統領「マヌエル・マリア・デ・イアス」(4回目~18630705)
- 1862年7月26日-09:00|日本|大阪府大阪市|文久2年6月30日|<就任>大坂城代「松平信古」(⇒元治元(1865)年11月1日)
- 1862年7月26日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年6月30日|<就任>京都所司代「本庄宗秀」(⇒8月24日)
- 1862年7月27日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年7月|ザ・ジャパン・パンチ/漫画雑誌/イラストレイテッド・ロンドン・ニュースの特派記者で画家のワグマンが横浜で発行
- 1862年7月27日-09:00|日本|静岡県下田市|文久2年7月|桜田久之助(下岡蓮杖)が弁天通で写真業開業(日本最初の写真師)
- 1862年7月27日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久2年7月|グラバーらの発起により長崎戸町村字古川海岸に外国人の食用のため解牛場(屠牛場)を開設
- 1862年7月27日-09:00|日本|新潟県糸魚川市|文久2年7月|頸城郡の蓮華銀山、採掘者高田町孫八の死亡に伴い、休山となる
- 1862年7月30日-09:00|日本| ||文久2年7月4日|幕府、諸藩に外国船購入の自由を認める
- 1862年7月31日-05:30|インド| |||<就任>トリパラ国ラジャ「ウイチャントラマニヤ」(~18961211没)
- 1862年8月-05:30|インド| |||<就任>サハール国支配者(ナワブ)「アブル・ハア・カン2世」(~18680511没)
- 1862年8月1日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍スクラム級スloop「カンテゲア」(2030t, チャールズタウン海軍工廠で建造)
- 1862年8月1日-09:00|日本| ||文久2年7月6日|徳川慶喜、将軍後見職となる
- 1862年8月3日 06:00|アメリカ| |||米第二ブルランの戦い:南軍リ、戦勝し北軍マクレラン将軍、ホトマック川まで退却
- 1862年8月5日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>バトル・ジュの戦い>ルイジアナ州で海陸の戦闘に北軍が勝利
- 1862年8月6日-12:00|ニュージーランド| |||<就任>ニュージーランド 首相「アルフレッド・ド・メット」(~18631030)
- 1862年8月6日 05:00|タクス・カコス諸島/イギリス| |||<就任>タクス・カコス諸島評議会議長「Alexander Wilson Moir」(~1869年)
- 1862年8月9日-01:00|フランス| |||<初演>ルイ・エクトル・ベルリオズ 《歌劇「ペ・アトリスとベネイクト」》
- 1862年8月9日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:シダー山の戦い/バーズニア州カルパー郡でサニエル・バンクス少将の指揮する北軍がシダー山の近くで、ストーンウォール・ジャクソン少将の指揮する南軍を攻撃し戦闘の初期段階では南軍が戦場から追い出されかかったが、その反撃で北軍の前線を破り、南軍勝利となった
- 1862年8月10日-09:00|日本| ||文久2年7月15日|戊刻、星隕雨の如し
- 1862年8月15日-04:00|セイシェル/イギリス| |||<就任>イギリス領セイシェル長官代「シブリアン・エルモガン・ウヰエヌ・デ・ユイ」(2度目~12.12)
- 1862年8月15日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久2年7月20日|九条家家来島田左近、木屋町二条下ルで薩摩藩田中新兵衛に殺害される
- 1862年8月16日-09:00|日本|長崎県島原市|文久2年7月21日|<死去>肥前島原藩65000石「松平忠愛」⇒養子「松平忠和」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1862年8月17日 06:00|アメリカ| |||<タコタ戦争>米ミネソタ州でス族と白人の間に紛争が生じる
- 1862年8月18日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区暫定民政知事「Antonio Lopes Barbosa de Albuquerque」(2期目~18630117)
- 1862年8月18日 06:00|アメリカ| |||<タコタ戦争>早朝、タコタス族の戦士団は、レッド・ウッド 滝のそばにあるBIAの出先事務所である「南ス族管理局」に攻撃/アント・リュー・ミリックが最初に殺され、南ス族管理局の建物は占領されてタコタ戦士達によって焼かれた/ミネソタ州民兵と第5ミネソタ志願歩兵連隊のB中隊が暴動を鎮めるために派遣されたが、「レッド・ウッド・フェリーの戦い」で敗北/この2つの戦闘で少なくとも44名の市民と民兵が死亡

1865迄 (2324件)

- 1862年8月18日-09:00|日本|東京都|文久2年7月23日|<死去>二代目・烏亭焉馬(戯作者・浄瑠璃作家)71才
- 1862年8月19日 06:00|アメリカ| ||<ダコタ戦争>ダコタ族はニューアルムの入植地を襲い、通り道にいた白人入植者達を殺した/ダコタ族の戦士達は防御線の一部を突破し、町の一部を焼いた
- 1862年8月19日-09:00|日本|奈良県奈良市|文久2年7月24日|<死去>大和柳生藩1万石「柳生俊順」27歳⇒9月25日、弟「柳生俊益」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1862年8月20日-09:00|日本|東京都|文久2年7月25日|対馬藩江戸家老・佐須伊織を藩主継嗣問題で対立していた同藩佐幕派・勝井五八郎らが暗殺
- 1862年8月21日-01:00|オーストリア| ||ウィーン市民公園開園
- 1862年8月21日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍モニター「ニュー・アイアンサイト」(4120t, C. H. & W. H. Crampで建造)フィラデルフィア海軍工廠にて
- 1862年8月21日 06:00|アメリカ| ||<ダコタ戦争>ダコタ族はリッジリー砦を攻撃、砦を制圧できなかったが、砦からニューアルムへ向かっていた白人の救援隊はダコタ族に待ち伏せされ、またリッジリー砦の攻防で人手を費やし、米軍の戦力を大きく損ねた/ダコタ族はミソト州南中部や当時のダコタ準州東部で、農園や小さな入植地への襲撃も行った
- 1862年8月23日 06:00|アメリカ| ||アメリカ海軍オビニ級スloop「エティオンダック」(1934t)Little Bahama Islandにて難破
- 1862年8月24日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ連合国クルーザー「アラバマ」(1050t)
- 1862年8月25日-09:00|日本| ||文久2年8月|官板海外新聞(宮版ハタビヤ新聞が改題)創刊
- 1862年8月26日-09:00|日本|高知県高知市|文久2年8月2日|吉田東洋暗殺犯を探っていた土佐藩下横目・井上佐一郎を岡田以蔵らが暗殺
- 1862年8月28日 00:00|コートジボワール/フランス| ||<就任>ケランパッサム(ヌール砦)民間司令官「ジョセフ・アルム」(~18630114没)
- 1862年8月28日-09:00|日本| ||文久2年8月4日|彗星が西北方面の空に出現
- 1862年8月29日-01:00|イタリヤ| ||ローマに進軍したガリバルディ軍が、アスロンテでイタリヤ政府軍に敗れる(アスロンテの変)
- 1862年8月29日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍オビニ級スloop「ワサニック」(1934t, チャールズタウン海軍工廠)
- 1862年8月30日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:第二次ブルンの戦い>(29日~)バージニア州の戦いで南軍リー将軍が集中攻撃で北軍を破る
- 1862年9月1日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:シャンティリーの戦い>バージニア州の戦いで引き分け、北バージニア方面作戦終了
- 1862年9月1日-09:00|日本|山口県|文久2年8月8日|長州清末藩士船越清蔵が長州藩士に毒を盛られ暗殺
- 1862年9月2日 06:00|アメリカ| ||<ダコタ戦争>ミソト州民兵隊は反撃を試みたものの、「バーチラーの戦い」で再度大敗北(ダコタ族がリッジリー砦から25kmにあるバーチラーの米軍分遣隊150名を襲った)/早朝の攻撃で3時間に及ぶ銃撃戦が始まった/ダコタ族が2人戦死し、米軍は13名の兵士が戦死し、47名が負傷
- 1862年9月3日-09:00|日本|東京都|文久2年8月10日|<死去>本因坊秀策、囲碁棋士(生年1829年)
- 1862年9月4日-01:00|セルビア/トルコ| ||オスマン守備隊がベオグラードから撤退
- 1862年9月5日 00:00|イギリス| ||イギリスの気象学者、ジェームズ・グレシャーとヘンリー・トレンシー・コックスウェルが気球で高度8,000mを超えた
- 1862年9月5日-09:00|日本|青森県上北郡七戸町|文久2年8月12日|<死去>七戸藩11000石「南部信誉」⇒養子「南部信民」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、1000石削減され隠居)
- 1862年9月5日-09:00|日本|東京都文京区|文久2年8月12日|<死去>2代目・三遊亭圓生(落語家/本名、尾形清次郎→三升屋しげ次→竹林亭虎生→三遊亭死生→橋屋圓蔵)死去[1806年生~]
- 1862年9月6日-09:00|日本|福島県郡山市|文久2年8月13日|<死去>陸奥守山藩2万石「松平頼誠」⇒三男「松平頼升」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1862年9月7日 00:00|イギリス| ||<死去>5代ハントン伯「レスター・スタンホープ」
- 1862年9月7日 00:00|イギリス| ||<就任>6代ハントン伯「シドニー・シモア・ハイト・スタンホープ」先代の息子(~18660222死去)
- 1862年9月9日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「ヴァンダーベルト」(3360t:18620317, Vanderbilt Lineの汽船を海軍が購入、ニューヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1862年9月9日-09:00|日本|千葉県野田市|文久2年8月16日|<減封交替>下総関宿藩68000石「久世広周」強制隠居⇒58000石で長男「久世広文」が継ぐ(⇒11月20日、48000石に減封)
- 1862年9月9日-09:00|日本|福島県いわき市|文久2年8月16日|<交替>陸奥磐城平藩67000石「安藤信正」強制隠居⇒長男「安藤信民」が継ぐ(⇒11月20日、4万石に減封)
- 1862年9月10日 04:00|パラグアイ| ||<就任>パラグアイ共和国大統領「フランシスコ・ソラノ・ロペス・カリゼヨ」(10.16まで代行~18690815)
- 1862年9月11日 00:00|イギリス| ||<ゴルフ>第3回全英オープン選手権優勝:トム・モリス・シニア(2回目)(スコットランド/163)
- 1862年9月12日-09:00|日本/ロシア| ||文久2年8月19日|ロシアと開港・開市の延期を定めた約定書とカリシ分界の覚書に調印
- 1862年9月14日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:サウス山の戦い>メリランド州で南軍が北軍に敗北も北軍進行を1日遅らせる
- 1862年9月14日-09:00|日本/イギリス|神奈川県横浜市鶴見区|文久2年8月21日|<生麦事件>幕政改革要求の勅使下府に随従して帰京中の薩摩藩島津久光の大名行列に日曜日の遠乗りの英人4人が騎馬で入り込み無礼討ちにあい英人リチャード・ツツら3人死傷
- 1862年9月15日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|文久2年8月22日|<死去>陸奥棚倉藩6万石「松平康圭」⇒長男「松平康泰」が継ぐ(⇒元治元(1864)年11月18日、死去)
- 1862年9月17日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:アンティタムの戦い>首都ワシントンに迫ったリー将軍の部隊、数に勝るマクラン麾下の北軍に破れ撤退

1865迄 (2324件)

- 1862年9月17日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年8月24日|<就任>京都所司代「牧野忠恭」(⇒1863(文久3年6月11日))
- 1862年9月17日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|文久2年8月24日|<死去>鳥取西館新田藩2万石「池田清緝」⇒弟「池田徳定」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月10日、藩名を因幡若桜藩と改名)
- 1862年9月18日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| ||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ホセ・パウリス・デ・アントニオ」(1回目~18650930)
- 1862年9月19日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:イカの戦い>ミシシッピ州で北軍が南軍の進軍を止め勝利
- 1862年9月19日-09:00|日本|東京都|文久2年8月26日|<死去>初代・金原亭馬生(本名、銀次郎→三遊亭圓遊→当名、四代目坂東三津五郎の兄)
- 1862年9月20日-09:00|日本|滋賀県彦根市|文久2年8月27日|彦根藩政変により長野主膳(48歳)土籍剥奪され彦根牢内で斬首される
- 1862年9月22日 06:00|アメリカ| ||リカン大統領(53)が、奴隷解放予備宣言
- 1862年9月22日-09:00|日本|東京都|文久2年8月29日|来原良蔵(34歳)横浜の外国公使館襲撃を企てたのが江戸長州藩邸内で刃
- 1862年9月23日-01:00|ドイツ| ||<就任>プロシヤ王国首相「オットー・フォン・ビスマルク」(~18730101)
- 1862年9月23日 06:00|アメリカ| ||<タコ戦争>「ウッドレイクの戦い」散兵線にいた部隊がこの時は峡谷にいたタコ族戦士に突撃を掛け、急ごしらえの民兵たちはインディアンを圧倒的に打ち負かした
- 1862年9月23日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久2年8月30日|目明かし「文吉」土佐尊攘派志士に梟首される
- 1862年9月24日-08:00|フィリピン| ||<死去>スール王国スルタン「ムハンマド・ファズル・カヒル」
- 1862年9月24日-08:00|フィリピン| ||<即位>スール王国スルタン「ムハンマド・ジャマル・アザム」(~18810407死去)
- 1862年9月24日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年閏8月|横浜の「伊せ熊」で牛肉を煮た料理が売り出されはじめる/牛鍋屋の先駆
- 1862年9月24日-09:00|日本|東京都中央区|文久2年閏8月|<初演>「村井長庵巧破傘」[作・二代目河竹新七], 森田座
- 1862年9月24日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年閏8月1日|<任命>初代京都守護職「松平容保」会津藩主
- 1862年9月24日-09:00|日本|福井県小浜市|文久2年閏8月1日|<交替>若狭小浜藩11万3500石「酒井忠義」隠居⇒養子「酒井忠氏」が継ぐ(⇒同月14日、10万3500石に減封)
- 1862年9月26日 06:00|アメリカ| ||<タコ戦争>タコ族戦士の大半は「釈放基地」で降伏
- 1862年9月27日-09:00|日本|大分県臼杵市|文久2年閏8月4日|<死去>豊後臼杵藩5万石「稲葉親通」24歳⇒養子「稲葉久通」が継ぐ(⇒明治2年6月19日、版籍奉還)
- 1862年9月29日-01:00|イタリヤ/イラン| ||ペルシヤが、イタリヤとの友好通商条約に調印
- 1862年9月30日 06:00|アメリカ| ||<移管>アメリカ海軍河用装甲艦「シエネラル・ブラック」(1043t)⇒陸軍省
- 1862年10月 05:00|コンゴ/ア| ||アンティキアで抵抗を続けていた保守党軍が降伏。内戦が最終的に終了
- 1862年10月1日-01:00|サマリヤ| ||<就任>サマリヤ共和国執政「フランチェスコ・グアイ・ジョージ」
- 1862年10月7日-09:00|日本|福井県小浜市|文久2年閏8月14日|<減封>若狭小浜藩11万3500石「酒井忠氏」朝廷への不敬⇒10万3500石(⇒慶応4(1868)年12月9日、隠居)
- 1862年10月8日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)代行「アブランテス子爵・侯爵ミゲル・カルモン・デュパン・エアルメイダ」(~11.18)
- 1862年10月8日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争:ペリービルルの戦い>南軍のハートランド攻勢(ケンタッキー方面作戦)の頂点として、ケンタッキー州ペリービルルの西、チャップリンヒルズで行われた戦闘で北軍の戦死894名、捕虜または不明471名、南軍の戦死532名、捕虜または不明228名
- 1862年10月12日 03:00|アルゼンチン| ||<就任>ブラジルの帝国閣僚評議会議長(首相)代行「アブランテス子爵・侯爵ミゲル・カルモン・デュパン・エアルメイダ」(~11.18)
- 1862年10月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年閏8月19日|三政釐整庁を廃止
- 1862年10月13日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久2年閏8月20日|尊攘派の本間精一郎(29歳)、岡田以蔵・田中新兵衛らに斬殺される
- 1862年10月13日-09:00|日本|静岡県沼津市|文久2年閏8月20日|<交替>駿河沼津藩5万石「水野忠寛」隠居⇒養子「水野忠誠」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年9月14日、死去)
- 1862年10月15日-09:00|日本| ||文久2年閏8月22日|幕府、参勤交代を3年に1回に緩和し、大名妻子の帰国を認める;幕府服制を改め熨斗目長袴を廃す(4月15日発布)
- 1862年10月15日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文久2年閏8月22日|九条(前関白九条尚忠)家の諸太夫宇郷重国、岡田以蔵らに暗殺される
- 1862年10月17日-02:00|ギリシャ| ||ギリシャ王国、革命が勃発
- 1862年10月18日 00:00|カナダ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールト=ユースト総督「ヘンリー・アレクサンダー・エリアス」(1回目~18640314)
- 1862年10月20日 00:00|カナダ/イギリス| ||<就任>イギリス領ゴールト=ユースト総督・最高司令官「リチャード・ハイン」(1回目~18640405)
- 1862年10月21日 06:00|アメリカ/リベリア| ||米国によりリベリア共和国独立が承認される
- 1862年10月22日-02:00|ギリシャ| ||<就任>ギリシャ臨時政府議長「テオドロス・ケオキス・カウーラリス」(~18630221)
- 1862年10月22日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年閏8月29日|目明し猿の文吉、岡田以蔵らに暗殺される
- 1862年10月23日-02:00|ギリシャ| ||<廃位>ギリシャ王国初代国王「オthon1世」ケターにより追放される
- 1862年10月23日-09:00|日本| ||文久2年9月|<出版>松川半山・梅川東居「再撰花洛名勝図絵」八冊
- 1862年10月23日-09:00|日本/アメリカ|岡山県高梁市|文久2年9月|備中松山藩がアメリカ木造船「コーウルワラス」(155t:アメリカ)

1865迄 (2324件)

- リカ・ニューヨークで建造) 購入し「快風丸」と命名(慶応4年、岡山藩保管艦)
- 1862年10月23日-09:00|日本| ||文久2年9月1日|足軽・中間の帰農令が出される
- 1862年10月24日 05:00|ペル| ||<就任>ペル共和国大統領「ミゲル・デル・サン・ロマン・イ・メサ」(~18630403)
- 1862年10月24日-09:00|日本/フランス|神奈川県横浜市南区|文久2年9月2日|フランス中尉カミュが井戸ヶ谷で殺害される
- 1862年10月24日-09:00|日本|栃木県大田原市|文久2年9月2日|<死去>下野大田原藩11400石「大田原富清」⇒長男「大田原一清」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1862年10月27日 05:00|ペル| ||<就任>ペル共和国閣僚評議会議長(首相)「セ・グレゴリオ・パ・ス・ソルタン・ウレタ」(~18630410)
- 1862年10月28日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年9月6日|<解任>老中「脇坂安宅」
- 1862年10月30日-01:00|スロベニア/オーストリア| ||<就任>オーストリア領スロベニア総督「ヨハン・ネーグ・フライヘル・フォン・シュロイスニツヒ」(~18651119)
- 1862年10月30日 06:00|アメリカ| ||リチャード・ジョーダン・ガトリック がガトリック 砲の米国特許を取得
- 1862年11月-01:00|スイス| ||アンリー・デュナンが「ソルフェーノの思い出」をジュネーブで自費出版
- 1862年11月 04:00|アンティグア・バブーダ| ||<就任>アンティグア総督「ステーブ・ジョン・ヒル卿」(1回目~1866年)
- 1862年11月1日-09:00|日本|岐阜県海津市|文久2年9月10日|<交替>美濃今尾藩3万石「竹腰正富」隠居⇒10月、養子「竹腰正旧」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1862年11月2日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年9月11日|<就任>老中格「小笠原長行」(~文久3年6月9日)
- 1862年11月2日-09:00|日本/オランダ|長崎県長崎市|文久2年9月11日|幕府が派遣する第1回オランダ 留学生が長崎を出帆(榎本武揚、澤太郎左衛門、西周、伊東玄朴、林洞海ら15名)
- 1862年11月4日 06:00|アメリカ| ||アメリカで手動式機関銃のガトリック 銃特許取得
- 1862年11月4日 06:00|アメリカ| ||グランド、グランド・ジャンクションを占領
- 1862年11月6日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍オビ°級スループ「オビ°」(1934t, ホーツマス海軍工廠)
- 1862年11月6日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年9月15日|済州で民乱
- 1862年11月7日-05:30|インド| ||<死去>第17代ムガル皇帝「バハドール・シャー2世」(生年1775年)
- 1862年11月8日-05:30|インド| ||<就任>ラージコット国統治者(タクル・サーヒブ)「バウジ・ラージ・マルマンシンジ」(~18900416没)
- 1862年11月8日-09:00|日本|三重県亀山市|文久2年9月17日|<死去>伊勢亀山藩6万石「石川総禄」⇒甥「石川総脩」が継ぐ(⇒慶応元(1865)年閏5月6日、死去)
- 1862年11月8日-09:00|日本|山形県鶴岡市|文久2年9月17日|<死去>出羽庄内藩14万石「酒井忠寛」⇒甥「酒井忠篤」が継ぐ(⇒元治元(1864)年8月18日、27000石加増され16万7071石余)
- 1862年11月10日-01:00|イタリア| ||<初演>ジュゼッペ・フォルトゥネーノ・フランチェスコ・ヴェルディ《歌劇「運命の力」》
- 1862年11月12日-05:00|ウズベキスタン| ||<死去>ブハラ・ハン国アミール「Sayyid Muzaffar ad-Din Bahadur Khan」
- 1862年11月12日 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督「サミュエル・ウェンスリー・ブラックオール」(1回目~1865年3月)
- 1862年11月13日-05:30|インド| ||<死去>パティアル国統治者(マハラジャ・エラジガン)「ナンドラッソ」
- 1862年11月13日-05:30|インド| ||<即位>パティアル国統治者(マハラジャ・エラジガン)「モントラッソ」(~18760414没)、摂政「ジャグディッシュ」(~18700226)
- 1862年11月14日-09:00|日本|滋賀県湖南市|文久2年9月23日|京都町奉行与力渡辺金三郎、同心森孫六、大川原重蔵、上田助之丞ら近江石部宿で暗殺される
- 1862年11月15日-09:00|日本|新潟県長岡市|文久2年9月24日|<死去>越後与板藩2万石「井伊直充」⇒養子「井伊直安」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1862年11月17日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Jose Eduardo da Costa Moura」(~18630330)
- 1862年11月19日-09:00|日本|広島県福山市|文久2年9月28日|<竣工>備後福山藩、洋型船「順風丸」
- 1862年11月20日-09:00|日本|千葉県夷隅郡大多喜町|文久2年9月29日|<死去>上総大多喜藩2万石「松平正和」40歳⇒婿養子「松平正質」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1862年11月22日 04:00|フォークラント/イギリス| ||<就任>イギリス領フォークラント 諸島総督「ジェームズ・ジョージ・Mackenzie」(~18660624)
- 1862年11月22日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ連合国砲郭装甲艦「アトランタ」(1006t; 商船Fingalを取得、砲郭装甲艦に改装、アトランタと改名)
- 1862年11月22日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年10月|幕府、横浜在留官吏子弟のため英学校(一名英学所)設立/横浜修文館を設け漢学を教授
- 1862年11月22日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年10月1日|改造された横浜居留地の競馬場で各国人連合春季レースが二日間にわたり開催/初の洋式競馬
- 1862年11月23日-09:00|日本|茨城県結城市|文久2年10月2日|<死去>下総結城藩18000石「水野勝任」⇒11月24日、「水野勝知」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、強制隠居、1000石減封)
- 1862年11月23日-09:00|日本|岐阜県岐阜市|文久2年10月2日|<交替>美濃加納藩32000石「永井尚典」隠居⇒養子「永井尚服」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1862年11月24日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<死去>キエフ軍総督・キエフ県民事最高責任者兼ホヰーリャウ・ホルニニ総督「Knyaz' Illarion Illarionovich Vasilchikov」
- 1862年11月25日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍パ°セウ級モニター「パ°セウ」(1335t, コンチネンタル鉄工所で建造)
- 1862年11月29日-01:00|ドイツ| ||<初演>ヨハネス・ブラームス《ピアノ四重奏曲第2番イ長調Op. 26》
- 1862年11月30日 00:00|イギリス| ||<死去>イギリス劇作家ノールズ/78歳(誕生17840512)「恋愛ごっこ」を書いた

1865迄 (2324件)

- 1862年11月30日-09:00|日本|東京都千代田区|文久2年10月9日|<就任>老中「井上正直」(~元治1年7月12日)
- 1862年12月-09:30|オーストラリア| ||<就任>「エドワード・ストリカー、ギップスランド」で砂金を発見
- 1862年12月-03:00|イェメン/トルコ| ||<就任>オスマン帝国イェメン・ウリス(総督)「Musullu Ali Yaver Pasha」(~1864.8)
- 1862年12月2日-02:00|ウクライナ/ロシア| ||<就任>ロシア領ウクライナ総督「Pavel Yevstafyevich Kotsebu」(~1874.1)
- 1862年12月4日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ海軍少将「ジェームズ」(1934t, フィラデルフィア海軍工廠)
- 1862年12月4日-09:00|日本/イギリス| ||文久2年10月13日|イギリス商船「シンキー」(1861年イギリスで建造. 405t)を幕府が購入し「順動丸」と改称
- 1862年12月6日 06:00|アメリカ| ||<就任>メキシコ戦争:ス族38名が絞首刑となる(米国史上最多の同時処刑)
- 1862年12月8日-05:30|インド| ||<就任>シコ州統治者(オ)「ウメイ・シン2世」(~18750916)
- 1862年12月8日-01:00|イタリア| ||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「ルイジ・カルロ・ファリニ」(~18630324)
- 1862年12月8日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領メキシコ総督「Manuel Alvarez Maldonado」(~1863年)
- 1862年12月8日-09:00|日本|栃木県栃木市|文久2年10月17日|<死去>下野吹上藩1万石「有馬氏郁」⇒養子「有馬氏弘」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1862年12月10日-01:00|ドイツ| ||<就任>プロシヤのビスマルク首相が官吏服務令を布告して自由主義を弾圧
- 1862年12月10日 05:00|キューバ/スペイン| ||<就任>スペイン植民地キューバ 総督・総司令官「ワロリット侯爵」ミンコ・ド・ウエル・イ・ガライ(1回目~18660530)
- 1862年12月11日-09:30|オーストラリア/イギリス| ||<就任>タスマニア植民地総督「トマス・ゴア・ブ・ラウン」(~18681230)
- 1862年12月11日 06:00|ロシア| ||<就任>ロシア共和国大統領代行「ホセ・フランシスコ・モンテス・フォンセカ」(2回目~1863097)
- 1862年12月11日-09:00|日本|京都府京都市上京区|文久2年10月20日|万里小路家家士「小西直記」尊攘派志士に暗殺される
- 1862年12月12日-04:00|セイシェル/イギリス| ||<就任>イギリス領セイシェル長官「スウィン・ハート・ウオード」(~1869年3月)
- 1862年12月12日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ海軍補給艦「サカラン」(1750t;18620504, キューバにてチャールストンのA. S. Henckle & George Alfred Trenholmeの封鎖突破艦船を拿捕⇒18621108, キューバにて購入し、ニューヨーク海軍工廠で補給艦に改装)
- 1862年12月13日 06:00|アメリカ| ||フレデリックスバーグの戦いで北軍大敗
- 1862年12月13日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年10月22日|幕府、山陵奉行という新職を置く(歴代の天皇及び皇族の御陵を实地調査する)
- 1862年12月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年10月23日|京畿・広州で民乱
- 1862年12月15日 06:00|アメリカ| ||(11日~)南北戦争:フレデリックスバーグの戦い/南軍のロバート・E・リー大将の北軍のアンダーソン少将のホトマック軍との間で戦われ、南北戦争の中では最も一方的な結果になった戦いで北軍は南軍に対して無益な正面攻撃を繰り返して恐るべき損失を出し、アメリカ連合国の首都リッチモンドへ向かっていたその方面作戦を早期に切り上げる事になった
- 1862年12月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年10月24日|咸興で民乱[咸鏡道]
- 1862年12月15日-09:00|日本|千葉県千葉市中央区|文久2年10月24日|<死去>下総生実藩1万石「森川俊徳」⇒12月16日、養子「森川俊方」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1862年12月15日-09:00|日本|宮崎県延岡市|文久2年10月24日|<交替>日向延岡藩7万石「内藤政義」隠居⇒養子「内藤政孝」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1862年12月17日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ海軍少将「モントーク」(1335t, コンチネンタル鉄工所で建造)
- 1862年12月18日-09:00|日本|滋賀県彦根市|文久2年10月27日|彦根藩士宇津木六之丞、政変により処刑される
- 1862年12月20日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治1年10月29日|三政釐整策を廃止
- 1862年12月20日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文久2年10月29日|<死去>大和小泉藩11129石「片桐貞利」⇒養子「片桐貞篤」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1862年12月21日-09:00|日本|東京都墨田区|文久2年11月|<大相撲>文久2年11月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東大関(横綱))雲龍, 6勝1敗1分2休
- 1862年12月21日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久2年11月1日|上野彦馬、長崎新大工町中島川端に日本最初の写真館を開設
- 1862年12月22日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文久2年11月2日|中岡慎太郎、伏見視察-村田忠三郎・河野万寿弥とともに土佐藩目付・広田章次を暗殺
- 1862年12月23日 06:00|アメリカ| ||南北戦争/南軍がフレデリックスバーグの戦いで北軍を破る
- 1862年12月26日 06:00|アメリカ| ||<就任>メキシコ戦争:クリスマス翌日に、メソチ州マンカトのスプリング砦でメキシコ族死刑囚たちの38人同時処刑
- 1862年12月26日-09:00|日本|福井県大野市|文久2年11月6日|<交替>越前大野藩4万石「土井利忠」隠居⇒三男「土井利恒」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1862年12月27日-09:00|日本|神奈川県小田原市|文久2年11月7日|土佐藩士「坂本瀬平」、小田原にて勤王党员「田内衛吉」「檜垣清治」「今橋権助」により斬殺される
- 1862年12月28日-02:00|モルドバ/ロシア| ||<就任>ロシア領ウクライナ州総督「イワン・オホービッチ・パロウ・ウエリカ」(~18630801)
- 1862年12月29日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ海軍少将「ナット」(1335t, City Point Worksで建造)
- 1862年12月30日 00:00|イギリス/フランス| ||イギリスがフランス商船を拿捕し国交断絶へ
- 1862年12月31日 05:00|ハイチ/アメリカ| ||リカン、ハイチへの黒人移民に関する契約を結ぶ
- 1862年12月31日 06:00|アメリカ| ||南北戦争:ストーンリバーの戦いで北軍が2度南軍の攻撃を撃退し南軍撤退

1865迄 (2324件)

- 1862年12月31日 06:00|アメリカ | || |アメリカ合衆国海軍初の装甲艦「モーター」が外輪式運送船「ロード・アイランド」による曳航中に高波におそわれノースカロライナ州ハッテラス岬沖で沈没し62名の乗組員のうち16名が行方不明となった
- 1863年-08:00|マレーシア | || |<就任>サラワク・ラジヤ代行「チャールズ・アンソニー・ジョンソン・ブルック」(~1868年)
- 1863年-05:45|ネパール | || |<即位>マスタング王「ソゴト・ウツ・ハルバール」(~1893年没)、摂政「キヤルモ・ツェムチョク・ゲルマ」(~1868年)
- 1863年-05:30|インド | || |<就任>カニヤタナ国統治者(ラオ)「ケマン・シン」(~1869年没)
- 1863年-05:30|インド | || |<就任>カマルタ国統治者(ターケル)「ハハド・ウル・シン」(~1864年没)
- 1863年-05:30|インド | || |<就任>シヤムニア支配者(ブミア)「ハミル・シン」(~1924年没)
- 1863年-05:30|インド | || |<就任>ハリサン国統治者(ターケル)「ラム・ナレイン・シン」(~不明)
- 1863年-05:30|インド | || |<就任>マウルハニ国ラジヤ「シユリナート・ハニ・テオ」(~1868年没)
- 1863年-05:30|インド/イギリス | || |シオンをイギリスに割譲
- 1863年-05:00|パキスタン | || |<就任>スワット宗教指導者(アホンド)「アフド・アル・ガフル・サイド・ウ・ハバ」スワット「世俗的」国家は休止状態にあり宗教指導者(アホンド)が統治(~1877年没)
- 1863年-05:00|パキスタン | || |<就任>デール国統治者(カン)「ガザン・カーン」(~1874年)
- 1863年-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン | || |<即位>コカント・ハン国ハン「ムハンマト・スルタン・ハン」(~1865.3)
- 1863年-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン | || |<退位>コカント・ハン国ハン「ムハンマト・フダヤール・ハン」逃亡
- 1863年-04:30|アフガニスタン | || |<就任>アフガニスタン(カーブル)首相(ワシール・イ・アザム)「モハマト・ラフイク・カーン」
- 1863年-04:30|アフガニスタン | || |<即位>アフガニスタン対立大王(カンダハール)「モハマト・アミン・カーン」(~1865年)
- 1863年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア | || |<就任>バクー県軍事総督および民事行政官「ミハイル・ペトローヴィッチ・コリュバキン」(~1872年没)
- 1863年-04:00|ロシア | || |アバセクの部族がロシアに降伏
- 1863年-03:00|イェメン/イギリス | || |<就任>イギリス領アデン理事官「ウィリアム・Lockyer Merewether」(~1867年)
- 1863年-03:00|スーダン/エジプト | || |<就任>エジプト領スーダン総督「ムサ・ハムディ・ハシヤ」(~1865年)
- 1863年-03:00|イラク/トルコ | || |<就任>ハスラのワシ「イスマイル・ベイ」(~1864年)
- 1863年-03:00|カンタ | || |<就任>ブコノ統治者(オムカマ)「キナンベ・キタムワ」(~1897年)
- 1863年-03:00|カンタ | || |<就任>ブラキ統治者(オムカマ)「ジボント7世ナムホノコ3世キシラ」(~18980906没)
- 1863年-03:00|バラルシ/ロシア | || |<就任>ミンスクのロシア軍臨時総督兼ミンスク県民事主席管理者「ヴァシリ・イワノビッチ・ザボロツキ」(~1864年)
- 1863年-03:00|ジブチ | || |<即位>ダジュラ・スルタン国スルタン「フマト・ベイン・アロム・ムハンマト」(~1879年)
- 1863年-03:00|ジブチ | || |<即位>ラハイト・スルタン「フルハン・サイド・アサ・タルダール」(~18841020)
- 1863年-02:00|コンゴ民主共和国 | || |<死去>グウェシエ王国ムワミ・グウェシエ「グウェシエ8世ウイブカ2世」
- 1863年-02:00|キプロス/トルコ | || |<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督「テウフィク・ハシヤ」
- 1863年-02:00|モザンビーク | || |<就任>サンクル首長「カマカ・モリテイ」(~1874年)
- 1863年-02:00|コンゴ民主共和国 | || |<即位>グウェシエ王国ムワミ・グウェシエ「グウェシエ9世ルンゲ2世」(~1889年没)
- 1863年-01:00|ベナン | || |<死去>サハルのマリ国統治者「ケハギテイ6世ニユイリ」
- 1863年-01:00|ガボン/フランス | || |<就任>ガボン・キニア湾入植地司令官「シャルル・フェルディナント・ユジン・ハウア」(~1866年)
- 1863年-01:00|ベナン | || |<就任>サハルのマリ国統治者「ケハギテイ7世リトノ」(~1885年没)
- 1863年-01:00|ナイジェリア/イギリス | || |<就任>ロス植民地総督代理「ウィリアム・ライス Mulliner」(~7.25死去)
- 1863年-01:00|ドイツ | || |<称号変更>アンハルト・テッサ公「レオルト4世」⇒アンハルト公(~18710522死去)
- 1863年 00:00|マン島/イギリス | || |<死去>マン島副知事「Francis Pigott Stainsby Conant」
- 1863年 00:00|セントヘレナ/イギリス | || |<就任>イギリス領セントヘレナ第6代総督「Sir Charles Elliot提督」
- 1863年 04:00|アルバ/オランダ | || |<就任>アルバ島副知事「Edouard Denis Ernest van den Bossche」(~1866年)
- 1863年 04:00|グレナダ/イギリス | || |<就任>グレナダ副総督代行「アレクサンダー・ベイン」(2回目)⇒「コーネリアス・ヘントリック・コートライト」(5回目~1864年1月)
- 1863年 04:00|セントクリストファー・ネイビス | || |<就任>ネイビス大統領「イットー・ルピーター・リンチ・デイエット」(~1864年没)
- 1863年 10:00|ポリネシア | || |<即位>パロ王「Aperahama」
- 1863年1月-02:00|ラトビア | || |ポーランドの「第二次反乱」を支援するためにクルスワで反乱(~3月)
- 1863年1月 00:00|イギリス | || |オールコックが「大君の都」を出版
- 1863年1月1日-01:00|スイス | || |<就任>スイス連邦大統領「カール・エマニュエル・コンスタン・フォルネロット」Rad(2期目~12.31)
- 1863年1月1日 06:00|アメリカ | || |アメリカ、反乱諸州の奴隷の解放を宣言し、400万人の奴隷が解放される/南北戦争終結までまだ2年余りを要す
- 1863年1月1日-09:00|日本/アメリカ|大阪府大阪市|文久2年11月12日|大阪の開市
- 1863年1月1日-09:00|日本/アメリカ|兵庫県神戸市兵庫区|文久2年11月12日|兵庫の開港
- 1863年1月2日 06:00|アメリカ | || |(マフリス・ホロの戦い)(18621231~)北軍、ネネ州で勝利
- 1863年1月2日 06:00|アメリカ | || |<就役>アメリカ海軍パセイク級モニター「ハタゴスコ」(1335t, Harlan & Hollingsworth Co. で建造)
- 1863年1月3日 09:00|日本|東京都多摩市|文久2年11月14日|暮六時過ぎ、吉原京町一丁目裏屋より出火して、一廓残らず焼亡
- 1863年1月4日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久2年11月15日|金閣寺侍「多田帯刀」尊攘派志士に暗殺される
- 1863年1月5日-02:00|トルコ | || |<就任>オスマン帝国大宰相「ユスフ・ガミル・ハシヤ」(~6.1)
- 1863年1月6日-01:00|ドイツ | || |<初演>ヨハネス・ブラームス《ピアノ・ソナタ第3番》短調Op. 5
- 1863年1月7日 06:00|アメリカ | || |<就役>アメリカ海軍サクラメント級スルーフ「サクラメント」(2100t, ホーツマ海軍工廠)

1865迄 (2324件)

- 1863年1月8日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サラムント級スループ「ラッカワ」(2526t,ブルックリン海軍工廠)
- 1863年1月9日-09:00|日本|滋賀県彦根市|文久2年11月20日|<減封>近江彦根藩30万石「井伊直憲」⇒20万石(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1863年1月9日-09:00|日本|千葉県野田市|文久2年11月20日|<減封>下総関宿藩58000石「久世広文」朝廷への不敬⇒48000石(⇒明治元(1868)年5月、隠居)
- 1863年1月9日-09:00|日本|福井県鯖江市|文久2年11月20日|<交替>越前鯖江藩5万石「間部詮勝」1万石を減封し4万石、隠居⇒次男「間部詮実」が継ぐ(⇒文久3(1864)年11月27日、死去)
- 1863年1月9日-09:00|日本|福島県いわき市|文久2年11月20日|<減封>陸奥磐城平藩6万石「安藤信民」朝廷への不敬⇒4万石(⇒翌年8月10日、死去)
- 1863年1月10日-04:00|モリスヤス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリスヤス総督・最高司令官代行「モンタギュー・チヨルミー・ジョンストン」(~11.26)
- 1863年1月10日 00:00|イギリス| |||ロンドンのパデントン-ファリントン間に世界初の地下鉄6kmが開業/駅には天井がなく、蒸気機関車が牽引する列車
- 1863年1月10日-09:00|日本|愛媛県今治市|文久2年11月21日|<交替>伊予今治藩35000石「松平勝道」隠居⇒甥「松平定法」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1863年1月10日-09:00|日本|愛媛県西条市|文久2年11月21日|<交替>伊予西条藩33000石「松平頼学」隠居⇒五男「松平頼英」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1863年1月11日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>アカンソー・ホーストの戦い(9日~)ピックスバーグ方面作戦アカンサス川河口近くで北軍が勝利
- 1863年1月11日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍外輪戦闘艦「ハテラス」(1126t)ガルフ・エストンにてアメリカ連合軍海軍クルーザー「アラハマ」の砲撃により沈没
- 1863年1月14日-09:00|日本|愛知県西尾市|文久2年11月25日|<交替>三河国西尾藩6万石「松平乗全」1万石減封され隠居⇒弟「松平乗秩」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1863年1月15日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サラムント級スループ「モンカヒーラ」(2078t)フィラデルフィア海軍工廠
- 1863年1月17日 00:00|ポルトガル| |||<就任>フンチャル地区民政知事代理「Jacinto Antonio Perdigo」(⇒6.17知事~18680130)
- 1863年1月18日-05:30|イギリス/フランス| |||<就任>フランス領インド総督「ポール・ジョゼフ・フルー・ボントン」(1回目~18670327)
- 1863年1月18日-02:00|エジプト/トルコ| |||<死去>オスマン帝国領エジプト総督「ムハンマド・サイード・パシャ」
- 1863年1月18日-02:00|エジプト/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領エジプト総督「イスマイル・パシャ」(~18670608)
- 1863年1月18日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍バセイク級モニター「ウィーホーケン」(1335t, Zeno Secor & Coで建造)
- 1863年1月20日-09:30|オーストラリア| |||<就任>タスマニア植民地政府首相「ジェームズ・ホワイト」(~18661124)
- 1863年1月20日-09:00|日本|東京都|文久2年12月1日|幕府、陸軍奉行設置, 前講武所奉行大関忠裕(増裕)を任じた
- 1863年1月21日-01:00|ドイツ| |||オペル社創立
- 1863年1月22日-01:00|ポーランド| |||ポーランドでロシア帝国の支配に対する一月蜂起が勃発
- 1863年1月22日 04:00|BES諸島| |||<就任>サバ島副知事代理「Moses Leverock」(⇒18650413、副知事~18750801死去)
- 1863年1月22日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「フクト・シオ・ラリス」(~24日)
- 1863年1月24日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ合衆国大統領「最高暫定行政権(7.11から帝国摂政):ジョン・ホセ・ルモンテ/トウランシコ」司教ジョン・バプテスト・バスクアル・ジョセフ・オブ・カルマキア・イ・エルタイ(18631018まで)/ホセ・マリア・ノデ・サラス・バルブサ/メキシコ大司教ホセ・アントニオ・ペラジエ・ラトリニタード・テ・ラバステイタ・イ・ダウアラ(10.18~11.17)」(~18640520)
- 1863年1月27日-09:00|日本|新潟県柏崎市|文久2年12月8日|<死去>越後椎谷藩1万石「堀之敏」⇒次男「堀之美」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1863年1月28日 00:00|マン島/イギリス| |||<就任>マン島副知事代理「Mark Hildesley Quayle」(2期目~2.14)
- 1863年1月28日-09:00|日本|京都府京都市|文久2年12月9日|朝廷は国事御用掛を設置/撰家・親王・議奏・伝奏・その他の公卿合計29人が選ばれ毎月10日間, 小御所に集まり国事を討論
- 1863年1月28日-09:00|日本|兵庫県赤穂市|文久2年12月9日|赤穂藩急進派15人、家老森主税、村上真輔ら3人を暗殺
- 1863年1月28日-09:00|日本|大分県佐伯市|文久2年12月9日|<交替>豊後佐伯藩2万石「毛利高泰」隠居⇒長男「毛利高謙」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1863年1月29日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事代理「Andre Cesar Verand」(~9.30)
- 1863年1月29日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>ヘア川の虐殺/米陸軍がショーショーニ族インディアンを無差別虐殺
- 1863年1月31日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフ軍総督・キエフ県民事最高責任者兼ポジーリヤウ・ホルニニ総督「Nikolay Nikolayevich Annenkov」(~18650131死去)
- 1863年1月31日 00:00|イギリス| |||<死去>3代ランスダウン侯・4代ケリー伯「ヘンリー・ペティ=フィッツモリス」
- 1863年1月31日 00:00|イギリス| |||<就任>4代ランスダウン侯・5代ケリー伯「ヘンリー・トマス・ペティ=フィッツモリス」先代の次男(~18660705死去)
- 1863年1月31日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久2年12月12日|居留地80番の聖心教会堂の献堂式が行れる(耶蘇寺)
- 1863年1月31日-09:00|日本|イギリス|東京都品川区|文久2年12月12日|高杉晋作、伊藤俊輔・井上聞多等13人が品川御殿山に新築の英国公使館を焼き討ち
- 1863年2月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>アレクサンドリア(総督)「Mustafa Sureyya Pasha」(1期目~1866.1)
- 1863年2月 04:00|トミニカ共和国/スペイン| |||北部で大規模な反乱/いったんスペイン軍に鎮圧される

1865迄 (2324件)

- 1863年2月2日-02:00|ロシア| |||<就任>ロシアとペルシア臨時州政府議長(反乱)「ウインセント・コンスタンティ・カリノフスキ」(~3.11)
- 1863年2月4日 05:00|ロシア| |||<就任>グランド連合大統領「フランスコ・ハビエル・マルティネス・デ・サルト・ウァイテ・ラシネ(全国大会議長)」(~10日)
- 1863年2月6日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久2年12月18日|知恩院家士・深尾式部、暗殺される
- 1863年2月6日-09:00|日本|東京都|文久2年12月18日|幕府、陸軍総裁設置
- 1863年2月7日-09:00|日本|東京都|文久2年12月19日|<士道忘却事件>肥後藩江戸留守居役・吉田平之助の別宅二階で横井小楠、吉田平之助、都筑四郎が酒宴中に突然覆面姿の3人組みに襲撃され、吉田と都筑が傷を負い吉田は2ヶ月後にその傷がもとで死亡
- 1863年2月8日-01:00|ロシア| |||プロシヤのビスマルク首相が、ポーランド反乱鎮圧のためにロシアに協力する約定に調印
- 1863年2月8日-09:00|日本|愛媛県大洲市|文久2年12月20日|<交替>伊予新谷藩1万石「加藤泰理」隠居⇒長男「加藤泰令」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月25日、版籍奉還)
- 1863年2月9日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍パシフィック級モニター「サンガモン」(1335t, Reaney, Son & Archboldで建造)
- 1863年2月9日 10:00|日本|東京都千代田区|文久2年12月21日|夜、国学者・塙忠宝(次郎)と歌人・加藤甲次郎、中坊広伴邸での歌会の帰途、九段坂付近で伊藤俊輔(博文)らの手で暗殺される
- 1863年2月10日 05:00|ロシア| |||<就任>グランド連合大統領「エウストルグ・オ・サルガ・モレノ(行政省長官)」(1回目~5.14)
- 1863年2月10日-09:00|日本|栃木県下都賀郡壬生町|文久2年12月22日|壬生藩家老鳥居志摩、急進派に暗殺され、鳥居千葉之允も自刃
- 1863年2月11日 06:00|ロシア| |||スズ諸島がアメリカ合衆国に併合された(~19720901)
- 1863年2月12日-09:00|日本|広島県広島市|文久2年12月24日|<交替>広島新田藩3万石「浅野長興」宗家広島藩「長訓」の養嗣子となる⇒従弟「浅野長厚」が継ぐ(⇒明治2(1869)年12月26日、版籍奉還)
- 1863年2月13日-09:00|日本|長崎県対馬市|文久2年12月25日|<交替>対馬府中藩22800石「宗義和」隠居⇒三男「宗義達」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1863年2月14日 00:00|イギリス| |||<就任>マン島副知事「Henry Brougham Loch」(~1882年)
- 1863年2月16日 06:00|アメリカ| |||カンザス農科大学(後のカンザス州立大学)創立(初のランド・グラント大学)
- 1863年2月17日-09:00|日本|イギリス|石川県金沢市|文久2年12月29日|Duncan & Co., 「London City Of Hankow」(1861年, Robert Steele & Co., Greenock建造進水)加賀藩に売却、「発機丸」と改名(1866年、「錫懐丸」と改名→1871年、廻漕取扱所(東京)に移籍)
- 1863年2月17日-09:00|日本|長野県長野市|文久2年12月29日|佐久間象山(52歳)、9年間の松代蟄居を解かれる
- 1863年2月18日-09:00|日本|慶應義塾|文久3年|福沢諭吉、蘭学塾より英学塾に転向
- 1863年2月18日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久3年|ベルビューホテル開業(1906年廃業)
- 1863年2月18日-09:00|日本|山形県天童市|文久3年|<設置>出羽天童藩校「養生館」
- 1863年2月18日 00:00|イギリス| |||<死去>2代コッナム伯「チャールズ・エドワード・ヘピス」
- 1863年2月18日 00:00|イギリス| |||<就任>3代コッナム伯「ウィリアム・ジョン・ヘピス」(~18810220死去)
- 1863年2月18日-09:00|日本| |||文久3年1月|<出版>一惠斎芳幾「粹興奇人伝」
- 1863年2月18日-09:00|日本| |||文久3年1月|<出版>松川半山「澱川兩岸一覽」四冊
- 1863年2月18日-09:00|日本| |||文久3年1月|<出版>二代歌川広重「諸職画通」二冊
- 1863年2月18日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久3年1月|長崎にグラブ・邸完成
- 1863年2月21日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ国民議会議長代行「アリストイ・イ・モライニス」(~23日)
- 1863年2月23日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ摂政評議会議長「ジ・ヒ・オス・イ・ア・ナ・ヴァルグ・イ」(~4.8)
- 1863年2月23日-01:00|ペナン/フランス| |||<就任>ウイターンのフランス代理人「マリス・ドゥ・セステイン・ダマス」(~18650102)
- 1863年2月23日-01:00|ペナン/フランス| |||アジヤチエ・イェのファン王国、ホルボはフランスの保護領(~18650102)
- 1863年2月24日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍パシフィック級モニター「キャットキル」(1335t, コンチネンタル鉄工所で建造)ニュー・ヨーク海軍工廠にて
- 1863年2月24日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカ、アリゾナ準州設置
- 1863年2月25日 06:00|アメリカ| |||アメリカ連邦議会が国立銀行法を制定(全国銀行制度制定)
- 1863年2月26日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍パシフィック級モニター「ナンタケット」(1335t, アトランティック鉄工所で建造)
- 1863年2月27日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍河用装甲艦「ラファイエット」(1193t)ケロにて
- 1863年3月-05:00|パキスタン| |||<就任>カッタ国ワリ「シルティル・カーン」(~1864年5月没)
- 1863年3月 00:00|セネガル| |||<就任>ファクトール統治者「アルマニ」(ムスタファ・バ) (2回目~6月)
- 1863年3月 00:00|カナ/イギリス| |||カナで第3次アサチエ・イェ戦争がはじまる
- 1863年3月2日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Manuel Pando」穏和党(~18640117)
- 1863年3月2日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年1月13日|高杉晋作・白井小助らが有備館で江戸北町奉行の密偵、高槻藩士宇野八郎を暗殺
- 1863年3月3日 06:00|アメリカ| |||アメリカ議会、人身保護令状停止法可決;アメリカ第3次法貨法成立、グリーンバック紙幣増刷
- 1863年3月3日 06:00|アメリカ| |||リッカ、徴兵法案に署名-黒人兵の参加;リッカ、1863年裁判所法案に署名
- 1863年3月3日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年1月14日|薩長土尊王攘夷派20名が大宮通御池上ルにあつた町役人長屋を京都所司代などによる探索に協力的であったとして襲撃し、京都町奉行所の輩下中座林助暗殺
- 1863年3月4日-08:00|中国| |||雲南のムスリム反乱軍が省城を占領
- 1863年3月4日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカ、アイダホ準州設置

1865迄 (2324件)

- 1863年3月7日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年1月18日|<交替>田安德川家「徳川慶頼」隠居⇒長男「徳川寿千代」が継ぐ(⇒元治2(1865)年2月4日、6歳で死去)
- 1863年3月10日 00:00|イギリス| ||英王子アルバート(後のエドワード7世)がデンマーク王女アレクサンドラと結婚
- 1863年3月10日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年1月21日|京都日ノ岡で保守派の長州藩士香川助蔵が同藩士・榎崎仲輔に暗殺される
- 1863年3月11日-02:00|ロシア| ||<就任>ロシア管区管理局長(18630626からロシア行政局長)(反乱)「ヤコフ・ウイヘルム・ギーシュル」(~8.12)
- 1863年3月11日-09:00|日本|大阪府大阪市|文久3年1月22日|儒学者・池内大学(50歳)大坂で岡田以蔵ら尊攘過激派に暗殺される
- 1863年3月12日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年1月23日|<辞任>関白「近衛忠熙」
- 1863年3月12日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年1月23日|<就任>関白「鷹司輔熙」(~文久3年12月23日)
- 1863年3月13日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|文久3年1月24日|<死去>駿河小島藩1万石「松平信進」51歳⇒養子「松平信書」が継ぐ(⇒元治元(1864)年6月27日、19歳で死去)
- 1863年3月14日 06:00|アメリカ| ||アメリカ海軍シシッピ級外輪フリゲイト「シシッピ」(3220t)ポート・ハドソンにてアメリカ連合軍の陸上砲台の砲撃により沈没
- 1863年3月17日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年1月28日|千種家雑掌・賀川肇、安政の大獄の折、島田左近に協力したことから攘夷派志士に暗殺される
- 1863年3月19日-09:00|日本| ||文久3年2月|文久永寶(四文銭)鑄造
- 1863年3月19日-09:00|日本/イギリス| ||文久3年2月|幕府、帆船「千歳丸」イギリス商船「ウイクトリア」(「長崎丸一番」と改名)と交換
- 1863年3月19日-09:00|日本/イギリス| ||文久3年2月|イギリス輸送船「シアルリスフォル」(1846年製造)を幕府が購入し「長崎丸」と改称
- 1863年3月20日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文久3年2月2日|<死去>播磨林田藩1万石「建部政和」31歳⇒4月18日、長男「建部政世」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1863年3月22日-09:00|日本|東京都文京区|文久3年2月4日|清川八郎が講武所指南役・松平上総介に建議、閣老板周防守を説得、浪士組成/募集し小石川伝通院に240人の浪士が集まる
- 1863年3月23日 06:00|アメリカ| ||<就任>アメリカ海軍河用装甲艦「フォート」(1004t)
- 1863年3月23日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年2月5日|鳥取藩士岡田星之助、佐幕派のスパイと見なされ土佐藩士に殺害される
- 1863年3月24日-01:00|イタリア| ||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「マルコ・ミンゲッティ」(2回目~18640928)
- 1863年3月24日-09:00|日本|京都府京都市南区|文久3年2月6日|洛南唐橋村庄屋・宗助、土佐藩尊王攘夷派志士に暗殺される
- 1863年3月24日-09:00|日本|山口県萩市|文久3年2月6日|長州藩直目付・長井雅楽(開国派)、藩内に内乱が起きることを憂い自刃
- 1863年3月26日 00:00|イギリス| ||<死去>5代グレートブリテン公「ヘンリー・フィッツロイ」
- 1863年3月26日 00:00|イギリス| ||<就任>6代グレートブリテン公「ウィリアム・ヘンリー・フィッツロイ」(~18820521死去)
- 1863年3月26日-09:00|日本|岡山県岡山市|文久3年2月8日|<交替>備前岡山藩31万5千石「池田慶政」隠居⇒養子「池田茂政」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年3月15日、隠居)
- 1863年3月28日 00:00|ギリシア/ポルトガル| ||<就任>ギリシア総督「ホアキン・アルベルト・マルクス」(1回目~1868年)
- 1863年3月30日-02:00|ギリシア| ||<即位>ギリシア王国第2代国王「ゲオルギオス1世」(~19130318暗殺される)デンマークより
- 1863年3月30日-01:00|フランス| ||<死去>フランスの物理学者「ラウエ」/結晶構造の分類
- 1863年3月30日-01:00|デンマーク| ||デンマーク国王フレデリック7世が、シュレスウィヒをオーストリアから分離してデンマークに併合する勅書を発令
- 1863年3月30日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||<就任>サントメ・プリンシペ 総督「Joao Baptista Brunachy」(1回目~18640108)
- 1863年3月31日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年2月13日|国事参政・国事寄人設置
- 1863年3月31日-09:00|日本|富山県富山市|文久3年2月13日|<富山文久3年の大火「生地屋焼」>(~15日)中野町散地の生地屋庄五郎の家から出火、71か町に延焼/城下の家屋、社寺合わせて6803戸、土蔵19棟、納屋54棟が焼失、15戸の家屋が消火のためこわされた/城内では二の丸時鐘(時を知らせる鐘)台、大手の勘定所などの役所も焼失
- 1863年4月-02:00|キプロス/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督「メフメド・ハレット・パシャ」(~1864年10月)
- 1863年4月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| ||<就任>ダマスカス・ワリス「Mutercim Mehmed Rushdi Pasha」(~1865.9)
- 1863年4月-01:00|アルバニア/トルコ| ||<就任>エペソのワリス「アズメ・パシャ」(~1864年12月)
- 1863年4月-01:00|アルジェリア| ||アルジェリアで部族共有地の分割法を制定
- 1863年4月 03:00|ウルグアイ| ||プランコ党のアスタシオ・アギーレ、クーデターによりペドロ政権を打倒し、みずから大統領に就任
- 1863年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュリアーノ・ベルツィ」/「ミケーレ・フェッロリ」
- 1863年4月1日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦政府が徴兵法を施行
- 1863年4月2日 06:00|アメリカ| ||アメリカ海軍の最初の潜水艦「アリゲーター」ハッテラス岬で沈没
- 1863年4月2日 06:00|アメリカ| ||アメリカ南部連合のリッチモンドで食糧暴動発生
- 1863年4月2日-09:00|日本/アメリカ| ||文久3年2月15日|アメリカ輸送船「サントン」(1860年製造)を幕府が購入し「協隣丸」と改称
- 1863年4月3日-09:00|日本|東京都|文久3年2月16日|<死去>八代目片岡仁左衛門

1865迄 (2324件)

- 1863年4月5日-09:00|日本/イギリス| ||文久3年2月18日|イギリス輸送船「ライオン」(1859年製造)を幕府が購入し「太平丸」と改称
- 1863年4月5日-09:00|日本|神奈川県横浜市中区|文久3年2月18日|横浜ユナオ教会創建
- 1863年4月8日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ摂政評議会議長「テ・イオミテ・イス・アタソウ・キアコス」(~5.11)
- 1863年4月9日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「ヘド・ロ・ナスコ・デ・イエス・カンセコ・コルバチヨ」(1回目~8.5)
- 1863年4月9日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合国防艦「ジョージア」(1150t;1863.3,スコットランドのDumbartonにて船Japanを購入)
- 1863年4月10日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長(首相)「ファン・アントニオ リバ・イロ・エスタダ」(2回目~18640810)
- 1863年4月10日-09:00|日本|京都府京都市|安政4年2月|等持院の足利将軍木像三体、大庭恭平ら10数人により持ち去られる(翌日、足利木造三体の首、三条河原に両目をくりぬかれ晒される)
- 1863年4月11日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ホセ・マヌエル・ペレイラ・デ・アルメイダ」(~18640408)
- 1863年4月11日-09:00|日本|東京大学|文久3年2月24日|江戸の西洋医学所を医学所と改称
- 1863年4月15日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍パセイク級モニター「リハイ」(1335t, Reaney Son & Archboldで建造)フィリピン海軍工廠にて
- 1863年4月18日-09:00|日本| ||文久3年3月|<刊行>矢野玄道「玉鉾物語」(神道主義にもとづく教化啓蒙書)
- 1863年4月18日-09:00|日本|明治学院大学|文久3年3月|ヘボン塾開設(横浜居留地)
- 1863年4月23日-09:00|日本|広島県広島市|文久3年3月6日|<購入>英国汽船⇒広島藩「震天丸」と命名
- 1863年4月24日 06:00|アメリカ| |||リカン大統領がリバー法を公布
- 1863年4月29日 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>アジニ(ジヨイング・イル砦)民間司令官「F.L.グイール」(~1864年頃)
- 1863年4月29日 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>グランバッサム(ヌール砦)民間司令官「ジャン・アントワーヌ・レオナルド・ユートル」⇒「ジャック・ペルトラン・オスカル・デュイ」(~1864年)
- 1863年4月29日-09:00|日本|東京都|文久3年3月12日|江戸幕府に初めて騎兵奉行を設け、山口駿河守直毅を奉行に任ず
- 1863年4月30日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年3月13日|幕府が上京中の浪士組清河八郎らに帰国を命じる/芹沢鴨、近藤勇ら18名は清川八郎と袂を分かち壬生に留まり京都守護職に属して治安組織「壬生浪士組」を旗揚げ
- 1863年5月 05:00|ハイチ| |||国民党支配に反対する自由党(ムラト)のシルバン・バルナブ将軍、最初の反乱
- 1863年5月 07:00|メキシコ| |||プロイラの抵抗もやぶれる/モンフォール前大統領、プロイラの戦いで戦死/ファレス、プロイラ陥落を受け首都を避難
- 1863年5月1日-02:00|リトアニア/ロシア| |||<就任>リトアニア及び北西部の地方総督「ミハイル・ニコラエヴィチ・ムラヴィヨフ」(~18650417)
- 1863年5月3日-09:00|日本|東京都文京区|文久3年3月16日|江戸火災で湯島天神全焼
- 1863年5月5日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年3月18日|妙法寺寺役・正淳及び東清寺寺役・光淳暗殺/犯人は天誅組とも土佐藩尊王攘夷派志士とも伝わる
- 1863年5月6日 06:00|アメリカ| |||(4月30日~)南北戦争:チャセラス・グイルの戦い/バージニア州スポットシルバニアコートハウスの村落近くで行われた戦闘で北軍ジョセフ・フッカー少将のボトマック軍が、勢力では半分の南軍ロバート・E・リー将軍の北バージニア軍と会戦を行い北軍にとって深刻な敗北となった
- 1863年5月6日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年3月19日|幕府の反対を押切って京都に親兵隊(御守護隊)を設置
- 1863年5月8日 05:00|コロンビア| |||リベロで自由党による政府協議会/国名ヌィバゲラタ合衆国をコロンビア合衆国と改称
- 1863年5月8日 06:00|コスタリカ| |||<就任>コスタリカ共和国大統領「ハス・マリア・シリアコ・ヒメネス・ガモラ」(1回目~18660508)
- 1863年5月11日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ摂政評議会議長「ベニゼロス・アタソウ・ロウフォス」(1回目~7.1)
- 1863年5月11日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年3月24日|新撰組殿内義雄、主導権をめぐって芹沢鴨、近藤勇らと対立し同僚に殺される
- 1863年5月12日-03:00|マダガスカル| |||<死去>マダガスカル王「ラダマ2世」殺害される(33歳)
- 1863年5月12日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サラムント級スloop「タイコンデロガ」(2526t,ブルックリン海軍工廠)
- 1863年5月12日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:レイモンドの戦い>ミシシッピ州レイモンドで戦い、北軍の勝利
- 1863年5月12日-09:00|日本| ||文久3年3月25日|「日本交易新聞」創刊、翻訳者に柳河春三・箕作麟祥
- 1863年5月12日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年3月25日|壬生浪士組の殿内義雄、四条大橋で近藤らに暗殺される
- 1863年5月13日-03:00|マダガスカル| |||<即位>マダガスカル女王「ラサリナ」(~18680401没)
- 1863年5月13日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督代行「ジャン・エミール・ピネラウラト」(1回目~7.14)
- 1863年5月13日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍補給艦「バミュダ」(1238t;18620427, Grand Abaco Islandにてアメリカ合衆国海軍艦艇に拿捕⇒18621014, フィラデルフィアにて購入し、フィラデルフィア海軍工廠で補給艦に改装)
- 1863年5月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>フェルディナント・バイル、作曲家・ピアニスト(生年1803年)
- 1863年5月14日 05:00|コロンビア/パナマ/ブラジル/ペルー| |||<就任>コロンビア合衆国大統領「トマス・シフリアーノ・イグナシオ・マリア・デ・モスケラ・フィゲロア・イ・アルボレタ・サラザール」(3回目,18640401から代行~18640410)
- 1863年5月14日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年3月27日|岡っ引・丸屋半七(大橋順蔵捕縛に関連し狙われた)の兄、文助が尊王攘夷派と見られる6名に暗殺され、同時に半七の妻・とみも重傷
- 1863年5月15日-01:00|フランス| |||メネが「落選展」で名作「草の上の昼食」を発表

1865迄 (2324件)

- 1863年5月15日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「ジョン・サント・フィールド・マクドナルド」(2回目/カナダ西部)「アントワーヌ・ラヴ・ド・リオン」(2回目/カナダ東部) (~18640530)
- 1863年5月16日 06:00|アメリカ| |||チャンピオンズ・ヒルの戦い/北軍の指揮官ユリシーズ・グラント少将のネシー軍が、撤退しつつあった南軍ジョン・C・ペンバートン中将の部隊を追撃し、ビックスバーグの東20マイル(32km)地点で打ち破る
- 1863年5月17日 06:00|アメリカ| |||ビッグ・ブラック川の戦い/南軍ジョン・C・ペンバートン中将の部隊はビッグブラック川まで撤退しそこで戦って大きな損失を受けた
- 1863年5月18日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:ビックスバーグの包囲戦>ビックスバーグで最後の大きな戦闘、北軍の勝利
- 1863年5月18日-09:00|日本|埼玉県行田市|文久3年4月1日|<交替>武蔵忍藩10万石「松平忠国」隠居⇒養子「松平忠誠」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月5日、死去)
- 1863年5月19日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルが、貴族限嗣相続制を廃止する政令が発せられる
- 1863年5月20日-09:00|日本| |||文久3年4月3日|対馬藩家老補佐役大浦教之助子息・申禄及び沢子亨、藩主継嗣問題や思想対立を動機とし勝井五八郎が首謀し八坂順之助らが暗殺
- 1863年5月22日 04:30|ベネチア| |||自由党、強硬策を取るパニスに対し反乱。ふたたび連邦戦争が始まる
- 1863年5月23日-01:00|ドイツ| |||ライプニッツでラサールが全ドイツ労働者協会を結成
- 1863年5月23日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年4月6日|新撰組「阿比留栄三郎」暗殺される
- 1863年5月24日-09:00|日本|東京都港区|文久3年4月7日|米公使館(麻布善福寺)焼失-米公使フレイン、横浜に移転
- 1863年5月26日-09:00|日本|東京都墨田区|文久3年4月9日|勤皇の志士を騙って強請りを働いていた神戸六郎及び岡田周造、新撰組隊士により暗殺され両国広小路にて梟される
- 1863年5月27日-09:00|日本|埼玉県深谷市|文久3年4月10日|<死去>武蔵岡部藩20250石「安部信宝」⇒9月11日、養子「安部信発」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年4月14日、三河半原藩へ藩庁移転)
- 1863年5月30日-08:00|マレーシア| |||<死去>バンダハラ・セリ・マハラジャ「トゥン・ムハンマド・タヒル・ビン・トゥン・アリ」
- 1863年5月30日-08:00|マレーシア| |||<即位>バンダハラ・セリ・マハラジャ「ムタ・コリス・ビン・トゥン・ムハンマド・タヒル」(~6.3没)
- 1863年5月30日-09:00|日本|滋賀県彦根市|文久3年4月13日|彦根藩家老・木俣清左衛門の家来・大塚六郎と大塚新蔵、長野主膳の門人につき捕えられ斬首される
- 1863年5月30日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文久3年4月13日|重須本門寺本堂再建
- 1863年5月30日-09:00|日本|東京都港区|文久3年4月13日|浪士組・清河八郎(34歳)が、麻布上山藩邸内の金子与三郎を訪ねた帰途、麻布一橋のほとりで幕府の刺客の佐々木只三郎らに殺害される
- 1863年5月30日-09:00|日本|栃木県日光市|文久3年4月13日|日光学問所が開講
- 1863年5月31日-01:00|フランス| |||フランス「立法院」(議会)の選挙で、野党「共和派」が17議席を獲得
- 1863年6月-09:30|オーストリア| |||アデレイトにガス灯がつく
- 1863年6月-02:00|南アフリカ| |||<就任>オレンジ自由国政府書記「ヤン・クリスティアン・ニール・マレ」(~18680527)
- 1863年6月-02:00|ザンビア| |||<就任>モロロ酋長(モレナ)「マンベリ」(~同年)⇒「ムホロ」(~1864年没)
- 1863年6月 00:00|セネガル| |||<就任>フタ・ト・ロ統治者統治者(アルマ・ミ)「ママト・カ・ビラン・ワン」(11回目~1864年10月)
- 1863年6月 00:00|イギリス/フランス| |||フランス、イギリスと断交
- 1863年6月 07:00|メキシコ/フランス| |||フランス軍、保守派によるメキシコ臨時政府を樹立
- 1863年6月2日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「ケチンサード・メフメド・ファトマ・パシヤ」(2期目~18660605)
- 1863年6月2日-09:00|日本|山口県下関市|文久3年4月16日|久坂玄瑞、長州へ帰国-下関で光明寺党結成(党首侍従中山忠光)
- 1863年6月2日-09:00|日本|山口県山口市|文久3年4月16日|<藩庁移転>長州藩369000石「毛利敬親」⇒山口藩(⇒明治2(1869)年6月4日、隠居)
- 1863年6月3日-08:00|マレーシア| |||<死去>バンダハラ・セリ・マハラジャ「ムタ・コリス・ビン・トゥン・ムハンマド・タヒル」
- 1863年6月3日-09:00|日本|東京都|文久3年4月17日|江戸に戻った浪士組、新撰組と名を変えて江戸市中の取り締まりを命じられる
- 1863年6月7日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリアの作曲家「グラーバー」75歳(誕生17871125)/「聖しこの夜」を作曲した
- 1863年6月7日-01:00|ドイツ| |||フランクフルト・アム・マインに全ドイツ労働協会連合が成立
- 1863年6月7日 07:00|メキシコ/フランス| |||フランス、メキシコのメキシコシティを陥落させる/オーストリア皇帝の弟マクシミリアンを傀儡皇帝に据えて「ラテン帝国(メキシコ帝国)」を設立
- 1863年6月7日-09:00|日本|大阪府大阪市|文久3年4月21日|<死去>三代目嵐璃寛
- 1863年6月8日-09:00|日本|山口県山口市|文久3年4月22日|常栄寺住職祖溟西堂が長井雅楽の同志と目され常栄寺門前にて長州藩士・宮城彦助らに暗殺される
- 1863年6月9日-04:30|アフガニスタン| |||<死去>アフガニスタン(カーブル)エミール「ト・スト・ムハンマド・ハーン」
- 1863年6月9日-04:30|アフガニスタン| |||<就任>アフガニスタン対立首長(ヘラート)「シル・アリ・カーン」(~18680908)
- 1863年6月9日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ブランティ・ステーションの戦い/北軍アルフレッド・ブレントン少将の騎兵隊と南軍J・E・B・スチュアート少将の騎兵隊との間のまる1日続く戦闘で何度も攻守と場所を変え、最後に北軍が撤退
- 1863年6月10日-08:00|マレーシア| |||<即位>バンダハラ・セリ・マハラジャ「トゥン・アハマト・ビン・トゥン・アリ」(~18820806)
- 1863年6月10日-09:00|日本|大阪府大阪市|文久3年4月24日|浪士残留組、大坂常安橋会所で出奔した家里次郎を切腹させる
- 1863年6月11日 00:00|カナダ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナダ諸島市民知事「Jose Frances de Alaiza」(~18640118)
- 1863年6月12日-04:30|アフガニスタン| |||<即位>アフガニスタン(カーブル)エミール「シル・アリ・カーン」(1回目~18660525退位)
- 1863年6月13日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年4月27日|<就任>老中「太田資始」(~文久3年5月14日)

1865迄 (2324件)

- 1863年6月15日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:第二次ウインチェスターの戦い(6月13日~)/バージニア州フレデリック郡およびウインチェスターで起こった戦闘で南軍リチャード・イーウェル中將がペンシルバニア州に向かってシェナンドー渓谷を下る途中で、北軍ハート・H・ミロイ少將が指揮する守備隊を破り、ウインチェスター市を占領し、4,000名の北軍兵を捕獲した
- 1863年6月17日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国大統領代理「Antonio Leocadio Guzman Blanco」(1期目~18630724) PL
- 1863年6月17日 04:30|ベネチア| |||内戦は連邦派の勝利に終わる/ハエは政治生命を断たれ米国に亡命
- 1863年6月17日-09:00|日本| |||文久3年5月2日|杉田玄端訳「健全学」全6巻
- 1863年6月20日-02:00|南アフリカ| |||<就任>オレンジ自由国国家大統領代行「ヤコブス・ヨハネス・ヴェンター」(2回目~18640202)
- 1863年6月20日 06:00|アメリカ| |||<加盟>リッチモンドの州に反対する議会によってハイリックのバージニア政府の同意と共に、バージニア州から分割⇒アメリカ合衆国ウェストバージニア州(35番目)
- 1863年6月20日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サラムント級スループ「シェナンドー」(2030t, フィラデルフィア海軍工廠)
- 1863年6月23日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年5月8日|久留米の勤王商人・深野孫兵衛, 真木和泉を再投獄からの救出運動中に反対派により暗殺される
- 1863年6月25日-09:00|日本/アメリカ|福井県福井市|文久3年5月10日|福井藩、米国より木造蒸気船黒龍丸購入
- 1863年6月26日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文久3年5月11日|孝明天皇の勅命による「照国大明神」の神号授与を受けて祠を造営. 照国神社創建(島津斉彬を祀る)
- 1863年6月26日-07:00|日本/アメリカ|山口県下関市|文久3年5月11日|<下関戦争>午前2時頃、長州藩、攘夷期限が来たとして、軍艦「庚申丸」「癸亥丸」で馬関田/浦に停泊中のアメリカ商船「ムローク」を砲撃/ムローク号は周防灘へ逃走
- 1863年6月27日-09:30|オーストラリア| |||<就任>ビクトリア植民地政府首相「ジェームズ・マカック」(~18680506)
- 1863年6月27日-09:00|日本/イギリス|神奈川県横浜市|文久3年5月12日|長州藩士の井上聞多・野村彌吉・伊藤俊輔・山尾庸三・遠藤謹助の5人が、留学のため横浜を出発(9. 23ロンドン着)
- 1863年6月27日-09:00|日本|滋賀県長浜市|文久3年5月12日|<死去>近江宮川藩13000石「堀田正誠」40歳⇒婿養子「堀田正養」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1863年6月28日-09:00|日本| |||文久3年5月13日|<創刊>「ポルトガル人タローザ」, 週間英字紙「ジヤパン・コマニヤル・ニュース」
- 1863年6月29日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年5月14日|<解任>老中「太田資始」
- 1863年7月-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>「ムハンマド・サヤイド・ハーン」(ムハンマド・サヤイド・ハーン「Muhammad Sultan Sayyid Khan」(1期目~1865. 7死去)、摂政「Alim Qul」(~1865. 5死去)
- 1863年7月-01:00|北マドニア/トルコ| |||<就任>「ウスケブ・ワリス(総督) 兼マステイル・ワリス(総督)」(マフムト・ファイズ・ハシヤ) (~1864年1月)
- 1863年7月1日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ国民議会議長「テオドシオス・アタナシウ・キリアス」(~3日)
- 1863年7月1日-01:00|オランダ/スリナム| |||オランダのウイリアム3世王によりスリナムに於ける奴隷制度が廃止
- 1863年7月1日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国の発明家、ロモン・アントニウスが無動力であるが、気囊の傾きを変えてヨットのよう操縦する気球(飛行船)を初飛行
- 1863年7月2日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ユート」(1173t, John J. Abrahams)
- 1863年7月3日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ臨時政府議長「ニコシオス・アタナシウ・ロウフィス」(2回目~10. 30)
- 1863年7月3日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ゲティスバーグの戦い(7月1日~)南北戦争史上最大の激戦。この戦いが転換点となり、合衆国軍が優勢になった/3日合わせての死傷者(及び行方不明者・捕虜)は両軍合わせて50,000人近くにもなった。被った損害は両軍とも同程度だったものの、人的資源に劣る南軍にとっては「死傷者2万3千」は非常に大きい損失であった。それに対して徴兵可能人口で南部に大きく勝る北軍は、比較的すぐに人員を補充することができた
- 1863年7月3日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年5月18日|儒学者・家里新太郎(壬生浪士組・家里次郎の兄)が幕府側に情報提供を行っていたことにより尊王攘夷派に暗殺される
- 1863年7月4日-09:30|オーストラリア| |||<就任>南オーストラリア植民地政府首相「フランス・ダットン」(~15日)
- 1863年7月4日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ビックスバーグの包囲戦(5月18日~)北軍の指揮官ユリシーズ・グラント少将のテネシ軍はミシシッピ川を渡った後で、南軍ジョン・C・ペンハートン中將の部隊を要塞都市ビックスバーグを取り巻く防御線の中に追い込んだ。グラントは5月19日と22日の2回、南軍の要塞に対する攻撃を行って大きな損失を出し撃退された後は、5月25日から7月4日までビックスバーグ市を包囲した結果南軍は降伏し、ミシシッピ川の支配権が北軍の手に落ちた
- 1863年7月5日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年5月20日|<猿ヶ辻の変>姉小路公知(25歳)、御所猿が辻で何者かに襲撃され、抵抗するも殺害される
- 1863年7月5日-09:00|日本|千葉県香取市|文久3年5月20日|<死去>下総小見川藩1万石「内田正徳」⇒弟「内田正綱」が継ぐ(⇒元治元(1864)年6月25日、死去)
- 1863年7月6日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領代行「ペドロ・ゴイティア・メンデス」(~8. 12)
- 1863年7月6日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年5月21日|徳大寺家家人・滋賀右馬大允を尊王攘夷派が暗殺
- 1863年7月6日-01:00|フランス| |||パリに、預金銀行「クレディ・リヨネ」設立
- 1863年7月7日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、南北戦争のゲティスバーグの戦いで、北軍がロバート・リー將軍の南部連合軍を破る
- 1863年7月8日 00:00|イギリス| |||<死去>11代ハミルトン公・8代ブランドン公「ウィリアム・ハミルトン」
- 1863年7月8日 00:00|イギリス| |||<就任>12代ハミルトン公・9代ブランドン公「ウィリアム・アレクザンダー・ルイス・スティーヴン・ダグラス=ハミルトン」先代の息子(⇒18640420兼シャルテロ公⇒18860502兼エコー・ク伯~18950516死去)
- 1863年7月8日-09:00|日本/フランス|山口県下関市|文久3年5月23日|<下関戦争>長州藩はフランスの通報艦「キャンシャ」号が海峡内に入ったところで各砲台から砲撃を加え、数発が命中して損傷を与えた/キャンシャ号は交渉のために書記官を乗せたボートを下ろして陸へ向かわせたが、藩兵は銃撃を加え、書記官は負傷し、水兵4人が死亡/キャンシャ号は急ぎ海峡を通りぬけ、損傷しつつも翌日長崎に到着

1865迄 (2324件)

- 1863年7月9日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ポートハドンの包囲戦(5月21日~)/ルイジアナ州のミシシッピ川の町ポートハドンを北軍が襲い南軍の要塞に対して5月27日の正面攻撃に失敗した後で、包囲戦を布き、6月14日にも再度攻撃したが守備隊に撃退されたがピックスバーグ陥落の報に接した南軍守備隊はポートハドンの降伏を飲み、ミシシッピ川はそのニューオーリンズの河口から北軍の航行が全て可能になった
- 1863年7月9日-09:00|日本|高知県高知市|文久3年5月24日|山内容堂、土佐藩校致道館に郷士以下を集め勤皇党の解散を命じる
- 1863年7月10日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年5月25日|松平容保、配下の会津兵に命じ姉小路公知暗殺の容疑者田中新兵衛と似礼源之丞を捕縛させる
- 1863年7月11日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年5月26日|猿ヶ辻の変容疑で西町奉行所で取り調べを受けていた薩摩藩士田中新兵衛、取り調べ最中に自殺
- 1863年7月11日-09:00|日本/オランダ|山口県下関市|文久3年5月26日|<下関戦争>オランダ外交代表ポルックを乗せたオランダ東洋艦隊所属のメユサ号が長崎から横浜へ向かうべく海峡に入った/長州藩の砲台は攻撃を開始し、癸亥丸が接近して砲戦となった/メユサ号は1時間ほど交戦したが17発を被弾し死者4名、船体に大きな被害を受け周防灘へ逃走
- 1863年7月13日-01:00|フランス/ギリシャ/イギリス/ロシア| |||ロンドン会議で英仏露がギリシャの新国王を承認
- 1863年7月13日 06:00|アメリカ| |||北部諸州の中で奴隷制に対し中立的立場をとるニューヨークで、徴兵に反対する市民の暴動、4日間にわたる。死者千200人以上。暴動の中で、暴徒による黒人の大量虐殺
- 1863年7月14日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「ルイ・レオン・セザール・フェイテラ」(2度目~18650501)
- 1863年7月14日 14:00|日本|山口県下関市|文久3年5月29日|夜半、長州藩砲術指南・中島名左衛門、赤間関新地の宿舎藤屋旅館で暗殺される
- 1863年7月15日-09:30|オーストラリア| |||<就任>南オーストラリア植民地政府首相「ハリー・エアズ」(~18640804)
- 1863年7月15日-09:00|日本|茨城県つくば市|文久3年5月30日|藤田小四郎、田丸稻之衛門等、大平山を去り再び筑波山に抛り義旗を翻す
- 1863年7月16日-09:00|日本|長崎県西海市|文久3年6月|幕府輸送船「協隣丸」長崎近海松島で破船
- 1863年7月16日-09:00|日本/アメリカ|山口県下関市|文久3年6月1日|<下関戦争>ワイミング号は下関海峡に入り下関港内に停泊する長州藩の軍艦の庚申丸、壬戌丸、癸亥丸を発見し、壬戌丸に狙いを定めて砲撃を加え撃沈/庚申丸、癸亥丸が救援に向かうが、ワイミング号はこれを振り返りにし庚申丸を撃沈し、癸亥丸を大破させた/ワイミング号は報復の戦果をあげたとして海峡を瀬戸内海へ出て横浜へ帰還/この戦闘でのアメリカ側の死者は6人、負傷者4人、長州藩は死者8人・負傷者7人であった
- 1863年7月18日-09:00|日本|大阪府大阪市|文久3年6月3日|壬生浪士組が大坂相撲の力士と乱闘/力士を殺傷し壬生浪士組にも負傷者が出る
- 1863年7月18日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年6月3日|江戸で大火、江戸城本丸・西丸を焼失(文久の大火)
- 1863年7月20日-09:00|日本| |||文久3年6月5日|翻訳新聞「日本新聞」創刊、翻訳柳河春三・内田弥太郎
- 1863年7月20日-09:00|日本/フランス|山口県下関市|文久3年6月5日|<下関戦争>フランス東洋艦隊のハンツマン・ジョレス准将率いるセリス号とタクレド号が報復攻撃のため海峡に入りセリス号は砲35門の大型艦で前田、壇ノ浦の砲台に猛砲撃を加えて沈黙させ、陸戦隊を降ろして砲台を占拠した/長州藩兵は抵抗するが敵わず、フランス兵は民家を焼き払い、砲を破壊した/長州藩は救援の部隊を送るが軍艦からの砲撃に阻まれ、その間に陸戦隊は撤収し、フランス艦隊も横浜へ帰還
- 1863年7月22日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久3年6月7日|翻訳紙「横浜新聞紙」発行
- 1863年7月22日-09:00|日本|山口県下関市|文久3年6月7日|長州藩の高杉晋作らが正規兵以外の者で編成した奇兵隊を結成
- 1863年7月23日-09:00|日本|高知県高知市|文久3年6月8日|土佐藩、土佐勤皇党の上士平井収二郎・弘瀬健太・間崎哲馬に切腹を命じる
- 1863年7月24日 04:30|ベネチア| |||<就任>ベネチア共和国暫定大統領「セ・クリストモ・ファルコン」(2期目~18650318)PC
- 1863年7月24日-09:00|日本|兵庫県小野市|文久3年6月9日|<交替>播磨小野藩1万石「一柳末彦」隠居⇒養子「一柳末徳」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1863年7月25日-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<死去>ロス植民地総督代理「ウィリアム・ライス Mulliner」
- 1863年7月25日 00:00|イギリス| |||<死去>5代モントン伯ウィリアム・リチャード・アーサー・ポール＝ティルニー＝ロング＝ウェルズリー
- 1863年7月25日 00:00|イギリス| |||<就任>6代モントン伯「アーサー・リチャード・ウェルズリー」2代ウェリントン公(~18840813死去)
- 1863年7月25日-09:00|日本|東京都|文久3年6月10日|<死去>緒方洪庵(53歳)江戸で病没(誕生:文化7(1810)0714)適塾の創設者で福澤諭吉らの師
- 1863年7月26日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>モガンの襲撃北軍がオハイオ州まで侵入した南軍モガン隊を破る
- 1863年7月26日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年6月11日|<就任>京都所司代「稲葉正邦」(⇒1864(元治1年4月11日))
- 1863年7月26日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年6月11日|<解任>老中格「小笠原長行」
- 1863年7月27日-09:00|日本|山口県|文久3年6月12日|長府藩医興膳昌蔵、夷人に内応するとの疑惑を受け阿川毛利家臣の田村内蔵之助によって暗殺される
- 1863年7月28日-09:00|日本|長野県小諸市|文久3年6月13日|<死去>信濃小諸藩15000石「牧野康哉」⇒長男「牧野康濟」が継ぐ(⇒明治2(1869)年12月7日、版籍奉還)
- 1863年7月31日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「マーク・Kerr Atherley」(~8.29)
- 1863年8月-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<就任>ロス植民地総督代理「ジョン・Hawley Glover」(⇒18650421総督~18660324)

1865迄 (2324件)

- 1863年8月1日-02:00|モルトバ/ロシア| |||<就任>ロシア領ベッサラビア州総督「フ・ラトン・アレクサンドロウ・イチ・アントノウ・イチ」(~18671130)
- 1863年8月1日-09:00|日本|広島県広島市|文久3年6月17日|豊後杵築藩脱藩浪士・小串邦太、広島で暗殺される
- 1863年8月2日 05:00|ペル| |||北部沿岸のヘケヘケ平野の精糖農場で、バス人移民労働者とペル人農場主が紛争/農場主たちがバス人を襲撃
- 1863年8月2日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年6月18日|<就任>老中「酒井忠績」(~元治1年6月18日)
- 1863年8月2日-09:00|日本|福岡県北九州市|文久3年6月18日|長州藩、小倉藩に進兵
- 1863年8月5日 05:00|ペル| |||<就任>ペル共和国大統領代行「ファン・アントニオ・ヘセッ・イ・ド・リケ・ス・デ・ラ・ピエドラ」(~18651108)
- 1863年8月6日-05:30|インド| |||<就任>コック・ビ・ハル国ラジャ「ヌヘンドラ・ナヤン」(~18841016)
- 1863年8月8日-09:00|日本|福岡県北九州市|文久3年6月24日|長州藩兵、小倉藩田ノ浦を占領し、砲台を築いて、外国船攻撃を準備
- 1863年8月8日-09:00|日本|山口県|文久3年6月24日|長州で外国船水先案内をしていた重兵衛が何者かに殺害される
- 1863年8月9日-09:00|日本|京都府京都市下京区|文久3年6月25日|剣客「仏生寺弥助」「猪野田玄助」が京都で長州藩尊王攘夷派に暗殺される
- 1863年8月10日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文久3年6月26日|徳島藩儒者安芸田面、公武合体論をとる京都市二条新地で暗殺される
- 1863年8月10日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年6月26日|尊攘派志士「植村長兵衛」浪士組を装い金策したため芹沢鴨、新見錦、野口健司に斬殺され首を千本通三条上川に晒される
- 1863年8月11日-01:00|フランス/カンボジア| |||フランス、カンボジアを「保護国化」/カンボジア国王とコチン支配補強の「保護条約」を締結
- 1863年8月11日-09:00|日本|福島県いわき市|文久3年6月27日|<死去>陸奥湯長谷藩15000石「内藤政敏」⇒養子「内藤政養」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、強制隠居し14000石に減封)
- 1863年8月12日-02:00|ロシア/ロシア| |||<就任>ロシア行政局長代行(反乱)「Wインツェグ・コンスタンティン・カリンフスキ」(~18640210)
- 1863年8月13日-01:00|フランス| |||<死去>フランス「ロマン主義」絵画の画家ウヰェヌド・ラクロー、アハルトマン(6区「フルステンベルグ」通り6番地)で(1798-、65歳)/主な作品に「キオ島の虐殺」・「民衆を導く自由の女神」(1区「ルーヴル美術館」)など
- 1863年8月13日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領「ピルグ・リム・サンタロマ」(~18641016)
- 1863年8月14日-09:00|日本|石川県金沢市|文久3年7月|加賀藩13代藩主・前田斉泰が母・真龍院のために成巽閣完成(兼六園/石川県)
- 1863年8月14日-09:00|日本|東京都墨田区|文久3年7月|<大相撲>文久3年7月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(東関脇)鬼面山,7勝0敗1分1預1休
- 1863年8月14日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久3年7月|片淵郷組屋敷内乃武館の長崎英語所(英語稽古所)が立山奉行所の東長屋に移る
- 1863年8月15日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年7月2日|浪人石塚岩雄、壬生浪士と称して金を強談した罪により土方歳三、山南敬助が殺害し天神橋欄干に首を晒す
- 1863年8月15日-05:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>夜明け前、「ハール」、「アガス」、「レスホス」、「コケット」、「ハブック」の英国艦隊5隻は、薩摩の蒸気船の天佑丸、白鳳丸、青鷹丸を重富の脇元浦において、これら3隻の舷側に接舷するとイギリス艦より50、60人の兵が乱入/薩摩蒸気船の乗組員が抵抗すると、銃剣で殺傷するなどして3隻の乗組員を強制的に陸上へ排除して船を奪取
- 1863年8月15日 01:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>午前10時、捕獲された3隻は、「コケット」、「アガス」、「レスホス」の各艦の舷側に1隻毎に結わえられて牽引され、桜島の小池沖まで曳航された
- 1863年8月15日 03:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>正午、湾内各所に設置した砲台の中で薩摩本営に最も近い天保山砲台へ追討令の急使として大久保一蔵が差し向けられ、到着する間もなく旗艦ユライアスに向けて砲撃開始/対岸の桜島側の袴腰砲台(桜島横山)は城下側での発砲を知ると、眼下のイギリス艦「パーシウス」に対して砲撃開始/「パーシウス」の艦長は、砲台からの命中弾に慌てふためき錨の切断を下令すると艦はその場より逃走/イギリス側の乗組員は天佑丸、白鳳丸、青鷹丸から貴重品を略奪すると、砲撃を行った上でこれらの蒸気船3隻に放火し「ハブック」が焼却・沈没を見届けた/その後イギリス艦隊は戦列を整え、旗艦ユライアスを先頭に単縦陣で、第8台場(祇園之洲砲台)、第7台場(新波戸砲台)、第5台場(辨天波戸砲台)に向けて両舷側の自在砲(110ポンド・阿姆斯ロング砲)を用いて発砲、薩摩側の大砲8門を破壊
- 1863年8月15日 06:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>午後3時前、辨天波戸砲台の29 拇臼砲(ホーン砲)の弾丸1発が旗艦ユライアスの甲板に落下、軍議室(艦橋)で破裂・爆発、居合わせた艦長・司令や次官司令などの士官が戦死
- 1863年8月15日 06:10|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>午後3時10分、祇園之洲砲台に接近して砲撃中の「レスホス」は、折からの強い波浪や機関故障により吹き流され、砲台手前の200ヤードで座礁・擱坐すると大きく傾き、大砲の発砲が出来なくなり小銃で砲台への攻撃を行った
- 1863年8月15日 07:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>午後4時頃、イギリス艦隊の3隻(コケット、アガス、ハブック)は僚艦「レスホス」の救出・援護のために祇園之洲砲台に砲撃を加えながら僚艦の離礁を試みた/新波戸砲台がイギリス艦隊に盛んに砲撃を加え、「アガス」に3発の命中弾を浴びせたが、「レスホス」は他の僚艦により曳航され、5時半頃には救出され離礁
- 1863年8月15日 10:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>午後7時頃、砲撃戦に不参戦の「

1865迄 (2324件)

- 「ハッック」は単独で砲台の無い磯に移動し、停泊中の琉球船3隻と日向国那珂郡の赤江船2隻を襲い焼却/その後、僚艦「ハッシュ」も加わり、砲撃やロケット弾(火箭)用いて盛んに近代工場群を備えた藩営集成館の一角を攻撃してことごとく破壊
- 1863年8月15日 11:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月2日|<薩英戦争>午後8時頃、上町方面の城下では先の「ハッシュ」のロケット弾などによる艦砲射撃で火災が迫り、民家(350余戸)、侍屋敷(160余戸)、寺社(浄光明寺、不断光院、興国寺、般若院)などの多くが焼失
- 1863年8月16日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||オーストリア皇帝がフランクフルトでドイツ諸侯会議を開催
- 1863年8月16日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||ドミニカ共和国復興戦争(~18650303)
- 1863年8月16日-09:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月3日|<薩英戦争>艦隊は戦列を立て直し、市街地と両岸の台場を砲撃して市街地を延焼させた/砲撃により第11台場(赤水台場)および突出台場(天保山砲台)の火薬庫が爆発
- 1863年8月17日-09:00|日本/イギリス|鹿児島県鹿児島市|文久3年7月4日|<薩英戦争>艦隊は弾薬や石炭燃料の消費や多数の死傷者を出し、薩摩を撤退/薩摩側の砲台によるイギリス艦隊の損害は、大破1隻・中破2隻の他、死傷者は63人(旗艦ユリアスの艦長や次官司令の戦死を含む死者13人、負傷者50人内7人死亡)/一方、薩摩側の人的損害は祇園之洲砲台では税所清太郎(篤風)のみが戦死し、同砲台の諸砲台総物主(部隊長)の川上龍衛や他に守備兵6名が負傷、他の砲台では沖小島砲台で2名の砲手などが負傷、市街地では7月2日に流れ弾に当たった守衛兵が3人死亡、5人が負傷、7月3日も流れ弾に当たった守衛兵1名が死亡/物的損害は台場の砲台8門、火薬庫の他に、鹿児島城内の櫓、門等損壊、集成館、鑄銭局、寺社、民家350余戸、藩士屋敷160余戸、藩汽船3隻、琉球船3隻、赤江船2隻が焼失と軍事的な施設以外への被害は甚大であり、艦砲射撃による火災の焼失規模は城下市街地の「10分の1」になる
- 1863年8月17日-09:00|日本|京都府京都市東山区|文久3年7月4日|土佐藩尊王攘夷派の豊永伊佐馬、京都四条縄手で暗殺される
- 1863年8月18日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪戦艦「フォート・ジャクソン」(1850t;18630720, C. W. Vanderbilt)の汽船Unionを海軍が購入し、大型外輪戦艦に改装)
- 1863年8月18日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年7月5日|<就任>老中「有馬道純」(~元治1年4月12日)
- 1863年8月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト=ベルンブルク公「Alexander Karl」アンハルトに統合
- 1863年8月24日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年7月11日|華頂家を不正により解雇されていた元役人・森田道意(幕府側の密偵)を尊攘派が暗殺
- 1863年8月27日-09:00|日本|茨城県水戸市|文久3年7月14日|<死去>水戸学藤田派の学者・思想家、会沢正志斎(82歳)病没
- 1863年8月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツの化学者アイルハルト・ミッヒルリッヒ(17940117~)「ヘンゼン」の命名者
- 1863年8月29日-09:00|日本|岐阜県郡上市|文久3年7月16日|<死去>美濃郡上藩48000石「青山幸哉」⇒長男「青山幸直」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1863年8月30日-01:00|ドイツ| |||<統合再編>ドイツ連邦:アンハルト=デッサウ公国、アンハルト=ベルンブルク公国、アンハルト=ケーテン公国⇒アンハルト公国
- 1863年9月 03:00|ウルグアイ| |||フランス元大統領、ミレの支援を受け反フランスの蜂起
- 1863年9月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合国砲郭装甲艦「チャールストン」(1050t)
- 1863年9月1日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年7月19日|徳大寺家用人・滋賀右馬大允夫妻、尊王攘夷派に殺害される
- 1863年9月2日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年7月19日|九条家諸大夫「島田左近」薩摩尊攘派志士に暗殺される
- 1863年9月5日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Thomas O' Ryan y Vazquez」(~1864年)
- 1863年9月5日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年7月23日|天誅組、仏光寺高倉油商・八幡卯兵衛を殺害し三条制札場に晒す
- 1863年9月5日-09:00|日本|山口県下関市|文久3年7月23日|長州藩兵、下関港に来航した幕艦「朝陽丸」を砲撃
- 1863年9月7日 06:00|ロシア| |||<就任>ロシア共和国大統領代行「セルゲイ・ゲイ」(1回目~12.31)
- 1863年9月7日-09:00|日本|福岡県北九州市門司区|文久3年7月25日|長州藩田浦砲台の小倉藩兵を排除
- 1863年9月8日-09:00|日本|京都府京都市北区|文久3年7月26日|徳大寺家臣「二条寛斎」、紫野大徳寺北紫竹において熊本藩士上松巳八に襲われ、戦闘の末2人とも死亡
- 1863年9月8日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久3年7月26日|吉備津宮神宮「大藤幽叟」尊攘派志士に梟首される
- 1863年9月8日-09:00|日本|山口県|文久3年7月26日|奇兵隊、朝陽丸を占拠
- 1863年9月10日 00:00|イギリス| |||<死去>タウンゼント侯「ジョン・タウンゼント」
- 1863年9月10日 00:00|イギリス| |||<就任>タウンゼント侯「ジョン・ヴァリアース・ステュアート・タウンゼント」(~18991006死去)
- 1863年9月11日-09:30|オーストラリア/イギリス| |||<就任>ビクトリア植民地総督「チャールズ・ダーリング」(~18660507)
- 1863年9月12日 10:00|ポリネシア| |||<死去>タイオハエ統治者「Charles Te Moana」
- 1863年9月12日 10:00|ポリネシア| |||<就任>タイオハエ統治者「Elisabeth Vaekehu」(1期目~18631216)
- 1863年9月13日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島暫定司令官「Auguste La Borde」(~18640213)
- 1863年9月14日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国大統領「ルネ・アントニオ・サルト・ラミス」(18640824まで暫定~18641010没)
- 1863年9月14日 04:00|ドミニカ共和国| |||反乱軍、北部のサチアコに臨時政府を樹立/ルネ・アントニオ・サルト・ラミス將軍を

1865迄 (2324件)

政府代表に指名

- 1863年9月14日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年8月2日|壬生残留浪士組、佐伯亦三郎が芹沢鴨の内命で隊士・佐々木愛次郎を斬殺
- 1863年9月14日-09:00|日本|滋賀県大津市|文久3年8月2日|大津豪商矢島藤五郎方に浪人50人が押し入り、主人以下8人を殺害
- 1863年9月15日-09:00|日本|京都府京都市下京区|文久3年8月3日|但馬生野代官所元締手代の安福大次郎、京都で尊攘派不逞浪士に暗殺される
- 1863年9月18日 00:00|イギリス| |||<死去>10代ハントリー侯・6代アムステルダム伯「チャールズ・ゴードン」
- 1863年9月18日 00:00|イギリス| |||<就任>11代ハントリー侯・7代アムステルダム伯「チャールズ・ゴードン」(~19370220死去)
- 1863年9月18日 00:00|イギリス| |||<ゴルフ>第4回全英オープン選手権優勝:ウィリアム・パーク(2回目)(スコットランド/168)
- 1863年9月19日-09:00|日本| ||文久3年8月7日|幕府、日章旗を国標と定む
- 1863年9月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツの童話作家グリム兄弟の兄ヤーコプ・グリム/78歳(誕生17850104)
- 1863年9月20日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:(19~)チャムホアの戦い、ジョージア州北西部で南軍勝利
- 1863年9月21日-01:00|スペイン/アルゼンチン| |||スペイン、アルゼンチンの独立を承認(18600627の条約の再交渉)
- 1863年9月21日-09:00|日本|三重県津市|文久3年8月9日|<死去>伊勢久居藩53000石「藤堂高聴」⇒10月19日、養子「藤堂高邦」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月26日、版籍奉還)
- 1863年9月21日-09:00|日本|山口県|文久3年8月9日|<朝陽丸事件>長州藩は幕府軍艦「朝陽丸」を拿捕
- 1863年9月21日 00:00|イギリス/中国/アメリカ| ||清・同治2年8月9日|上海にイギリス・アメリカの共同租界が成立
- 1863年9月22日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年8月10日|新選組隊士・佐々木愛次郎暗殺暗殺される
- 1863年9月22日-09:00|日本|京都府京都市下京区|文久3年8月10日|壬生残留浪士組佐伯又三郎、芹沢鴨一派に暗殺される
- 1863年9月22日-09:00|日本|福島県いわき市|文久3年8月10日|<死去>陸奥磐城平藩4万石「安藤信民」⇒養子「安藤信勇」が継ぐ(⇒明治元(1868)年12月7日、陸中国磐井郡34000石へ移封)
- 1863年9月24日-09:00|日本|京都府京都市下京区|文久3年8月12日|西本願寺用人松井中務、開国論者と見なされ尊攘派不逞浪士に暗殺される
- 1863年9月25日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年8月13日|会薩同盟成立
- 1863年9月25日-09:00|日本|京都府京都市上京区|文久3年8月13日|壬生浪士隊(新撰組)の芹沢鴨らが大和屋に金を要求し大砲で焼き討ちにする
- 1863年9月27日-09:00|日本|東京都|文久3年8月15日|国学者・鈴木重胤暗殺/犯人は尊攘派と思われ、動機は鈴木が廢帝の故事を調べていたため
- 1863年9月28日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ブラザンサ公・バルボサ公・ダ・イラウイザ侯・カウム伯・アライオス伯・ネイヴァ伯「カルロス・ポルトガル」王ルイス1世の末息子(~18891019ポルトガル・アルガルヴェ王~19080201暗殺される)
- 1863年9月28日-09:00|日本|山口県下関市|文久3年8月16日|<教法寺事件>夜、下関の教法寺において長州藩諸隊の奇兵隊と撰鋒隊が衝突し撰鋒隊士が斬殺された
- 1863年9月29日-01:00|フランス| |||(^0930)フランス<初演>ジヨルジュ・ユベール-《歌劇「真珠採り」》
- 1863年9月29日-09:00|日本|大阪府池田市|文久3年8月17日|<死去>儒学者・漢詩人「広瀬旭莊」
- 1863年9月29日-09:00|日本|京都府京都市下京区|文久3年8月17日|鳥取藩士河田佐久馬ら、京都で藩内保守派の黒部権之助ら6人を殺害
- 1863年9月29日-09:00|日本|奈良県五條市|文久3年8月17日|<天誅組の変>吉村寅太郎をはじめとする尊皇攘夷派浪士の一団(天誅組)が公卿中山忠光を主将として大和国で決起/幕府天領の五条に到着した天誅組は、代官所を襲撃、代官鈴木正信(源内)に降伏を要求/代官所の人数は30人程で、意気軒昂な天誅組に抗することができず代官所方は敗北し、鈴木正信と下僚らは殺害される/天誅組は代官所を焼き払い、桜井寺を本陣に定めた
- 1863年9月30日-05:00|日本|京都府京都市|文久3年8月18日|<八月十八日の政変>会津藩・薩摩藩を中心とした公武合体派が、長州藩を主とする尊皇攘夷派と急進派公卿を京都から追放したクーデター事件/早朝4時頃に会津・薩摩・淀藩兵により御所九門の警備配置が完了、三条ら尊皇急進派公家に禁足と他人面会の禁止を命じ、国事参政、国事寄人の二職が廃止となった/8時過ぎから兵を率いた諸藩主が参内し、諸藩兵がさらに九門を固めた/長州藩は堺町御門の警備を免ぜられ、京都を追われることとなった
- 1863年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジュゼッペ・フィリッポ」 「フランチェスコ・ガリ」
- 1863年10月1日-09:00|日本|奈良県御所市|文久3年8月19日|<交替>大和新庄藩1万石「永井直幹」隠居⇒養子「永井直壯」が継ぐ(⇒同年12月8日、藩庁を移転し櫛羅藩1万石)
- 1863年10月1日-09:00|日本|山口県防府市|文久3年8月19日|長州藩に派遣されていた幕使鈴木八五郎ら3人、長州藩士に殺害される
- 1863年10月3日-09:00|日本|山口県防府市|文久3年8月21日|長州藩に派遣されていた幕府正使中根市之丞ら5人も長州藩士に殺害される
- 1863年10月5日 00:00|チャールズ諸島| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島副知事代理「Henry Brougham Loch」(~28日)
- 1863年10月5日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「サカス」(1173t, ホーツマス海軍工廠)チャールズ・タウン海軍工廠にて
- 1863年10月8日-04:30|日本|奈良県高市郡高取町|文久3年8月26日|<天誅組の変>払暁、狭い小道を進軍してきた天誅組に対して、高取藩兵は大砲と鉄砲で攻撃、烏合の衆である天誅組はたちまち大混乱に陥り潰走して五条へ退却
- 1863年10月8日 11:00|日本|奈良県天理市|文久3年8月26日|<天誅組の変>夜、天誅組決死隊は高取藩の斥候に遭遇し交戦するが、味方の誤射により吉村が重傷を負う/決死隊はなすところなく退却し、天の辻の本陣へ戻った

1865迄 (2324件)

- 1863年10月9日-09:00|日本|山口県下関市|文久3年8月27日|教法寺事件の責任を取り宮城彦輔切腹
- 1863年10月11日-09:00|日本|東京大学|文久3年8月29日|洋書調所、開成所と改称
- 1863年10月13日-09:00|日本|明治学院大学|文久3年9月頃|ヘボン博士が横浜の自宅で私塾を開く
- 1863年10月13日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文久3年9月1日|郡山藩軍奉行、藪田極人天誅組と誤り会津藩公用人、松坂三内、平向熊吉を捕縛に掛かり平向熊吉を斬殺、松坂三内を切腹に追い込む
- 1863年10月14日-09:00|日本/フランス|神奈川県横浜市南区|文久3年9月2日|<井土ヶ谷事件>フランス陸軍アフリカ猟歩兵第3大隊所属のアリ・カミュ少尉と士官2名は、程ヶ谷宿に向かうため乗馬で井土ヶ谷村に入ったところを、浪士3名に襲撃され先頭に居たカミュは刀で右腕を切断され、さらに顔・首・胴・左腕を切られ死亡
- 1863年10月16日-09:30|オーストラリア| |||<就任>ニューサウスウェールズ植民地政府首相「ジームズ・マーティン」無所属(~18650202)
- 1863年10月17日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年9月5日|<解任>老中「松平信義」
- 1863年10月19日-09:00|日本|奈良県天理市|文久3年9月7日|<天誅組の変>天誅組先鋒が大日川で津藩兵と交戦して、これを五条へ退ける
- 1863年10月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「金左根」(~18640523)
- 1863年10月22日-09:00|日本|奈良県天理市|文久3年9月10日|<天誅組の変>幕府軍総兵力14000人に及ぶ諸藩兵は各方面から進軍、天誅組は善戦するものの、主将である忠光の命令が混乱して一貫せず、兵達は右往左往を余儀なくされた
- 1863年10月23日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ドミンゴ総督・総司令官「カルロス・デ・バルガス・イ・セルヴェート」(~18640329)
- 1863年10月23日-09:00|日本|長野県佐久市|文久3年9月11日|<藩庁移転>三河奥殿藩16000石「松平乗謨」⇒信濃田野口藩16000石(⇒慶応4(1868)年5月28日、藩名を竜岡藩と改名)
- 1863年10月24日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ルーマニア公国閣僚会議議長(首相)「ミハイル・コルニシヌ」(~18650207)
- 1863年10月25日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年9月13日|壬生浪士田中伊織が近藤勇の手によって誅殺される
- 1863年10月25日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年9月13日|<就任>老中「牧野忠恭」(~慶応1年4月19日)
- 1863年10月26日 00:00|イギリス| |||イングランドサッカー協会創立
- 1863年10月26日 06:00|エルサルバドル| |||<解任>エルサルバドル共和国大統領「ホセ・ヘラルド・バリオス・エスピノサ」カレラがエルサルバドルに侵入し放逐
- 1863年10月26日 06:00|エルサルバドル| |||<就任>エルサルバドル共和国大統領「フランシスコ・ハビエル・ドゥエニャス・デ・イラス」(4回目、18650201まで暫定~18710415)
- 1863年10月26日-09:00|日本| |||文久3年9月14日|邦文紙「日本毎日新聞」創刊
- 1863年10月26日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久3年9月14日|幕府が横浜鎖港し貿易を長崎・函館に限定
- 1863年10月26日-09:00|日本|奈良県五條市|文久3年9月14日|<天誅組の変>紀州・津の藩兵が吉村らの守る天の辻を攻撃、吉村は天の辻を放棄/忠光は天陰を頼りに決戦しようとするが、朝廷は十津川郷に忠光を逆賊とする令旨を下し、十津川郷士は憂心して忠光らに退去を要求
- 1863年10月27日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年9月15日|新撰組副長・新見錦、局中法度違反により自刃に追い込まれる
- 1863年10月28日 00:00|チャネル諸島| |||<就任>イギリス王領ジャージー島副知事「Burke Douglas Cuppage」(~18681001)
- 1863年10月28日 14:00|日本|京都府京都市|文久3年9月16日|深夜、新選組筆頭局・長芹沢鴨(37)、その腹心で副長助勤をつとめた平山五郎が宿舎の八木源之丞宅で土方歳三、沖田総司らに暗殺される
- 1863年10月30日-12:00|ニュージーランド| |||<就任>ニュージーランド首相「フレデリック・ウイカー」(1回目~18641124)
- 1863年10月31日-09:00|日本|広島県広島市|文久3年9月19日|広島水主町出火、163軒焼失
- 1863年11月 03:00|アルゼンチン| |||ブエノスアイレス政府に対する保守派の反乱、ペニャロサ(チャチョ)が指導、蜂起は失敗しペニャロサは捕えられ処刑
- 1863年11月 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合国クルーザー「ラパ・ハック」(1042t;イギリスにて蒸気推進スループオブウォーVictorを購入)
- 1863年11月2日-09:00|日本|高知県高知市|文久3年9月21日|土佐藩、土佐勤王党郷士の弾圧を開始、党首武市半平太らを逮捕
- 1863年11月5日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文久3年9月24日|<天誅組の変>天誅組の残党一行は鷺尾峠を経た鷺家口で紀州・彦根藩兵と遭遇/那須信吾は忠光を逃すべく決死隊を編成して敵陣に突入して討ち死に、藤本鉄石も討ち死にし、負傷して失明していた松本奎堂は自刃
- 1863年11月6日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「デミトリオス・ゲオルギオウ・ゲルガリス」(2回目~18640317)
- 1863年11月6日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年9月25日|壬生浪士組が隊名を新選組と改める
- 1863年11月6日-09:00|日本|京都府八幡市|文久3年9月25日|北添信麿・能勢達太郎ら、雙樹院僧侶如雲を京都石清水にて殺害
- 1863年11月7日-09:00|日本|東京都目黒区|文久3年9月26日|江戸目黒三田村の幕府合葉製造所で爆発事故/死傷者70人以上
- 1863年11月8日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文久3年9月27日|<天誅組の変>吉村寅太郎(27歳)は鷺家谷で津藩兵に撃たれて戦死、天誅組は壊滅/忠光は脱出に成功、大坂に到着して長州藩邸に匿われた
- 1863年11月9日-05:30|インド| |||<就任>パナ国ラジャ「バグワン・シン」(~18710531没)
- 1863年11月11日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久3年10月|英人W・H・スミスがクラブ(クラブ・ホテルの前身)を設立

1865迄 (2324件)

- 1863年11月11日-09:00|日本|東京都|文久3年10月|<襲名>11代横綱「不知火光右衛門」38
- 1863年11月13日-01:00|デンマーク| |||デンマーク王国議会在11月憲法を採択
- 1863年11月15日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・シュレーズガ イェ=ホルシュタイン公「フレデリク7世」兼ザクセン=ラウエンブルク公「フリートリヒ2世」55歳
- 1863年11月15日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王「クリスチャン9世」(~1906)129死去87歳)兼シュレーズガ イェ=ホルシュタイン公「クリスチャン9世」兼ザクセン=ラウエンブルク公「クリスティアン2世」(~1864年ドイツ連邦に占領される)フリートリヒ・ヴィルヘルムとルイーゼ・カローネ・フォン・ハッセン=カッセルの四男
- 1863年11月15日-09:00|日本/イギリス|鹿児島県|文久3年10月5日|<薩英戦争>和睦派の佐土原島津家の榊山、能勢らは幕府側の説得を受け入れて薩摩側への和睦を促し、重野らはイギリスからの軍艦購入を条件に扶助料を出すべしと議を決した/イギリス側は軍艦購入の斡旋を承諾/島津家は2万5000ポンドに相当する6万300両を幕府から借用して支払ったが、これを幕府に返さなかった
- 1863年11月17日-09:00|日本|滋賀県野洲市|文久3年10月7日|<交替>近江三上藩12000石「遠藤胤統」隠居→三男「遠藤胤城」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月23日、版籍奉還)
- 1863年11月18日-01:00|デンマーク| |||デンマーク国王クリスティアン9世が、シュレスウィヒ併合に関する新憲法を認め、併合が発効
- 1863年11月19日 06:00|アメリカ| |||戦死者を葬る共同墓地の献納式でリカン大統領がゲティスバーグの演説を行った「人民の人民による人民の政治」で終わる名演説
- 1863年11月19日-09:00|日本|岩手県一関市|文久3年10月9日|<交替>陸奥一関藩3万石「田村通顕」仙台藩の養子となる⇒養子「田村邦栄」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年12月7日、隠居謹慎)
- 1863年11月20日-05:30|インド/イギリス| |||<死去>イギリス領インド 帝国副王・総督「エルジン・キナーデン伯爵ジェームズ・ブルース」インドで病死
- 1863年11月20日 00:00|イギリス| |||<死去>12代キナーデン伯爵・8代エルキン伯爵「ジェームズ・ブルース」インド・パンジャブ州タムサラで病没/52歳(誕生1811)720)外交官。支那全権大使としてアロー号事件を解決した他、インド 総督もつとめた
- 1863年11月20日 00:00|イギリス| |||<就任>13代キナーデン伯爵・9代エルキン伯爵「ヴィクター・アレクザンダー・ブルース」(~1917)118死去)
- 1863年11月21日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド 帝国副王・総督代行「ロバート・コーネリス・ネヒア卿」(~12. 2)
- 1863年11月21日-09:00|日本|鳥取県東伯郡北栄町|文久3年10月11日|鳥取藩が「由良の台場」を築造(砲台)
- 1863年11月22日-09:00|日本|山形県|文久3年10月12日|出羽国置賜郡で一揆が起こる
- 1863年11月22日-07:00|日本|兵庫県朝来市|文久3年10月12日|<生野の変>午前2時ごろ但馬国生野において平野国臣、北垣らは「当役所」の名で澤宣嘉の告諭文を発して、天領一帯に募兵を呼びかけ、かねてより北垣が「農兵論」を唱えていたこともあり、正午には2000人もの農民が生野の町に群集
- 1863年11月23日-09:00|日本/イギリス| |||文久3年10月13日|イギリス船「ジヨンリ」(1862年グラスゴーで製造)を幕府が購入し「長崎丸二番」と改称(戊辰戦争中に飛鳥で座礁沈没)
- 1863年11月23日-09:00|日本|兵庫県朝来市|文久3年10月13日|<生野の変>夜に肝心の主将の澤宣嘉が解散派とともに本陣から脱出/澤宣嘉は、田岡俊三郎、高橋甲太郎、森源蔵らと脱出し四国伊予小松藩周辺に潜伏した後、長州に逃れる/山口村妙見山(岩州山)の妙見堂に布陣していた河上は生野の町で闘死しようとするが、騙されたと怒った農民たちが「偽浪士」と罵って彼らに襲いかかった。河上ら13人の浪士は妙見山麓に戻って自刃/美玉三平と中島太郎兵衛は農民に襲撃され射殺された/平野は兵を解散させると鳥取へ向かったが捕らえられ、京の六角獄舎へ送られる。その他の浪士たちも戦死、逃亡、捕縛された
- 1863年11月25日 06:00|アメリカ| |||(23)チャタヌーガの攻防戦/テネシー州チャタヌーガ近くで北軍のユリシーズ・グラント少将はブラクストン・ブラッグ 将軍の南軍を破る
- 1863年11月26日-04:00|モリシャス/イギリス| |||<就任>イギリス植民地モリシャス総督・最高司令官「ヘンリー・バーカー卿」(~18710 221)
- 1863年11月26日 04:00|アンギラ/イギリス| |||<就任>イギリス領アンギラ主任判事「George Alsbury」(~1868)128)
- 1863年11月30日-05:30|インド| |||<就任>ヒンドゥー 国統治者(タクール)「トウライシン」(~1888)1026没)
- 1863年11月30日 10:00|ハワイ| |||<死去>ハワイ諸島王国国王「カハメハ4世」
- 1863年11月30日 10:00|ハワイ| |||<即位>ハワイ諸島王国国王「カハメハ5世」(~1872)1211)
- 1863年12月1日-07:00|カンボジア/タイ| |||カンボジアがシャムと秘密条約を締結
- 1863年12月1日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン総督代行「ジョン・テレンス・ニコルズ・オブライエン」(~1865)321)
- 1863年12月1日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島総司令官「Joaquin Riquelme y Gomez」(~1865年)
- 1863年12月2日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド 帝国副王・総督代行「ウィリアム・トマス・デニソン卿」(~1864)112)
- 1863年12月3日-12:00|ニュージーランド| |||ニュージーランド 移住法が可決、原住民の土地没収の権限を付与
- 1863年12月3日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年10月23日|一橋用人・中根長十郎、急進派志士によって江戸 雑子橋門外で暗殺される
- 1863年12月4日-08:00|中国| |||清・同治2年10月24日|清朝軍が、太平天国軍から蘇州を奪還
- 1863年12月6日 05:00|コロンビア/エクアドル| |||モレは義父ファン・ホセ・フォルス将軍の指揮する6千の兵をコロンビアに送り込む/フォルス軍はCuaspadaのたたかいで、モスクラのひきいるコロンビア軍4,000人に惨敗。およそ1,500が死傷
- 1863年12月6日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍パセイク級モニター「ウィーホケン」(1335t)Morris Islandにて強風により転覆、引き揚げが試みられるが失敗
- 1863年12月6日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久3年10月26日|横浜で初の日刊英文紙「デイルー・ジャパン・ヘラルド」創刊

1865迄 (2324件)

- 1863年12月8日 04:00|チリ| |||カンチアゴのラ・コンパニア寺院が火災、2千人以上が焼死
- 1863年12月8日-09:00|日本|山口県萩市|文久3年10月28日|長州藩士・坪井九右衛門、尊王攘夷派によって野山獄で処刑される
- 1863年12月10日 06:00|アメリカ/イギリス| |||アメリカ連合国クルザ-「テキサス」(2090t)イギリス政府により接收(1866、チリに売却)
- 1863年12月11日-09:00|日本|東京都墨田区|文久3年11月|<大相撲>文久3年11月場所[江戸本所回向院](9日間)幕内優勝:(東関脇)鬼面山、7勝0敗2分
- 1863年12月16日-01:00|ドイツ| |||ハイネン設立
- 1863年12月16日 10:00|ポリアニア| |||<就任>タイカイ統治者「Stanislao Moanadini」(~1890年)
- 1863年12月19日 10:00|ハワイ| |||<就任>ハワイ諸島王国首相「Mataio Kekuanaoa」(~18640824)
- 1863年12月20日-08:00|フィリピン| |||フィリピンで初等教育制度の整備を図る教育令
- 1863年12月22日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年11月12日|幕府、服制を復旧し熨斗目、長上下、肩衣、白帷子、花色小袖などを用いしむ
- 1863年12月23日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス作家サッカレー/52歳(誕生18110718)「虚栄の市」
- 1863年12月24日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||デンマークのルシュタイン併合に反対するドイツ連邦軍がルシュタインに侵攻
- 1863年12月25日-09:00|日本|東京都千代田区|文久3年11月15日|江戸城本丸、二ノ丸を焼失
- 1863年12月27日-09:00|日本|広島県広島市|文久3年11月17日|<購入>広島藩、汽船「飛雲号」
- 1863年12月28日-09:00|日本|東京都|文久3年11月18日|<死去>11代目守田勘彌/62才(四代目坂東三津五郎)
- 1863年12月30日-03:30|イラン| |||イラン・アルダビルで地震M6.1、死者千人
- 1863年12月31日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国首相「テイトレフ・ゴット・モント」(~18640711)
- 1863年12月31日 06:00|ホンジュラス| |||<就任>ホンジュラス共和国大統領代行「フランシスコ・イネスト」(~18640215)
- 1863年12月31日 11:00|日本|大阪府大阪市|文久3年11月21日|<大坂文久3年の大火「五幸町焼」>戌の刻(20時ごろ)、難波屋清吉の貸家、五幸町の伊豆屋弥三郎方から出火、大坂の中心南船場を扇状に南北に広がりながら東へ進み、東横堀を飛び越えて、北は大坂城の内堀、南は同空堀までの間を次から次へと灰にした/翌日まで燃え続け、大坂の東の町外れまで焼き尽くし、36時間後の三日目の辰の刻(午前8時ごろ)燃えるものがなくなって自然鎮火/144町、家数で3733軒焼失/そのほか、空き家1646軒、土蔵240棟、納屋63棟、町道場21棟、社寺4か所、橋4か所が焼けた/行政関係では、大坂城代の中屋敷、南組惣会所(南郷の行政事務所)、鉄砲及び金蔵(倉庫)各屋敷と役宅(担当役人の屋敷)、代官役宅(幕府領の役人の屋敷)、与力、同心屋敷など多数が焼ける
- 1864年-08:00|インドネシア| |||<即位>シア第10代スルタン「al-Sayyid al-Sharif Qasim Abdul Jalil Syaifuddin1世」(Syarif Qasim1世) (~1889年)
- 1864年-08:00|インドネシア| |||<即位>パク・アラマン君主「Pakualam4世」(~1878年)
- 1864年-06:00|ブータン| |||<就任>ブータン摂政「ツェワン・シトゥブ」(1回目)⇒「ツルトリム・ヨnten」⇒「ガギ・ユワンチュク」⇒「ツェワン・シトゥブ」(2回目~1866年)
- 1864年-05:30|インド| |||<就任>カワルム国統治者(ターケル)「ラジ・ハル・シン」(~18911201没)
- 1864年-05:30|インド| |||<就任>ジャヤサルム国統治者(マハラワ)「ハ・イリ・サル」(~18910310没)、摂政「ケシリ・シン」(2度目)
- 1864年-05:30|インド| |||<就任>ジョット国統治者(ラ)「ラジ・ット・シン」(~1874年没)
- 1864年-05:30|インド| |||<就任>ニムケラ統治者(ブーミア)「タリア・シン」(~1894年没)
- 1864年-05:30|インド| |||<就任>ラジガール統治者(ブーミア)「チェイン・シン」(~1899年没)
- 1864年-05:30|インド| |||ホルム国首都がコータサルに移転され、この国はウイジャガールと呼ばれるようになる
- 1864年-05:00|パキスタン| |||<死去>フンザ国ミル・タム「ガザンファール・アリ・カーン」
- 1864年-05:00|パキスタン| |||<就任>フンザ国ミル・タム「モハマト・ガザン・カーン1世」(~1886年没)
- 1864年-05:00|キルギス/ロシア| |||ロシアがヒシュベク(ヒシュケクから改名、1868年1月コーカト)によって割譲)を占領(1867年からトルキスタン・クレーの一部)
- 1864年-04:00|UAE| |||<死去>アジュマン首長「Sheikh Humaid bin Rashid Al Nuaimi」
- 1864年-04:00|UAE| |||<即位>アジュマン首長「Sheikh Rashid bin Humaid Al Nuaimi2世」(~1891年死去)
- 1864年-04:00|ロシア| |||シャブスグとウビフの部族がロシアに降伏
- 1864年-03:00|ウガンダ| |||<就任>イバンタ統治者(ムトバ・ムトウ)「ニヤブ・ザナ」(~1874年頃没)
- 1864年-03:00|イラク/トルコ| |||<就任>バスのラリス「ケトゥータ・サデ・スレイマン・ベイ」(~1869年)
- 1864年-03:00|スーダン| |||<即位>カリ国王(ウスター)「アダム・ウム・タッハル・ワラト・ウマル・アル・アラビ」(~18840714)
- 1864年-02:00|エジプト| |||<就任>オスマン帝国領エジプト大宰相代行「イスマイル・ラギフ・ハシヤ」(1回目~1866年)
- 1864年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>テリゾール地区総督「Omar Pasha」(~1865年、6箇月間)
- 1864年-02:00|コンゴ 民主共和国| |||<即位>ルバ王国ムロフウエ「マロハ・コンゴ」(~1865年)
- 1864年-02:00|ルーマニア| |||シリストラはガイヤット・マゴロに合併
- 1864年-01:00|フランス| |||<就任>シャテルロー公「ウィリアム・ダグラス=ハミルトン」(~18950516死去)
- 1864年-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領セウタ総督(北アフリカ総司令部総督)「Manuel Alvarez-Maldonado y Loriga」(~1865年)
- 1864年-01:00|フランス| |||<就任>モンモランシー公「ニコラ」(~1915年)
- 1864年-01:00|ニジェール| |||<即位>ソンガイ帝国国王(アスカ)「コイセ・ハハ・ハキ」(~1865年)
- 1864年-01:00|モザンビーク| |||モザンビークでオールド・ハリ開業
- 1864年 00:00|マリ| |||<死去>ターケル帝国皇帝「Omar Saidou Tall」
- 1864年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>カチュー(ビサウ配下)総督「ジョアキン・アルベルト・マルケス」(~1865年)
- 1864年 00:00|コートジボワール/フランス| |||<就任>グランバッサム(ヌムル砦)民間司令官「ジャン=オーギュスト・マルタン」(~1866年)

1865迄 (2324件)

- 1864年 00:00|セカール| |||<就任>サル统治者(フル・サル)「ファクサ・ブヤ・ファル」(~1871年)
1864年 00:00|セカール| |||<就任>サル统治者(フル・サル)「マ・ハ・ジヤクサ」(反乱~1867年没)
1864年 00:00|ギニアビサウ/ポルトガル| |||<就任>ビサウ総督代行「ルサ・ビエル・デ・クラト」(~1865年)
1864年 00:00|シエラレオネ| |||<就任>ボンペイ首長「リチャード・カンバ・カーカ」(1回目~1888年)
1864年 00:00|マリ| |||<即位>トゥケル帝国皇帝「Ahmadu Tall」(~1893年滅亡)
1864年 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>ビエクス島知事「Francisco Gomez de Mercado」(2期目~1866年)
1864年 08:00|ビトケアン諸島/イギリス| |||<就任>イギリス領ビトケアン諸島主任判事「Thursday October Christian II」(3期目~12.31)
1864年1月 00:00|セネガル| |||<就任>ケール统治者(タンメル)「マ・ジ・ヨシ・ヨ・ジ・エゲン・コトウ・ファル」(2回目~1868年)
1864年1月 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ 副総督「ロバート・ミラー・マンディ」(1回目~1865年4月)
1864年1月1日-01:00|スイス| |||<就任>スイス連邦大統領「ヨハン・ヤコブ・ダブス」Lib(1期目~12.31)
1864年1月3日-09:00|日本|岡山県総社市|文久3年11月24日|<立藩>備中浅尾藩1万石「蒔田広孝」(高直しが認められ、諸侯に列した⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
1864年1月4日 00:00|リベリア| |||<就任>リベリア共和国大統領「タニエル・バシール・ワナー」(~18680106)
1864年1月4日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「メタコメット」(1173t, Thomas Stackで建造)
1864年1月4日-09:00|日本|東京都港区|文久3年11月25日|古河藩士江戸赤坂の刈谷藩邸を襲撃、長州藩士福原乙之進(27歳)負傷し自刃
1864年1月5日-09:00|日本|山口大学|文久3年11月26日|山口講習堂を山口明倫館と改称/従来の明倫館は萩明倫館へ改称
1864年1月6日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久3年11月27日|英国人ミス・ピアソンが横浜居留地にドレス・メーカーを開店
1864年1月6日-09:00|日本|福井県鯖江市|文久3年11月27日|<死去>越前鯖江藩4万石「間部詮実」⇒弟「間部詮道」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
1864年1月8日 00:00|サントメ・プリンシパル/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシパル 総督「Estanislaw Xavier de Assuncao e Almeida」(1期目~18650802)
1864年1月8日 00:00|イギリス/日本| ||文久3年11月29日|イギリス・デント社商船「ヤンチー」(1857年、アメリカ・ニューヨークで竣工)を幕府が購入、運送船「翔鶴丸」と改称
1864年1月9日-09:00|日本|長崎県長崎市|文久3年12月|長崎英語所(英語稽古所)が江戸町の元五箇所宿老会所跡に移転、洋学所と改称
1864年1月11日-09:00|日本|大阪府大阪市|文久3年12月3日|<死去>歌人・翻訳家・作家・国学者「萩原広道」
1864年1月11日 00:00|イギリス| |||ロンドンでチャリング・クロス駅開業
1864年1月12日-05:30|インド/イギリス| |||<就任>イギリス領インド 帝国副王・総督「ジョン・レアート・マ・ローレンス卿」(~18690112)
1864年1月13日-04:00|ロシア| |||ロシア暦:1864/1/1|ロシアで、各郡、各県に地方自治会(ゼムストヴナ)の議会と行政府を設ける法令が出される
1864年1月13日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの作曲家フォスター/37歳(誕生18260704)
1864年1月15日 03:00|ブラジル| |||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「セカリア・デ・ゴイス・エ・ウァスコンセロス」(2回目~8.31)
1864年1月16日 00:00|イギリス| |||<死去>6代アール公・6代テリハ・デイン侯・9代タリハ・デイン伯・6代ストラステ=ストラエ・テル伯・3代ストレンジ 伯「ジョージ・オーガスタス・フレデリック・ジョン・マレー」
1864年1月16日 00:00|イギリス| |||<就任>7代アール公・7代テリハ・デイン侯・10代タリハ・デイン伯・7代ストラステ=ストラエ・テル伯・4代ストレンジ 伯「ジョン・ジョージ・エドワード・ヘンリー・ステュワート=マレー」6代公の長男(~19170120死去)
1864年1月16日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治2年12月8日|<死去>李氏朝鮮国王「哲宗」(1831年~)
1864年1月16日-09:00|日本|奈良県橿原市|文久3年12月8日|畝傍山東北陵の御修復工事に1万5千両を費し竣工(面目全く一新す)
1864年1月16日-09:00|日本|奈良県御所市|文久3年12月8日|<藩庁移転>大和新庄藩1万石「永井直壮」⇒大和櫛羅藩1万石(⇒慶応元(1865)年8月19日、20歳で死去)
1864年1月17日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Lorenzo Arrazola[穏和党](~18640301)
1864年1月18日 00:00|イギリス| |||<死去>2代クリヴランド公「ヘンリー・グエイン」
1864年1月18日 00:00|イギリス| |||<就任>3代クリヴランド公「ウィリアム・グエイン」(~9.6死去)
1864年1月18日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島暫定市民知事「Jose Joaquin de Monteverde」(~4.20)
1864年1月20日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国摂政「シンジョン女王」(~18660329)
1864年1月20日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ウォーラー」(1173t, Reaney, Son & Archboldで建造)フィラデルフィア海軍工廠にて
1864年1月21日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治2年12月13日|<即位>李氏朝鮮国王「高宗」(⇒18971012大韓帝国皇帝~19070720退位)
1864年1月21日-09:00|日本/ドイツ| ||文久3年12月13日|幕府がロシアと通商条約調印
1864年1月26日-05:30|インド| |||<就任>シント 国ラジャ「ラガ・ヘイル・シン」(~18810524)
1864年1月27日-05:30|インド| |||<就任>ラトラム国ラジャ「ラジツット・シン」(~18930120没)、摂政「カナン・ハート・ウル・ミール・シヤハマト・アリ」(~18800101)
1864年1月31日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年12月23日|<就任>関白「二条斉敬」(~慶應2年12月25日)
1864年2月 06:00|アメリカ/フランス| |||アメリカ連合国クルザー「ラハノック」(1042t) Calaisに入港、フランス政府に接收される(南

1865迄 (2324件)

北戦争後、アメリカ合衆国に売却)

- 1864年2月1日-01:00|オーストリア/デンマーク/ドイツ| |||第二次シュレーズヴィヒ=ホルシュタイン戦争:プロシヤ-オーストリア連合軍がデンマークに宣戦布告しシュレスウィヒに侵入
- 1864年2月1日-09:00|日本|山口県下関市|文久3年12月24日|<下関戦争>関門海峡を航行中の薩摩藩使用の洋式船「長崎丸」(幕府より貸与)を、長州藩の陸上砲台が砲撃し、薩摩藩士24人が死亡
- 1864年2月2日-02:00|南アフリカ| |||<就任>オリヴ・自由国国家大統領「ヨハネス・ヘントリクス・ファン・ラング」(~18880714)
- 1864年2月3日-01:00|ベナン| |||<死去>アジヤチエ・イェのフォン王国国王「リジ」
- 1864年2月4日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年12月27日|新選組副長助勤・野口健司、突然切腹を命じられ安藤早太郎の介錯で切腹
- 1864年2月5日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍物資輸送船「アドミラル」(1248t;18640108,汽船を購入し改装)
- 1864年2月6日-05:30|インド| |||<就任>パシダ 国支配者(サグ)「Omar・Ali・Khan」(~18960611没)
- 1864年2月6日-01:00|オーストリア/デンマーク/ドイツ| |||第二次シュレーズヴィヒ=ホルシュタイン戦争:オーストリア軍とプロシヤ混成近衛師団はオベルイ付近でデンマーク軍を激戦の後に撃破、ホルシュタインより更に南部に位置したザクセン=ラウエンブルク公国はプロシヤ軍に占領された
- 1864年2月6日 06:00|アメリカ| |||アメリカ南部連合、奢侈品の輸入禁止法制定
- 1864年2月6日-09:00|日本/ヨーロッパ| |||文久3年12月29日|幕府、横浜鎖港談判のため、外国奉行池田長発・河津祐邦らの遣欧使節出発
- 1864年2月6日-09:00|日本/スイス| |||文久3年12月29日|幕府がスイスと修好通商条約を結ぶ
- 1864年2月7日-09:00|日本|京都府京都市|文久3年12月30日|朝廷が幕府の諮問機関として参預会議設置、一橋慶喜・松平容保・松平慶永・山内豊信・伊達宗城を朝議参与に命じる
- 1864年2月8日-09:00|日本|J.フロントリテイリング|文久4年|茂木惣兵衛、生糸商の野澤屋創立(一横浜松坂屋)
- 1864年2月8日-08:00|中国| |||清・同治3年|カシュガリア汗国、清帝国から分離
- 1864年2月8日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ワイアラシグ」(1173t,C. H. & W. H. Crampで建造)フィラデルフィア海軍工廠にて
- 1864年2月8日-09:00|日本| |||文久4年1月|<出版>玉蘭齋貞秀「万象写真図譜」
- 1864年2月8日-09:00|日本| |||文久4年1月|<出版>立祥広重「絵本江戸土産」九・十編
- 1864年2月8日-09:00|日本|神奈川県横浜市|文久4年1月|邦人最初の洋服屋開店(横浜弁天通に大黒屋)
- 1864年2月8日-09:00|日本|長崎県大村市|文久4年1月|長崎江戸町の洋学所仮校舎が大村町に落成開校した新校舎に移転、語学所と改称/魯、英、仏の3か国語が修められることに
- 1864年2月9日 04:00|セントピント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントピント副総督代行「ジヨン・ジエームズ・ヒュース」(1回目~同年)
- 1864年2月9日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「マルグアーン」(1477t)(18631109,New Inletにてアメリカ合衆国海軍艦艇に拿捕⇒ホストンにて海軍が購入し、チャールズタウン海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装、マルグアーンと改名)
- 1864年2月10日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「アジョラ」(1173t,Curtis & Tildenで建造)チャールズタウン海軍工廠にて
- 1864年2月11日-05:30|インド| |||<死去>コーチン国統治者(マハラジャ・ガンガダラ・コヴァイティ・カリカ)「ラウイガアル4世」
- 1864年2月11日-01:00|ベナン| |||<即位>アジヤチエ・イェのフォン王国国王「ミクレン」(~18720523没)
- 1864年2月12日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「タコー」(1173t,フィラデルフィア海軍工廠で建造)
- 1864年2月13日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島暫定司令官「Ernest Joseph Nicolas d'Heureux」(1期目~5.3)
- 1864年2月15日-01:00|フランス| |||フランスで鉄鋼委員会が設立される
- 1864年2月15日 06:00|ロシア| |||<就任>ロシア共和国大統領「セルゲイ・マリヤ・メーヤ」(2回目~18720726/18650929~18660201暫定)
- 1864年2月16日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合国砲郭装甲艦「バセット」(1273t,Bassett & Gatesで建造)
- 1864年2月16日-06:00|日本|東京都|文久4年1月9日|暁八時過ぎ、北東風烈しく、深川永代寺門前仲町より失火して、山本町、黒江町、蛤町河岸迄焼く/吉原町娼家の僑居(カク)も悉く焼亡に及び、夜明けて鎮まる
- 1864年2月17日-01:00|デンマーク/オーストリア/ドイツ| |||第二次シュレーズヴィヒ=ホルシュタイン戦争:プロシヤ混成近衛師団はデンマーク領に侵入してコリングを占領
- 1864年2月17日 06:00|アメリカ| |||南北戦争/アメリカ海軍オビニ級スループ「フサトニック」(1934t)チャールストンにてアメリカ連合国海軍水雷潜水艇H. L. ハリーの雷撃により沈没
- 1864年2月20日 06:00|アメリカ| |||南北戦争(オラステイの戦い)北軍がフロリダ・アトランティック・アンド・ガルフ鉄道に沿ってレイクシティに向かっている時に、オラステイ駅近くで南軍と遭遇し、北軍は損失率40%という南北戦争の戦闘の中でも最大級の損失率を出して撃退され、ジャクソンビルに引き返した
- 1864年2月23日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・同治3年1月16日|慶尚道・豊川で民乱
- 1864年2月25日-02:00|モザンビーク/ポルトガル| |||<就任>モザンビーク州総督「カンティ・マシモ・モンテス(統治評議会議長)」(~4.20)
- 1864年2月26日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ 知事代理「Joseph Desmazes」(1期目~5.19)
- 1864年2月28日 10:00|日本|熊本県熊本市|文久4年1月21日|<死去>国学者の中島広足(72)
- 1864年2月29日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「シエンゴ」(1173t,Jeremiah Simonsonで建造)ニューヨーク海軍工廠にて
- 1864年3月-12:00|ニュージーランド/イギリス| |||植民地政府がワイカト地方を征服し、国王の首都(カールワヒア)を占領したが、国王はフニコ川の南、ガティ・マアポトの領土に後退し、縮小した「国王の国」の首長に留まった

1865迄 (2324件)

- 1864年3月1日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長Alejandro Mon y Menendez [穏和党] (~18640916)
- 1864年3月1日 03:00|ウルクアイ| |||<就任>ウルクアイ東方共和国大統領代理「アナソ・アギーレ」国民党 (~18650215)
- 1864年3月2日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア国務院議長・閣僚委員会委員長「クニヤズ・パヴェル・パヴロヴィッチ・カガリン」(7日まで代行~18650113)
- 1864年3月2日-01:00|ポーランド/ロシア| |||ロシア暦2月19日|ロシア皇帝アレクサンドル2世が、ロシア領ポーランドに農民解放令を公布
- 1864年3月4日 10:00|日本|東京都中央区|文久4年1月26日|酉中刻、吉原江戸町一丁目より出火、遊郭全焼
- 1864年3月5日-05:30|インド| |||<就任>ハリア国ラジャマハワル「マンスンジ2世フリティラジ」(~19080225没)
- 1864年3月5日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「フレデリック・ハモンド」(~6.15)
- 1864年3月8日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「マサット」(1173t, Curtis & Tildenで建造)
- 1864年3月8日-09:00|日本|東京都中央区|文久4年2月|<初演>二代目河竹新七「曾我綉侠御所染」市村座、[原・柳亭種彦、「浅間嶽面影草子」], 前半<時鳥殺し>, 後半<御所五郎蔵>
- 1864年3月9日-01:00|デンマーク/オーストリア/ドイツ| |||第二次シュレースヴィヒ=ホルシュタイン戦争:オーストリア軍はヴァイの地を拠点にしたデンマークのヘッカルマン将軍を攻撃対象とし激戦の末、ヴァイを占領
- 1864年3月9日 04:00|セントピント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントピント副総督「アンソニー・マクグレウ」(2回目~同年)
- 1864年3月9日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「アワム」(1173t, George W. Lawrenceで建造)
- 1864年3月10日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハリエル王「マクシミリアン2世」
- 1864年3月10日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>ハリエル国王「ルートヴィヒ2世狂王」マクシミリアン2世の長男(1871年ハリエルをドイツ帝国に加盟~18860613変死)
- 1864年3月12日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領コールト=コースト総督代行「カレル・ヘントリック・デ・ヴァイト・ヴァン・ヒエン」(~6.13)
- 1864年3月12日 06:00|ベネチア/イギリス| |||<就任>イギリス領ホンジュラス副総督(ジャマイカ総督に従属)「ジョン・ガーデナー・オスティン」(~1867年)
- 1864年3月13日-09:00|日本/アメリカ| ||文久4年2月6日|アメリカ運送船「マヨ」(1861年、アメリカ・ヤムで建造)を幕府が購入し「神速丸」と改称
- 1864年3月17日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「コンスタンティノス・ミハイル・カリス」(3回目~4.28)
- 1864年3月17日-09:00|日本|福島県会津若松市|文久4年2月10日|<加増>陸奥会津藩23万石「松平容保」+5万石⇒28万石
- 1864年3月18日-04:00|ロシア| |||チルカシア人が最後の敗北を喫し、ロシア軍がウヰフの国に入る
- 1864年3月19日-01:00|フランス| |||<初演>シャルル・フランソワ・グノー《歌劇「ミレユ」》
- 1864年3月19日-09:00|日本|山口県熊毛郡上関町|文久4年2月12日|長州藩義勇隊、周防別府浦に停泊中の薩摩船を外国交易の疑い有りとして襲撃して焼き払い、船主大谷氏を殺害
- 1864年3月22日 00:00|イギリス| |||<死去>5代アバデーン伯「ジョージ・ハミルトン=ゴートン」
- 1864年3月22日 00:00|イギリス| |||<就任>6代アバデーン伯「ジョージ・ハミルトン=ゴートン」(~18700127死去)
- 1864年3月22日-09:00|日本|京都府京都市|文久4年2月15日|幕府、松平春嶽に京都守護職を命じる
- 1864年3月23日-09:00|日本|京都府京都市|文久4年2月16日|国学者・伴林光平(天誅組の記録方)、京都で斬首処刑
- 1864年3月23日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文久4年2月16日|天誅組に参加した土佐藩志士たち、京都六角獄にて斬首処刑
- 1864年3月24日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モニター「オランダガ」(2592t, コンチネタル鉄工所で建造)ニューヨーク海軍工廠にて
- 1864年3月27日-09:00|日本| ||元治1年2月20日|元治に改元
- 1864年3月28日-05:30|インド| |||<即位>コチン国統治者(マハラジャ・ガンガダラ・コヴァイデ・イ・カリカ)「ラマヴァルマ14世」(~18880802没)
- 1864年3月29日 04:00|ドミニカ共和国/スペイン| |||<就任>スペイン領サント・ドミンゴ 総督・総司令官「ホセ・デ・ラ・ガンダラ・イ・ナハロ」(名目上は18650501から~18650711)
- 1864年3月30日-05:30|インド| |||<就任>ハルカタガル国統治者(マハラット)「ウダイシン」(~18900215没)
- 1864年4月-02:00|ブルガリア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国ウイデイン・ワス(総督)「マフメト・レシト・パシャ」(~12月)
- 1864年4月-01:00|チュニジア| |||チュニジアでガメスの住民が武装蜂起
- 1864年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ガエターノ・ベルツィ」[「ヒエトロ・リキ」]
- 1864年4月2日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|元治1年2月26日|長州藩義勇隊士・水井精一郎、山本誠一郎自刃、高橋利兵衛は自首のうえ切腹(12日の薩摩船襲撃犯)
- 1864年4月3日-09:00|日本|佐賀県小城市|元治1年2月27日|<死去>肥前小城藩73000石「鍋島直亮」36歳⇒養子「鍋島直虎」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月25日、版籍奉還)
- 1864年4月4日-05:30|インド| |||<就任>コリア国ラジャ「フランシス・デ・オ」(~1897年没)
- 1864年4月5日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領コールト=コースト総督・最高司令官代行「ウィリアム・ハケット卿」(~7月)
- 1864年4月6日-09:00|日本| ||元治1年3月|<刊行>会津藩士・紀興之「越後土産」
- 1864年4月7日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カニカス級モニター「サーガス」(2100t, Harlan & Hollingsworth Co. で建造)フィラデルフィア海軍工廠にて;アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「マサット」(1173t, A. & G. T. Sampsonで建造)ニューヨーク海軍工廠にて
- 1864年4月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治3年3月2日|東学教祖の崔濟愚初代教主、慶尚道大邱の将台で処刑
- 1864年4月7日-09:00|日本|福島県白河市|元治1年3月2日|<死去>陸奥白川藩10万石「阿部正耆」⇒養子「阿部正外」が継ぐ(⇒慶応2(1866)年6月19日、強制隠居)

1865迄 (2324件)

- 1864年4月8日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「ホセ・エドゥアルド・ダ・コスタ・メネズ」(~1865年)
- 1864年4月8日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:マンスフィールドの戦い>米国ルイジアナ州デイト郡で南軍勝利
- 1864年4月10日 05:00|コロンビア/パナマ/ブラジル/ペルー| |||<就任>コロンビア衆議院大統領「マヌエル・マリョロ」(1回目~18660401)
- 1864年4月10日 07:00|メキシコ| |||<即位>メキシコ皇帝「マクシミアン大公」(オーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ1世の弟~18670619)
- 1864年4月12日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:ピロー砦の戦い>テネシー州ヘニングで南軍勝利(フォレスト少将による虐殺有り?)
- 1864年4月13日 04:30|ペルー/エクアドル| |||ペルーでフロンティア大統領のもとに連邦制が発足
- 1864年4月14日-01:00|スペイン/ポルトガル/チリ/エクアドル/ペルー| |||ペルー、チリ、ポルトガル、エクアドルのアンデス諸国は同盟してスペインに宣戦布告
- 1864年4月14日-01:00|スペイン/ペルー| |||ペルーで、スペイン軍が独立戦争時の損害賠償を要求してチンチャ諸島を占領
- 1864年4月14日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年3月9日|参予大名のあいづく辞任で、朝議参予の制がとりやめとなる(公武合体派の解体)
- 1864年4月16日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カニカス級モニター「カニカス」(2100t, City Point Worksで建造)
- 1864年4月17日-09:00|日本|秋田県秋田市|元治1年3月12日|<出羽久保田元治元年の大火「座頭火事」>夜、九つ時(午前0時ごろ)下亀ノ丁に居住する園一という座頭(盲人)宅から出火、同丁四丁と大工町をほぼ全焼させた上、米町四丁から田中町、上肴町、茶町、大町三丁、通町へと延焼し翌13日鎮火/類焼家数1070軒ほど
- 1864年4月18日-01:00|デンマーク/オーストリア/ドイツ| |||第二次シュレスヴィヒ=ホルシュタイン戦争(デュッセルドルフの戦い)プロシヤ軍はデュッセルドルフを激戦の後に攻略(プロシヤ軍とデンマーク軍の双方で共に1,100人の犠牲を出した)
- 1864年4月19日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カニカス級モニター「ゼノ」(2100t, Zeno Secor & Co. で建造)
- 1864年4月20日-02:00|メキシコ/ポルトガル| |||<就任>メキシコ州総督「アントニオ・カント・エ・カストロ」(~18671012)
- 1864年4月20日 00:00|イギリス| |||<就任>ジャルテロ公「ウィリアム・アレクサンダー・ルイス・ステイヴァー・ダグラス=ハミルトン」12代ハミルトン公・9代ブランドン公(⇒18860502兼セカンド伯爵~18950516死去)
- 1864年4月20日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島市民知事「Pablo Castro y Juan」(~10.27)
- 1864年4月20日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ副王「ジョアン・ホセ・アルモンテ」(~6.12)
- 1864年4月20日-09:00|日本|京都府京都市北区|元治1年3月15日|賀茂別雷神社遷宮
- 1864年4月21日-08:00|中国| |||清の同治3年3月16日|曾國藩兄弟が率いる清朝の湘軍が、太平天国が守っていた天京(南京)の城壁を爆破して内部に突入/南京は陥落し、太平天国は滅亡
- 1864年4月22日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国宰相「アルミン・グルフジニ=ジチ=エス=ウ=アソニキ」(~18650626)
- 1864年4月22日 06:00|アメリカ| |||米国で貨幣鑄造法成立(In God We Trustの刻印が義務化)
- 1864年4月23日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「マッキー」(1173t, フルクリン海軍工廠で建造)
- 1864年4月25日 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ総督「ホセ・ゲテス・デ・カヴァリョ=ダ・コスタ・メネズ」(~18690211)
- 1864年4月26日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「イスコ」(1173t, Larrabee & Allenで建造)チャールズ・ワグネル海軍工廠にて
- 1864年4月27日-09:00|日本|千葉県長生郡一宮町|元治1年3月22日|<死去>上総一宮藩13000石「加納久徴」⇒5月22日、養子「加納久恒」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年7月29日、死去)
- 1864年4月28日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「ジノウ・イオス・イアソウ=ハルビス」(~8.7)
- 1864年4月28日-01:00|オーストリア/デンマーク| |||第二次シュレスヴィヒ=ホルシュタイン戦争:オーストリア軍はフレゼリア要塞の包囲を続け、デンマーク軍の自主撤退によりこれを占領
- 1864年5月-05:00|パキスタン| |||<死去>カッタ国ワリ「シルティル=カーン」
- 1864年5月-05:00|パキスタン| |||<就任>カッタ国ワリ「コダット=カーン」(2回目~18930815没)
- 1864年5月-01:00|ポーランド/ロシア| |||ポーランド蜂起がほぼ鎮圧される
- 1864年5月1日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<死去>ギニア総督「Louis Marie Francois Tardy de Montravel」
- 1864年5月1日 03:00|仏領ギニア/フランス| |||<就任>ギニア暫定総督「Antoine Favre」(~18650610)
- 1864年5月2日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「メトック」(1173t, F. Z. Tuckerで建造):アメリカ海軍外輪戦闘艦「ゲティスバーグ」(1100t; 18631105, ウィルミントンにて封鎖突破艦船Margaret & Jessie(元商船Douglass)を拿捕⇒18631120, ニューヨークにて海軍が購入し、ニューヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦に改装)
- 1864年5月2日-09:00|日本|茨城県つくば市|元治1年3月27日|<天狗党の乱>藤田小四郎は北関東各地を遊説して軍用金を集め、筑波山に集結した水戸藩内外の尊皇攘夷派(天狗党)62人の同志たちと共に挙兵、水戸町奉行田丸稻之衛門を主将とした
- 1864年5月3日 03:00|サンピエール島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サンピエール島・ミクロン島司令官代理「Charles Faure」(~19日)
- 1864年5月3日-09:00|日本|神奈川県横浜市|元治1年3月28日|(~5月)「リスリー=サーカ」横浜の居留地で公演
- 1864年5月4日-09:00|日本|山口県萩市|元治1年3月29日|高杉晋作、脱藩罪で野山獄入獄-獄中で手記を書く
- 1864年5月6日-09:00|日本|静岡県磐田市|元治1年4月|磐田文庫創設<大久保忠尚>
- 1864年5月6日-09:00|日本|東京都墨田区|元治1年4月|<大相撲>元治元年4月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関(横綱))不知火, 7勝1敗2休
- 1864年5月7日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「フレッチャー」(1173t, Paul Curtisで建造)
- 1864年5月7日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:荒野の戦い(5日~)北軍ユリシーズ・グラント中將が、南軍ハート・E・リ-將軍の北バージニア軍に対して起ち上げたオーバーランド方面作戦の最初の戦いで両軍は大きな損失を出し引き分け

1865迄 (2324件)

- 1864年5月9日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン領メキシコ総督「Bartolome de Benavides y Campuzano」(~1866年)
- 1864年5月9日-01:00|オーストリア/デンマーク/ドイツ| |||第二次シュレーズビヒルシュタイン戦争(ヘルゴラント海戦)ヘルゴラント島南方沖を航行中のプロシヤ・オーストリア連合艦隊3隻は(オーストリア海軍テグト提督の指揮)北方より接近してきたデンマーク海軍の優勢な艦隊の攻撃を受けた。デンマーク海軍は撃退されたが、テグト提督の旗艦が炎上するなどオーストリア海軍も退却した
- 1864年5月9日-09:00|日本|京都府京都市東山区|元治1年4月4日|建仁寺の幸助、志士逮捕の協力をしたとして過激派に暗殺される
- 1864年5月10日-02:00|南アフリカ| |||<就任>南アフリカ共和国行政評議会議長「マルティヌス・ヴァン・デル・ワール」(2度目~18661022)
- 1864年5月10日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ホントウサカ」(1173t, George W. Lawrenceで建造)
- 1864年5月12日-05:30|インド| |||<就任>デウス国ラジャ「ナラン・ラオ・パール・タダ・サヒブ」(~18920119没)
- 1864年5月12日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:米スットシルバニアの戦い-北軍グラント敗退
- 1864年5月12日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年4月7日|<辞任>京都守護職「松平春嶽」
- 1864年5月12日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年4月7日|<復職>京都守護職「松平容保」(⇒慶応3(1867)年12月9日廃止)
- 1864年5月13日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍テラウエ級戦列艦「ニュー・ハンプシャー」(2602t, ホーツマ海軍工廠で建造⇒1893年, ニューヨーク州海軍義勇兵協会に移管)
- 1864年5月13日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|元治1年4月8日|薩摩藩, 長崎にて汽船翔鳳丸(英国船)購入
- 1864年5月13日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|元治1年4月8日|<荒陣山の喧嘩>伊勢神戸長吉と, 安濃津徳次郎、助っ人の吉良の仁吉死亡
- 1864年5月15日 06:00|アメリカ| |||ニューマーケットの戦い/南北戦争でバージニア州シェナンドー郡で行われた戦い/バージニア州士官学校の士官候補生部隊が南軍と共に戦い、北軍ワッツ・シーゲル少将の部隊をシェナンドー渓谷から追い出す
- 1864年5月16日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年4月11日|<就任>京都所司代「松平定敬」(⇒1867(慶応3年12月9日))
- 1864年5月16日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年4月11日|<就任>老中「稲葉正邦」(~慶応1年4月11日)
- 1864年5月17日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年4月12日|<解任>老中「有馬道純」
- 1864年5月18日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカの作家サニエル・ホーソン/59歳(誕生18040704)/「緋文字」を著した
- 1864年5月19日 03:00|サビエル島/ミクロン島/フランス| |||<就任>サビエル島・ミクロン島司令官「Pierre Vincent Cren」(~18720509)
- 1864年5月19日 04:00|グアドループ/フランス| |||<就任>グアドループ知事「Louis Hippolyte de Lormel」(1期目~18660420)
- 1864年5月20日-09:00|日本|山形県米沢市|元治1年4月15日|<米沢元治元年の大火「小森沢火事」>西割出町に住む五十騎組小森沢仁右衛門の糸練かまどから出火、侍屋敷町では、火元の西割出町をはじめ、隣接する仲間町、北堀端町、屋代町、御細工町は残らず焼けた/明神堂町や表町、門東町の一部が焼失/主な建物では学館興譲館、武芸所、郡割役所、国産役所、町奉行所などの藩庁舎も全焼、炎は米沢城二の丸にも移り、北矢倉門、昌寿院御住居、御廨、御作事小屋などが焼失/町家地区では鍛冶町、地番匠町、割出町、河井小路、桶屋町など中心街が残らず焼失、立町、大町、柳町、免許町、東寺町の大部分が焼けた/炎は松川を飛び越えて、上花沢小国町、信濃町、中町、片町の一部を焼いた/焼失家屋は町屋敷620軒、侍屋敷360軒、寺院14堂、藩庁舎、城内二の丸の建物など合計1248軒、7人死亡
- 1864年5月21日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:スットシルバニア・コトハウスの戦い(8日~)北軍クリンズ・グラント中將が、南軍ロバート・E・リー將軍の北バージニア軍に対して起ち上げたオーバーランド方面作戦の2番目の戦いである。戦場はバージニア州中部のラパハンノック川とラップハノック川の地域であり、1862年から1864年の間に両軍共に10万名以上が倒れた場所でもあった。この戦闘は全長がおおよそ4マイル (6 km) の塹壕線に沿って行われ、リーの北バージニア軍が、グラントとジョージ・ミード少將のポトマック軍の春の攻勢を止めようという2回目の試みだった。流血が多く引き分けに終わった荒野の戦いから1週間も経たないうちに起こっており、南軍は52,000名、対する北軍は100,000名が参加した。引き分け(北軍の攻勢継続)
- 1864年5月22日-01:00|アルジェリア/フランス| |||<就任>フランス領アルジェリア総督代行「エドモン・シャルルド・マルティン・プレ」(~9.1)
- 1864年5月22日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:レッド川方面作戦(3月10日~)ルイジアナのレッド川沿いで戦われた一連の戦闘で北軍の先手で始まり、北軍はサニエル・バンクス少將の30,000名の部隊、南軍はリチャード・テイラーの6,000名から12,000名の部隊の間で争われた。この作戦は元々北軍の総司令官ヘンリー・ハレックの発案であり、これを引き継いだクリンズ・グラント中將がバンクスのメキシコ湾岸軍30,000名を使いアラバマ州モビールを占領することで、南軍の主力を包囲してしまおうという作戦に転用した。結果は北軍の惨憺たる失敗に終わり
- 1864年5月24日-01:00|フランス| |||ナポレオン3世が、エミール・オリヴィエ法を制定し、労働者の団結権が条件付きで認められる
- 1864年5月26日 06:00|アメリカ| |||<発足>アメリカ、モンタナ州設置
- 1864年5月27日 06:00|アメリカ| |||(23~)ノース・アナ川の戦い/バージニア州中部の多くの場所で起こった小さな戦闘の連続/決着付かず
- 1864年5月27日 10:00|日本|東京都中央区|元治1年4月22日|<江戸大火>暮六時半過ぎ、猿若町三丁目芝居付茶屋筑前屋喜七宅より出火、中村・市村・守田座焼失
- 1864年5月30日 06:00|アメリカ| |||(27日~)トポトマイ・クリークの戦い/リー軍はトポトマイ・クリークの背後に塹壕を掘って入り、リッチモンド方向に接近するあらゆる道筋を抑えた/第2軍団はクリーク徒渉を2箇所で行き詰り南軍の塹壕線で最初のを占領したが、主力線の前に前進は止まった/第5軍団は北軍の最左翼にあるベセスタ教会近くに移動したが、7

1865迄 (2324件)

- リーの軍団に攻撃された/激しい交戦の後で北軍はシェイクスピア道路まで後退
- 1864年5月30日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「サー・スティーブン・パスケル・タシ(3回目/カナダ 東武)」|「ジョン・アレクサンダー・マクナルド(4回目/カナダ 西部)」(~18650730)
- 1864年5月31日-09:00|日本|新潟県村上市|元治1年4月26日|<交替>越後村上藩5万石「内藤信親」隠居⇒養子「内藤信民」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年7月11日、自殺)
- 1864年6月-02:00|サンビア| |||<就任>ブローズ 王国統治者(ムブム・ワ・リトゥンガ)|「シパ・ルタンク」再興(~1876年8月没)
- 1864年6月 06:00|アメリカ| |||アメリカ税関監視船「キナー」(18630923進水)の John A. Robb造船所で竣工
- 1864年6月1日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年4月27日|京都見廻組編成される-京都見廻役蒔田相模守と松平康正(5.25入京)、佐々木唯三郎、与頭に抜擢される
- 1864年6月1日-09:00|日本|長崎県対馬市|元治1年4月27日|<創立>「対馬藩校日新館」(文武館を改称)
- 1864年6月1日-08:00|中国| ||清・同治3年4月27日|<死去>洪秀全が天京(南京)で病死/50歳(誕生18140111)太平天国を樹立した
- 1864年6月2日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャがイオニア諸島を併合
- 1864年6月2日-01:00|アルバーニア/ギリシャ/トルコ| |||サト島はギリシャに割譲されたが、占領されず、事実上オスマン帝国の支配下に入った
- 1864年6月3日-08:00|中国| ||清・同治3年4月29日|中国、新疆のウイグル教徒が反乱を起こす
- 1864年6月4日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの経済学者シーニア/73歳(誕生17900926)
- 1864年6月4日-09:00|日本/イギリス| ||元治1年5月|イギリス海軍の70級砲艦「ヒューズ」薩摩藩が購入、長崎で受領し「乾行丸」と命名された
- 1864年6月4日-09:00|日本|東京都中央区|元治1年5月|<初演>二代目河竹新七「処女翫浮名横櫛」<切れお富>、三代目澤村田之助、こうもり安・市川九蔵、江戸守田座
- 1864年6月4日 06:00|アメリカ/日本| ||元治1年5月|幕府海軍所属「富士山丸」(1000t)アメリカ・ニューヨークで竣工
- 1864年6月6日 05:00|バハマ/イギリス| |||<就任>バハマ植民地総督代行「チャールズ・ロジャース・ネビット」(5回目~12.9)
- 1864年6月6日 06:00|アメリカ| |||(5日~)ヒートモントの戦い/ハンターは北軍の攻撃を再開し、ウィリアム・E・グラント・ジョーンズを破った/ジョーンズはこの戦いで戦死しハンターはスタントンを占領
- 1864年6月6日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カニカス級モニター「マンハッタン」(2100t, Perine's Iron Worksで建造)
- 1864年6月6日-08:00|中国| ||清・同治3年5月3日|<即位>太平天国「幼天王」(洪天貴福~18641118)
- 1864年6月8日-09:00|日本|三重県伊賀市|元治1年5月5日|画家冷泉為恭、佐幕派と見做され丹波市郊外の鍵屋の辻で長州藩の大楽源太郎らによって捕縛殺害される
- 1864年6月10日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ブラリス交差点の戦い/ミシシッピ州リー郡のボールドウィン近くで行われた戦闘である。南軍サイモン・ペット・フォード・フォレスト少将が率いる4,787名の分遣隊が北軍サミュエル・D・スタージス准将の率いる8,100名の軍勢と対戦した。この戦いは北軍の壊走におわり、フォレストの偉大な騎兵指揮官としての名声を確固たるものにした
- 1864年6月10日-09:00|日本|神奈川県横浜市|元治1年5月7日|横浜にボウリング・サロンが開店
- 1864年6月11日-09:00|日本| ||元治1年5月8日|松本良順著「養生法」/日本人による最初の洋式養生書
- 1864年6月12日 06:00|アメリカ| |||(5.31~)ユルト・ハーバーの戦い/北軍は南軍リー軍に無益な攻撃を仕掛け、12日間で10,000名ないし13,000名を失った
- 1864年6月13日 00:00|カナダ/オランダ| |||<就任>オランダ領ゴールド・コースト総督代行「ヘンリー・ド・イヤ」(~12.7)
- 1864年6月13日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ジャムロック」(1173t, ブルックリン海軍工廠で建造)
- 1864年6月13日 07:00|メキシコ| |||<就任>メキシコ閣僚評議会議長「ホセ・マリア・デ・ラ・アスンシオン・ジョーン・ホセ・デ・ラ・カンザ・イ・ブレンガ」(~18661006)
- 1864年6月14日-01:00|スペイン/ドミニカ共和国| |||<死去>ドミニカ共和国元大統領「ペドロ・サンタナ」謎の死を遂げる/自殺説もある
- 1864年6月15日 00:00|セントヘレナ/イギリス| |||<就任>アセンション島司令官「ジョセフ・グラント・ビックフォード」(~18660925)
- 1864年6月15日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督代理「ウィリアム・マンロー大佐」(2期目~7.27)
- 1864年6月15日 06:00|アメリカ| |||米国アリントン国立墓地設立
- 1864年6月17日-09:00|日本|兵庫県神戸市中央区|元治1年5月14日|幕府が、軍艦教授所を改称し勝海舟(42)を頭取として兵庫に神戸海軍操練所を設置
- 1864年6月18日-05:30|インド| |||<就任>トンク国支配者(ナワブ)「モハメド・アリ・カーン」(~18671114)
- 1864年6月18日 06:00|アメリカ| |||(6.15~)ヒートズバーグ 作戦/南軍ロバート・E・リー將軍の北バージニア軍がヒートズバーグを補強できる前に、北軍のユリシーズ・グラント中將がヒートズバーグ市を奪おうとした戦闘/P・G・T・ボーリガード 將軍の指揮する実質的に勢力の劣る南軍に対して北軍は4日間にわたって猛攻を繰り返したが、ボーリガードの強力な防衛陣地と、北軍の將軍達の協調が取れていなかった攻撃のために、勢力の格差を帳消しにしてしまうことになった
- 1864年6月18日 06:00|アメリカ| |||リンチバーグの戦い(17日~)/ハンターはリンチバーグの鉄道、運河および病院を破壊する作戦だったがジョナル・アーリーの軍の最初の部隊が到着して作戦が挫かれた/ハンターは物資が不足しており、ウェストバージニア州を抜けて撤退
- 1864年6月19日-01:00|フランス/アメリカ| |||アメリカ連合軍クルーサー「アラバマ」(1050t)シェルブール沖にてアメリカ合衆国海軍スクイヤー推進ルーフ・キサーズの砲撃により沈没(1時間40分の戦闘)
- 1864年6月20日-01:00|フランス/日本| ||元治1年5月17日|鎖港談判遣欧使節、パリで輸入税率改正と下関通航についてフランスとの約定に調印

1865迄 (2324件)

- 1864年6月21日-11:00|ニューカドニア/フランス| |||ニューカドニアの一部であるロイヤリティ諸島がフランスに併合
- 1864年6月23日-09:00|日本|大阪府大阪市北区|元治1年5月20日|大坂天満橋で西町奉行所与力・内山彦次郎(67歳)何者かに殺害される
- 1864年6月24日-04:00|ジョージア/ロシア| |||スフム(スフミ)がロシア帝国(クタイスの一部)に組み込まれた
- 1864年6月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>グェルテンベルク国王「グェルヘルム1世」
- 1864年6月25日-01:00|ドイツ| |||<即位>グェルテンベルク国王「カール1世」(1871年、ドイツ帝国の成立により、その下位に置かれた~18911006死去)
- 1864年6月25日 04:00|セントビンセント/イギリス| |||<就任>イギリス領セントビンセント副総督代行「ジョン・ジェームズ・ヒュース」(2回目~同年)
- 1864年6月25日 06:00|アメリカ| |||<改装>アメリカ海軍カスコ級モニター「カスコ」(1175t)⇒水雷艇
- 1864年6月25日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年5月22日|京都・会津藩士松田鼎が尊攘派浪士に暗殺、鳩首される
- 1864年6月26日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元治1年5月23日|空也堂の僧鴨誉暗殺される
- 1864年6月27日 06:00|アメリカ| |||(ケネソー山の戦い)北軍敗退
- 1864年6月28日 06:00|アメリカ| |||1850年に制定された逃亡奴隷取締法が廃止される
- 1864年6月29日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||第二次シュレスヴィヒ=ホルシュタイン戦争(ゾントーブルクの戦い)プロシヤ軍は正面からの攻撃が困難と見ると北方のバルグから渡海を企画しアル島に上陸に成功し占領地を拡充し、即日ゾントーブルクを攻撃攻略
- 1864年6月29日 06:00|カナダ| |||カナダ・ケベック州モンテレー地域で、列車が開橋状態の旋回橋へ信号を無視して進入しリシュリュ川に転落。主にドイツ人やポーランド人の移民など99人が死亡
- 1864年6月30日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、内国歳入法、関税法、公債法の3財政法成立
- 1864年6月30日-09:00|日本|大阪府大阪市|元治1年5月27日|中川宮家臣高橋建之丞、大坂本願寺前で暗殺される
- 1864年7月 04:00|セントクリストファー・ネイビス| |||<就任>ネイビス大統領「ジェームズ・ワトソン・シェリフ」(~1865年)
- 1864年7月1日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||第二次シュレスヴィヒ=ホルシュタイン戦争:プロシヤ軍はアル島全島の占領に成功
- 1864年7月1日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領コールト=コースト総督・最高司令官「リチャード・パイン卿」(2回目~18650413)
- 1864年7月2日 06:00|アメリカ| |||リカン、沿岸奴隷貿易を禁止する法案に署名
- 1864年7月4日 06:00|アメリカ| |||アメリカで連邦契約労働移民法が可決
- 1864年7月4日-09:00|日本|鹿児島県|元治1年6月|<設立>薩摩藩、洋学校「開成所」
- 1864年7月5日-09:00|日本|京都府京都市山科区|元治1年6月2日|京都輪王寺兼毘沙門堂の坊官・大蔵卿「今小路範成」及び従士「近田松之助」鳥取藩攘夷派に暗殺される
- 1864年7月7日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ホントイック」(1173t, Hillman & Streakerで建造)フィラデルフィア海軍工廠にて
- 1864年7月7日 13:00|日本|京都府京都市|元治1年6月4日|新選組、筑前福岡藩黒田家御用達・枳屋「枳屋喜右衛門(古高俊太郎)」を捕縛し前川邸で拷問
- 1864年7月8日-09:00|日本|栃木県栃木市|元治1年6月5日|<天狗党の乱>(~6日)田中愿蔵により組織された天狗党筑波勢別働隊は、資金供出を断った栃木宿で放火・略奪・殺戮
- 1864年7月8日 13:00|日本|京都府京都市中京区|元治1年6月5日|<池田屋事件>亥の刻(22時頃)すぎ、京都三条木屋町(三条小橋)の旅館・池田屋に潜伏していた長州藩・土佐藩などの尊王攘夷派志士を、京都守護職配下の治安維持組織である新選組が襲撃、9名討ち取り4名捕縛の戦果
- 1864年7月9日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争:ポートハドソンの包囲戦>(5月21日~)北軍勝利しミシシッピ川を完全に支配
- 1864年7月9日 06:00|アメリカ| |||モカーの戦いは、南北戦争の1864年のバレー方面作戦中に、マリーランド州フレデリックで起こった戦闘/南軍ジューバル=アラー中将軍がルー=ウォレス少将が指揮する北軍を破った
- 1864年7月9日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年6月6日|<池田屋事件>市中掃討で会津・桑名藩らと連携し20余名を捕縛/会津藩は5名、彦根藩は4名、桑名藩は2名の即死者を出した
- 1864年7月11日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国首相「クリスチャン・アルブレヒト・ブルーメ」(2回目~18651106)
- 1864年7月12日 06:00|アメリカ| |||(11~)スティーブンス砦の戦い/南北戦争の1864年のバレー方面作戦中に、コロンビア特別区北西部で起こった戦闘/南軍ジューバル=アラー中将軍と北軍レイノ=ライト少将軍との間で戦われ、北軍が勝利
- 1864年7月12日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カスコ級モニター「タンクス」(1175t, Reaney Son&Archboldで建造)
- 1864年7月13日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年6月10日|<明保野亭事件>会津藩より新選組派遣の柴司、土佐藩士麻田時太郎を浪士と誤り負傷させる
- 1864年7月14日-03:00|マダガスカル| |||<交替>マダガスカル首相「レイニウ・オニヒトリニニ」解任⇒「ライニライリホニニ」就任(~18951014)
- 1864年7月14日-02:00|ロシア/ロシア| |||<就任>ロシア及び北西部の地方総督代行「レサント・ル・ル・オグ・イッチ・ホ・妹・フ」(~18650417)
- 1864年7月14日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年6月11日|土佐藩士「麻田時太郎」、土佐藩から土道不覚悟として切腹させられた
- 1864年7月15日 04:00|マルティニーク/フランス| |||<就任>フランス領マルティニーク知事「Francois Theodore de Lapelin」(~1867.1)
- 1864年7月15日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年6月12日|会津藩士「柴司」、明保野亭事件の責任を自発的に取る形で切腹
- 1864年7月16日-02:00|ルーマニア| |||ブカレスト大学が創設される
- 1864年7月17日-09:00|日本|高知県高知市|元治1年6月14日|岡田以蔵、捕縛され土佐山田町獄舎に送られる

1865迄 (2324件)

- 1864年7月18日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「趙斗淳」(~18660526)
- 1864年7月18日 06:00|アメリカ| |||ケルスプリングの戦い(7月17日~)/ニコラス・フェリーの戦いとも呼ばれる。アーリー・ライトの指揮する北軍追撃隊を攻撃し撃退
- 1864年7月18日-09:00|日本|北海道函館市|元治1年6月15日|函館に初の洋式城郭の五稜郭が完成し箱館奉行所(箱館奉行小出秀実)を移転
- 1864年7月19日-09:00|日本|京都府京都市上京区|元治1年6月16日|一橋慶喜腹心・平岡円四郎、京千本通で攘夷派に暗殺される
- 1864年7月19日-08:00|中国| |||清・同治3年6月16日|清朝の湘軍が天京に突入し、太平天国が滅亡
- 1864年7月20日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ピッチリークリークの戦い/ジョージア州フルトン郡で行われた戦闘で北軍ウィリアム・シヤーマン少将の軍隊として初めてアトランタ防衛軍に掛けられた大きな攻撃だった。戦闘に参加した主力は北軍がジョージ・ハンリー・トマス少将の指揮するカンバーランド軍であり、南軍はジョン・ベル・フット中將の指揮するテネシー軍だった。フットにとってはテネシー軍指揮官として最初の戦闘だった。北軍の勝利
- 1864年7月20日 06:00|アメリカ| |||ラザフォード農園の戦い/北軍の1個師団がスティーブンス・ドッドソン・ラムスルの指揮する南軍師団を攻撃し壊滅させた/アーリーは南のバージニア州ウィンチェスター近くのフィッシャーズヒルまで軍を退いた
- 1864年7月21日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年6月18日|<解任>老中「板倉勝静」「酒井忠績」
- 1864年7月22日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:アトランタの戦い/ジョージア州フルトン郡アトランタの直ぐ南東で行われた戦闘でアトランタの陥落まではまだ6週間を要した。北軍の勝利
- 1864年7月23日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|元治1年6月20日|薩摩藩がイギリス船「ストーク」を購入、砲艦「乾行丸」と命名
- 1864年7月23日-08:00|中国| |||清・同治3年6月20日|新疆地方でムスリムが蜂起
- 1864年7月24日 06:00|アメリカ| |||第二次カンズ・タウンの戦い/南北戦争の1864年のバレー方面作戦中に、バージニア州ウィンチェスターの郊外、カンズ・タウンで起こった戦闘/南軍ジューバル・アーリー中將軍が、北軍ジョージ・クルック准將の部隊を完璧に破り、シエナドネ渓谷から追い出してポトマック川の向こうメリーランド州まで後退させた
- 1864年7月24日-09:00|日本|茨城県土浦市|元治1年6月21日|<天狗党の乱>田中愿蔵により組織された天狗党筑波勢別働隊は、資金供出を断った真鍋宿で放火・略奪・殺戮
- 1864年7月25日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード知事代行「トンプソン」(~9.6)
- 1864年7月27日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ総督代理「ウィリアム・ジョージ・ハムリー中佐」(1期目~18651018)
- 1864年7月27日-09:00|日本|京都府八幡市|元治1年6月24日|久坂玄瑞、眞木保臣等、男山八幡に本陣を設けて勤王討幕の義旗を翻す
- 1864年7月27日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年6月24日|<就任>老中「阿部正外」(~慶応1年10月1日)
- 1864年7月28日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「アスカニー」(1173t, George W. Jackman, Jr. で建造)ニューヨーク海軍工廠にて
- 1864年7月28日-09:00|日本|千葉県香取市|元治1年6月25日|<死去>下総小見川藩1万石「内田正縄」⇒養子「内田正学」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1864年7月29日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ミソナー」(1173t, D. S. Mershon, Jr. で建造)
- 1864年7月30日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:クレーター山の戦い/ピーターズバーグ包囲戦中に起こった戦闘で南軍ロバート・E・リー將軍の北バージニア軍と北軍ジョージ・ミード少將のポトマック軍(総司令官クリスチアーン・グラント中將の直接監督下にあった)との間で行われ北軍は数週間の準備期間の後のアンブローズ・バーンサイドが坑道に仕掛けさせた火薬が爆発し、ピーターズバーグの南軍防御線に隙間を開けた。この幸先の良い開始とは裏腹に、全てのことが攻撃側の北軍にとって急速に悪い方向に進んだ。次から次と部隊が爆発でできたクレーターの回りや中に突入し、そこで兵士達は混乱状態に飲み込まれた。南軍は素早く体制を立て直し、ウィリアム・マホーン少將が率いて数度反撃した。隙間は埋められ、北軍は大損失を出して撃退された。アフリカ系アメリカ人の兵士からなるエドワード・フェレル准將の師団がこっぴどくやられた。この戦闘はグラントにとってピーターズバーグ包囲戦を終わらせる最高のチャンスだったはずである。実際にはその後8ヶ月も続く塹壕戦となった。バーンサイドはこの失態の責任を取らされて解任された
- 1864年7月30日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|元治1年6月27日|<死去>駿河小島藩1万石「松平信書」19歳⇒養子「松平信敏」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年7月13日、上総国桜井藩へ転封)
- 1864年7月30日-09:00|日本|鳥取県鳥取市|元治1年6月27日|<死去>因幡鹿奴藩3万石「池田仲建」自害⇒翌年4月4日、従弟「池田徳澄」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、廃藩宗家鳥取藩に併合)
- 1864年7月31日-09:00|日本| |||元治1年6月28日|浜田彦蔵、岸田銀次郎ら英字新聞を日本語訳した「新聞誌、海外新聞」を発売
- 1864年8月-03:00|イェメン/トルコ| |||<就任>オスマン帝国イェメン・ウオリス(総督)「Baban li Ahmed Pasha」(2期目~1867.2)
- 1864年8月 03:00|ブラジル/ウルグアイ| |||ブラジル、アルゼンチンの支持を得た上でウルグアイに軍を進出
- 1864年8月1日-01:00|オーストリア/デンマーク/ドイツ| |||プロシヤはオーストリア帝国と同盟しデンマークと戦争を行った/シュレズヴィヒとホルシュタインを獲得
- 1864年8月1日 06:00|アメリカ| |||エルジン設立
- 1864年8月1日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年6月29日|<就任>老中「諏訪忠誠」(~同年7月23日)
- 1864年8月2日-09:00|日本| |||元治1年7月|<出版>清水為齋「為齋画式」
- 1864年8月2日-09:00|日本|富山県富山市|元治1年7月1日|富山城三之丸において富山藩家老・山田嘉膳が藩士・島田勝摩に暗殺される
- 1864年8月4日-09:30|オーストリア| |||<就任>南オーストリア植民地政府首相「アーサー・ブライス」(~18650322)
- 1864年8月5日-02:00|フィンランド/ロシア| |||<就任>ロシア領フィンランド総督代行「ヨハン・マウリツ・フライヘル・ルデンスタム」(1回目~10.1

1865迄 (2324件)

6)

- 1864年8月5日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:モビル湾の海戦/北軍はこの戦いに勝利することで、アメリカ連合国に残された3つの海港(他の2つはジョージア州サバンナとノースカロライナ州ウィルミントン)のうちの1つを封鎖したことに加え、陸上ではアトランタを占領しており、エイブラハム・リンカーンの再選に大きな弾みが付いた
- 1864年8月5日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍カナダ級モニター「テカムセ」(2100t)モビル湾の戦闘にて雷撃により沈没
- 1864年8月5日 06:00|アメリカ| |||アメリカ連合国砲郭装甲艦「テネシー」(1273t)モビル湾海戦にてアメリカ合衆国海軍の砲撃により損傷、アメリカ合衆国軍に拿捕
- 1864年8月6日-08:00|中国| |||<開園>香港動植物公園
- 1864年8月6日 04:00|トリニダード・トバゴ/イギリス| |||<就任>トリニダード 知事「ジョン・ハンリー・トマス・マーズ・サットン卿」(~18660424)
- 1864年8月7日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「コンスタンティノス・ミハイル・カリス」(4回目~18650314)
- 1864年8月7日 06:00|アメリカ| |||ムアフィールドの戦い(オールド・フィールドの戦い)/チェンバースバーグ焼き討ちから戻った南軍の騎兵隊が北軍騎兵隊に待ち伏せされ敗れた
- 1864年8月7日-09:00|日本|岡山県岡山市|元治1年7月6日|備前藩士、岡山奥市谷に潜入していた新選組隊士松山幾之助を斬殺し藩内に首を晒す
- 1864年8月8日-09:00|日本|茨城県下妻市|元治1年7月7日|<天狗党の乱>諸藩連合軍と筑波勢との間で戦闘が始まった/筑波勢は機先を制して下妻近くの多宝院で夜襲に成功し、士気の低い諸藩軍は敗走/水戸へ逃げ帰った諸生党は、筑波勢に加わっている者の一族の屋敷に放火し、家人を投獄・銃殺するなどの報復を行った
- 1864年8月8日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年7月7日|<就任>老中格「松前崇広」(~同年11月10日)
- 1864年8月8日-09:00|日本|北海道|元治1年7月7日|乙部から熊石までが松前藩(松前崇広)に戻される
- 1864年8月10日 05:00|ベルギー| |||<就任>ベルギー共和国閣僚評議会議長(首相)「ルネ・マニエール・アルコタス」(~10.14)
- 1864年8月10日-09:00|日本|茨城県下妻市|元治1年7月9日|筑波勢 追討軍を破る(下妻戦争)
- 1864年8月12日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元治1年7月11日|佐久間象山が京都三条木屋町で河上彦斎、来島三治郎らに暗殺される/54歳(誕生:文化8(1811)0228) 開国論
- 1864年8月13日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年7月12日|<解任>老中「井上正直」
- 1864年8月14日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<パート・ガスタイン協定締結>プロシヤはシュレスヴィヒを、オーストリアはホルシュタインを統治;プロシヤはオーストリアに賠償金を支払い、ザクセン=ラウエンブルクを統治;キール港をドイツ連邦の所有とし、プロシヤはその軍政・警察事務を管理;レンデスブルグ城はドイツ連邦の所有とし、プロシヤおよびオーストリアが守備兵を置く
- 1864年8月14日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元治1年7月13日|<死去>尊攘派志士をかくまっていたとして捕らえられていた池田屋主人の池田屋惣兵衛が六角獄舎で獄死
- 1864年8月15日 00:00|ポルトガル/アメリカ| |||アメリカ連合国クルザー「ジョージア」(1150t)ポルトガルにてアメリカ合衆国軍に拿捕、ホストンへ曳航
- 1864年8月15日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ホーケット級蒸気スクナー艦「クワニー」就役(1864年6月ジョン・A・ホー造船所で竣工)
- 1864年8月15日-09:00|日本|大阪府大阪市|元治1年7月14日|<死去>歌舞伎役者・二代目嵐璃かく
- 1864年8月16日 06:00|アメリカ| |||<ガードヒルの戦い(フロントロイヤルの戦い、シーターヒルの戦い)>/北軍ウェズリー・ミット准将の騎兵師団がシェナンドー川を渉っているリチャード・H・アンダーソンが指揮する南軍部隊を急襲し、約300名を捕虜にした/南軍は終結を図って前進し、徐々にミットの部隊をシーターヒルまで押し返しこの戦闘は決着が付かなかった
- 1864年8月17日-09:00|日本|東京都|元治1年7月16日|<死去>剣術家・男谷精一郎(67)直心影流男谷派/勝海舟の従兄弟
- 1864年8月19日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年7月18日|京都近郊に集結した長州藩軍勢4隊の内、福原越後隊・真木和泉隊が郊外から市内に向けて進軍を開始。福原越後隊は丹波橋付近で敗北
- 1864年8月20日-09:00|日本/アメリカ| ||元治1年7月19日|アメリカ船「コムング」(1863年、ワパで建造)を越前藩が購入し「黒龍丸」と改称
- 1864年8月20日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元治1年7月19日|<禁門の変>御所の西辺である京都蛤御門付近で長州藩兵と会津・桑名藩兵が衝突。一時福原隊と国司信濃・来島隊は筑前藩が守る中立売門を突破して京都御所内に侵入するも、乾門を守る薩摩藩兵が援軍に駆けつけると形勢が逆転して敗退し狙撃を受けた来島又兵衛は自決/堺町御門真木・久坂隊は開戦に遅れ、御所南方の堺町御門を攻めたが守る越前藩兵を破れず、久坂玄瑞(25)、寺島忠三郎らは朝廷への嘆願を要請するため侵入した鷹司邸で自害。入江九一は鷹司邸脱出時に越前藩士に発見され、槍で顔面を突かれて死亡/落ち延びる長州勢は長州藩屋敷に火を放ち逃走、会津勢も長州藩士の隠れているとされた中立売御門付近の家屋を攻撃した/主戦派であった真木和泉は敗残兵と共に17名で天王山に立て籠もった
- 1864年8月20日-09:00|日本|J. フロントリイキング|元治1年7月19日|蛤御門の変で「たかしまや」店舗消失、すぐに復興し営業再開
- 1864年8月20日-01:00|日本|京都府京都市|元治1年7月19日|<元治の大火、どんでん焼き>(~21日)敗れた長州軍は、辰の刻(五つ時:午前8時ごろ)自藩の京都藩邸に火を放ち敗走/幕府軍は、長州藩兵の隠れていそうな建物に火を放ち搜索/巳の下刻(四つ半時:午前11時ごろ)、蛤御門と中立売御門周辺の烏丸中立売辺りの建物から炎が立ちのぼり、次いで堺町御門周辺の堺町、丸太町辺りの建物から炎を上げるなど、北の烈風によって3か所の火勢は次々と拡大、京都中をなめ尽くした/焼失区域、東は鴨川辺りまで、西は堀川通り、南は七条通り、北は上長者町通りまで、8811町、町家はかまど数で2万7513戸、土蔵1307か所、宮門跡屋敷3か所、堂上方(公卿)屋敷18か所、諸家屋敷51か所、寺社253か所、芝居小屋2か所、髪結所132か所が焼失、21日酉の刻(暮六つ時:18時ごろ)鎮火
- 1864年8月21日-09:00|日本|京都府京都市中京区|元治1年7月20日|生野の変首謀者の平野国臣ら37人、禁門の変の最中に六角獄舎にて正規の刑執行を待たず幕吏により処刑される

1865迄 (2324件)

- 1864年8月22日-01:00|スイス| || |スイスのジュネーヴで「傷病者の状態改善に関する第1回赤十字条約」(1864年8月22日のジュネーヴ条約)が調印され、国際赤十字委員会が発足/ヨーロッパ16カ国
- 1864年8月22日-09:00|日本| || |元治1年7月21日|(19日~)〈どんどん焼け〉禁門の変の戦火で京都市内811町に渡る民家27511戸、土蔵1207棟、寺社253などが焼失
- 1864年8月22日-09:00|日本| |京都府乙訓郡大山崎町|元治1年7月21日|〈禁門の変〉天王山に残った真木和泉(52)から長州側17人小屋に立て籠もり火薬に火を放って爆死
- 1864年8月22日-09:00|日本| |群馬県高崎市|元治1年7月21日|〈陣屋移転〉上野矢田藩1万石「松平(鷹司)信発」⇒上野吉井藩1万石(⇒元治2(1865)年3月26日、隠居)
- 1864年8月23日-09:00|日本| || |元治1年7月22日|横浜鎖港談判遣欧使節、成果なく帰国
- 1864年8月24日-09:00|日本| |茨城県水戸市|元治1年7月23日|水戸藩内でクーデターが起こり、保守派が台頭/失脚した武田耕雲斎ら天狗党に加わる
- 1864年8月24日-09:00|日本| |東京都千代田区|元治1年7月23日|〈降格〉老中「諏訪忠誠」⇒老中格(〜慶応1年4月19日)
- 1864年8月25日-09:00|日本/フランス/オランダ/イギリス/アメリカ| || |元治1年7月24日|幕府が英・仏・米・蘭に、パリ協定の破棄を宣告
- 1864年8月25日-09:00|日本| |山口県|元治1年7月24日|幕府が長州追討の勅命を受けて西国21藩に出兵を命じる(第1次長州征伐)
- 1864年8月26日 06:00|アメリカ| || |〈就役〉アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ホートウクスト」(1173t, ホーツス海軍工廠で建造)
- 1864年8月26日-09:00|日本| |茨城県水戸市|元治1年7月25日|天狗党、水戸門閥派と戦闘し敗北
- 1864年8月29日 06:00|アメリカ| || |ミスフィールド・クロッシングの戦い(8月25日~)/南軍の2個師団がホークン・クリークを涉り、北軍騎兵隊をチャールズタウンまで追い返した
- 1864年8月31日 03:00|ブラジル| || |〈就任〉ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「フランスコ・セルフィルド」(〜18650512)
- 1864年9月-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| || |〈死去〉ヒヴァン国イラク朝ハン「サイト・ムハンマド」
- 1864年9月-03:00|サウジアラビア/トルコ| || |〈就任〉オスマン帝国ビジャース 総督「マフメド・ウエシヒ・パシャ」(〜1867年8月)
- 1864年9月1日-01:00|アルジェリア/フランス| || |〈就任〉フランス領アルジェリア総督「パトリス・モーリス・ド・マッケマホン」(〜18700727)
- 1864年9月1日 06:00|アメリカ| || |〈改名〉アメリカ海軍外輪戦闘艦「テネシー」(1275t)⇒「モビール」;アメリカ海軍物資輸送船「アドミラル」(1248t)⇒「フォート・モガン」
- 1864年9月1日 06:00|カナダ| || |連合カナダ植民地がシャーロットタウンで連邦結成会議を開く
- 1864年9月1日-09:00|日本/アメリカ| || |元治1年8月|アメリカ船「タキオン」(1861年建造)幕府が購入し「太江丸」と命名(1869年、米国艦籍に戻り「ハル・イ」と改称)
- 1864年9月1日-09:00|日本| |福井県越前市|元治1年8月|〈設立〉府中医学所思精館
- 1864年9月2日 06:00|アメリカ| || |南北戦争の西部戦線で、北軍のウィリアム・シャーマン将軍の軍がアトランタを占領
- 1864年9月3日 06:00|アメリカ| || |〈就役〉アメリカ海軍補給艦「ドネコール」(1150t; 18640606, モービル湾にてアメリカ合衆国海軍艦艇に拿捕⇒フィデルリア海軍工廠にて購入し、フィデルリア海軍工廠で補給艦に改装)
- 1864年9月3日 06:00|アメリカ| || |アメリカ海軍ホトマック級フリゲイト「フランデワイン」(1726t)海軍工廠ノフォークにて火災により沈没(⇒18670326, 引き揚げられノフォークのMaltby & Co. に売却)
- 1864年9月5日 04:00|日本/フランス/オランダ/イギリス/アメリカ| |山口県下関市|元治1年8月5日|〈下関戦争〉午後、四国連合艦隊は長府城山から前田・壇ノ浦にかけての長州砲台群に猛砲撃/長州藩兵も応戦し、前田砲台・州岬砲台・壇ノ浦砲台などが善戦するが火力の差が圧倒的であり、砲台は次々に粉碎、沈黙させられた/艦隊は砲撃支援の下で前田浜に陸戦隊を降ろし、砲台を占拠して砲を破壊
- 1864年9月6日-01:00|オーストリア| || |〈初演〉ヨゼフ・シュトラウス《ホル・マズル 女の心》
- 1864年9月6日 00:00|イギリス| || |〈死去〉3代クリヴランド公「ウィリアム・ゲイン」
- 1864年9月6日 00:00|イギリス| || |〈就任〉4代クリヴランド公「ハー・ホウレット」(〜18910821死去)
- 1864年9月6日 04:00|セントビンセント/イギリス| || |〈就任〉イギリス領セントビンセント副総督「ジョージ・パーカー」(〜1871年)
- 1864年9月6日-09:00|日本/フランス/オランダ/イギリス/アメリカ| |山口県下関市|元治1年8月6日|〈下関戦争〉壇ノ浦砲台を守備していた奇兵隊軍監山縣狂介は至近に投錨していた敵艦に砲撃して一時混乱に陥れるが、艦隊はすぐに態勢を立て直し、砲撃をしかけ陸戦隊を降ろし、砲台を占拠して砲を破壊するとともに、一部は下関市街を目指して内陸部へ進軍して長州藩兵と交戦
- 1864年9月7日-09:00|日本/フランス/オランダ/イギリス/アメリカ| |山口県下関市|元治1年8月7日|〈下関戦争〉艦隊は彦島の砲台群を集中攻撃し、陸戦隊を上陸させ砲60門を鹵獲
- 1864年9月8日-09:00|日本/フランス/オランダ/イギリス/アメリカ| |山口県下関市|元治1年8月8日|〈下関戦争〉下関の長州藩の砲台はことごとく破壊された/陸戦でも長州藩兵は旧式銃や槍弓矢しか持たず、新式のライフル銃を持つ連合軍を相手に敗退降伏/長州藩死者18人・負傷者29人、連合軍は死者12人・負傷者50人だった
- 1864年9月10日-05:00|ウズベキスタン/トルクメニスタン| || |〈即位〉ヒヴァン国イラク朝ハン「ムハンマド・ラヒム・バハドゥール」(〜1910.9死去)
- 1864年9月10日 06:00|アメリカ| || |アメリカ連合国クルーザー「アドヴァンス」(1300t)ウィルミントンにてアメリカ合衆国海軍艦艇に拿捕
- 1864年9月12日-09:00|日本| |茨城県水戸市|元治1年8月12日|水戸藩主徳川慶篤名代松平頼徳、執政市川三左衛門等入城を拒まれ、擾乱となるを憂えて、那珂港に向けて出発/市川派の兵、頼徳を阻む。頼徳、交戦して、磯浜に進み、水戸城兵と戦い、那珂湊に敗走させる/以後、那珂川を挟んで数日対戦
- 1864年9月13日 06:00|アメリカ| || |〈就役〉アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「タホーサ」(1173t)チャールズタウン海軍工廠⇒1869年、通報艦⇒1872年、アホリスにて海軍兵学校の練習艦⇒1875年、ホルティエにて通報艦
- 1864年9月13日-09:00|日本| |兵庫県神戸市兵庫区|元治1年8月13日|〈完成〉和田岬砲台

1865迄 (2324件)

- 1864年9月14日-09:00|日本/フランス/オランダ/イギリス/アメリカ| ||元治1年8月14日|長州藩、4ヶ国艦隊と講和/下関海峡の外国船の通航の自由、石炭・食物・水など外国船の必要品の売り渡し、悪天候時の船員の下関上陸の許可、下関砲台の撤去、賠償金300万ドルの支払いの5条件を受け入れて和睦
- 1864年9月15日-01:00|イタリア| ||イタリアとフランスが、イタリアの首都をトリノからフィレンツェに移す条約に調印
- 1864年9月15日 00:00|イギリス| ||<死去>3代カトガン伯「ジョージ・カトガン」
- 1864年9月15日 00:00|イギリス| ||<就任>4代カトガン伯「ヘンリー・チャールズ・カトガン」(~18730608死去)
- 1864年9月16日-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Ramon Maria Narvaez」穏和党(~18650621)
- 1864年9月16日 00:00|イギリス| ||<ゴルフ>第5回全英オープン選手権優勝:トム・モリス・シニア(3回目)(スコットランド/167)
- 1864年9月16日-09:00|日本|茨城県|元治1年8月16日|払暁、水戸藩主徳川慶篤名代松平頼徳の麾下武田耕雲斎等、那珂湊の市川派の兵を襲撃/元水戸藩士藤田小四郎等も、藩要路を退けるため、耕雲斎らを応援/市川派の兵、水戸に潰走
- 1864年9月16日-09:00|日本|愛媛県大洲市|元治1年8月16日|<死去>伊予大洲藩5万石「加藤泰社」21歳⇒11月26日、弟「加藤泰秋」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1864年9月18日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年8月18日|<就任>老中「松平宗秀」(~慶応2年7月25日)
- 1864年9月18日-09:00|日本|山形県鶴岡市|元治1年8月18日|<加増>出羽庄内藩14万石「酒井忠篤」+27000石⇒16万7000石(⇒明治元(1868)年12月7日、新政府に反逆したとして改易)
- 1864年9月19日 06:00|アメリカ| ||オヘア川の戦い(第三次ウィンチェスターの戦い)/南北戦争の終盤、1864年のバレー方面作戦の一部としてバレー州ウィンチェスターで行われた戦闘/南軍のジュバル・アーリー中將軍がウエストバレー州マーティンズバーグでポルティマア・アント・ハイ鉄道を襲撃したので、北軍のフィリップ・シェリダン少将は第6軍団と第19軍団を伴い、ベリビル・パイクを通してウィンチェスターに向けて進軍し、オヘア川を越えた/戦いは数時間続き両軍の損失は大きかった/南軍の前線は次第にウィンチェスターの町の方向に後退させられ午後半ばにアーリーは総退却を命じた
- 1864年9月20日-09:00|日本|栃木県那須烏山市|元治1年8月20日|<死去>下野烏山藩3万石「大久保忠美」⇒長男「大久保忠順」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1864年9月21日-01:00|イタリア| ||トリノで、首都移転に反対する暴動が起こる
- 1864年9月22日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍カニカス級モニター「マホック」(2100t, Zeno Secor & Co. で建造)
- 1864年9月22日 06:00|アメリカ| ||フィッシャーズヒルの戦い(9月21日~)/シェリダンが早朝にアーリーの側面を攻撃し、南軍に少なからぬ損失を与えて敗走させアーリーはバレー州ウエイズボロまで撤退
- 1864年9月28日-01:00|イタリア| ||<就任>イタリア王国首相(閣僚評議会議長)「アルフォンソ・フェレロ・デッラ・マルモラ」(~18660617)
- 1864年9月28日 06:00|アメリカ| ||米国海軍の蒸気フリゲート「USSタイガ」(2代目)」退役(1885年5月6日売却)
- 1864年9月28日-09:00|日本|北海道根室市|元治1年8月28日|大野丸、根室沖で座礁して沈没
- 1864年9月29日-09:00|日本|茨城県ひたちなか市|元治1年8月29日|<天狗党の乱>大発勢は再び那珂湊へ後退
- 1864年9月30日 06:00|アメリカ| ||<南北戦争>チャフィン農園の戦い>(29日~)バレー州で北軍勝利
- 1864年10月-02:00|キプロス/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督代行「キプリス・マフメド・カミル・パシャ」(2回目~11月)
- 1864年10月-02:00|ブルガリア/トルコ| ||<就任>オスマン帝国ツァ(ドナウ)・ワリス(総督)「ハフィズ・アフメド・ミドハット・シェフィク・パシャ」(~1868年3月)
- 1864年10月-01:00|フランス/メキシコ| ||ユカタン州南部の市パリサタの町でフランス軍と市民との戦い。市民の約半数が戦死するが、多くの犠牲を出したフランス軍はビジャルモッサへの進軍を断念
- 1864年10月 00:00|セネガル| ||<就任>フタト・ロ統治者統治者(アルマニ)「アトウ・フェルノ・テンバ・リ」(2回目~1865年8月)
- 1864年10月1日-09:30|オーストラリア| ||『アガス』紙の所有者、地方の週刊紙として『オーストラリアン』を創刊
- 1864年10月1日-05:30|インド| ||サイクロンがカルカッタを襲う(死者7万名)
- 1864年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「パラメデ・マルベリ」「パスクアレ・マルクッチ」
- 1864年10月1日-09:00|日本| ||元治1年9月1日|幕府参勤交替制の復活を発令
- 1864年10月4日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍モットノック級モニター「モットノック」(3295t, チャールズ・タウン海軍工廠で建造)
- 1864年10月5日 00:00|イギリス| ||ロンドンの国際労働者集会で、マルクスとエンゲルスにより、国際労働者協会(第1インターナショナル)が創立される
- 1864年10月5日-09:00|日本|高知県安芸郡奈半利町|元治1年9月5日|土佐野根山に屯集した尊王攘夷派藩士23人が奈半利川原にて処刑される
- 1864年10月6日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年9月6日|新選組隊士・葛山武八郎、近藤勇と対立し切腹
- 1864年10月7日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|元治1年9月7日|水戸兵、筑波の義兵と常陸の額田村に戦って利あらず敗走
- 1864年10月7日-04:00|ロシア/中国| ||清・同治3年9月7日;ロシア暦9月25日|清朝とロシアがトルパガタイ議定書を交換し、東西国境を定める
- 1864年10月9日 06:00|アメリカ| ||トマス・ブルックの戦い/アーリーがシェリダンの追撃を始めたときに、北軍騎兵隊は南軍騎兵の2個師団を殲滅
- 1864年10月9日-09:00|日本|茨城県日立市|元治1年9月9日|<天狗党の乱>山野辺義芸は居城の助川海防城落城/その後、今度は筑波勢の田中隊が助川海防城を奪還して籠城
- 1864年10月10日 04:00|ドミニカ共和国| ||<死去>ドミニカ共和国大統領「ホセ・アントニオ・サルト・ラミス」
- 1864年10月10日 04:00|ドミニカ共和国| ||<就任>ドミニカ共和国大統領(暫定政府大統領)「カスパー・ホランコ・イ・ホルボン」(~18650123)
- 1864年10月11日 10:00|ポリアニア| ||<就任>フランス領ポリアニア司令官兼ツイン諸島帝国弁務官「ロジエール伯Emile Francois Guillaume Clement」(~1869年)

1865迄 (2324件)

- 1864年10月13日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>ガリア知事代理「Karl Ritter von Mosch」(2期目~11月)
- 1864年10月14日 05:00|ペル| |||<就任>ペル共和国閣僚評議会議長(首相)「セ・アジエン」(1回目~18650403)
- 1864年10月17日-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<就任>ビアラ湾英国領事代理「チャールズ・Livingstone」(⇒1867年、ベニン湾英国領事~1873年死去)
- 1864年10月17日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領「シヨセフ・レナード・カランチャ」(~18650309)
- 1864年10月18日 00:00|イギリス| |||<死去>5代ニューカッスル=アングレーブ=ライン公・12代リンカン伯「ヘンリー・ペラム・ファインズ・ペラム=クリントン」
- 1864年10月18日 00:00|イギリス| |||<就任>6代ニューカッスル=アングレーブ=ライン公・13代リンカン伯「ヘンリー・ペラム・アレクザンダー・ペラム=クリントン」5代公の長男(~18790222死去)
- 1864年10月19日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ連合国防艦「シエナドール」(1160t;イギリスにて蒸気推進輸送船Sea Kingを購入⇒南北戦争後に商船に改装)
- 1864年10月19日 06:00|アメリカ| |||シダー-クリクの戦い/南北戦争の1864年のバレー方面作戦でバージニア州フレデリック郡、シエナドール郡およびウォレン郡で起こった戦闘/南軍ジュバル・アーリー中將が率いる最後の北部侵略軍が実質的に崩壊
- 1864年10月22日-01:00|フランス/オランダ/イギリス/日本/アメリカ| ||元治1年9月22日|幕府が、英・米・仏・蘭4国との下関事件賠償に関する約定に調印する(償金300万両支払または瀬戸内海1港の開港)
- 1864年10月23日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>ウェストポートの戦い>ミズーリ州カンザスシティで北軍が決定的勝利
- 1864年10月25日-01:00|デンマーク/アメリカ| |||「ストーンウォール」アルマン・ブラザース社ボルト=造船所で竣工、デンマーク海軍「スターゲル」として就役(アメリカが購入し「ストーンウォール」と改称)
- 1864年10月26日-09:00|日本|茨城県日立市|元治1年9月26日|<天狗党の乱>田中隊が籠る助川海防城幕府軍の攻撃を受けて陥落/敗走した田中隊は、最終的に棚倉藩を中心とする軍勢に八溝山で討伐され、そのほとんどが捕われて処刑された
- 1864年10月26日-09:00|日本|京都府京都市|元治1年9月26日|新選組長州の間者、楠小十郎、御倉伊勢武、荒木田左馬之亮を斬殺
- 1864年10月26日-09:00|日本|山口県山口市|元治1年9月26日|長州藩士・周布政之助(42歳)切腹
- 1864年10月27日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島市民知事「Ramon Fernandez de Zendera」(~18650522)
- 1864年10月28日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍外輪戦闘艦「アドヴァンス」(1300t;18640910、ウイムントンにてアメリカ合衆国海軍艦船に拿捕、ニューヨーク海軍工廠で大型外輪戦闘艦「アドヴァンス」に改装)
- 1864年10月28日-09:00|日本|大阪府大阪市|元治1年9月28日|<死去>三代目・嵐吉三郎
- 1864年10月30日-01:00|デンマーク/オーストリア/ドイツ| |||ウィーンで、デンマークがプロシエン・オーストリアと講和条約を締結、シュレースヴィヒ公国がオーストリアに割譲(18660823からプロシエンへ)、ホルシュタイン公国・ラウエンブルク公国はプロシエンに売却された
- 1864年10月31日 06:00|アメリカ| |||<加盟>ネバダ準州とアリゾナ準州の一部、さらにユタ準州も加え⇒アメリカ合衆国ネバダ州(36番目)
- 1864年10月31日-09:00|日本|千葉県館山市|元治1年10月|<拝領>安房船形藩1万石「平岡道弘」藤沢宮内の子(⇒慶応4(1868)年7月、領地返還)
- 1864年10月31日-09:00|日本|東京都墨田区|元治1年10月|<大相撲>元治1年10月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西大関(横綱))不知火,7勝0敗1分1預1休
- 1864年10月31日 00:00|イギリス/日本|和歌山県和歌山市|元治1年10月|イギリス船「ハーマ」(1863年、Pierce & Lockwood, Stockton, England建造進水)イギリス商人トマス・グラーブを通じ紀州藩に売却、「明光丸」と改名
- 1864年11月-02:00|キプロス/トルコ| |||<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督「タイフ・パシヤ」(~1865年)
- 1864年11月1日-02:00|ギリシャ| |||ギリシャで新憲法が議決される
- 1864年11月4日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ウィリアム・ジョン・Ridley」(~30日)
- 1864年11月4日-09:00|日本|茨城県笠間市|元治1年10月5日|<改易>常陸宍戸藩1万石「松平頼徳」宗家と争乱/筑波勢との野合の責任を問われ切腹
- 1864年11月4日-09:00|日本|茨城県笠間市|元治1年10月5日|<天狗党の乱>常陸宍戸藩1万石「松平頼徳」の家臣ら1000人余りが投降/このとき降伏した榊原ら43名は後に佐倉藩や古河藩などに預けられ、数ヶ月後に切腹ないし処刑された
- 1864年11月8日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副卿「ウオードハウス男爵」((18660601からキンバリー伯爵)ジョン・ウオードハウス)(~18660620)
- 1864年11月8日 06:00|アメリカ| |||アメリカ大統領選挙、リンカン大統領再選
- 1864年11月11日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モーター「ディケーター」(4438t, C. H. Delamater Iron Worksで建造)
- 1864年11月12日 03:00|ブラジル/パラグアイ| |||パラグアイ、ブラジルと断交/パラグアイ軍6500がブラジル領マトロソ南部に侵入
- 1864年11月12日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年10月13日|<就任>老中「本多忠民」(~慶応1年12月19日)
- 1864年11月12日-09:00|日本|長崎県対馬市|元治1年10月13日|<廃止>「対馬藩校日新館」
- 1864年11月15日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス領マルタ総督「ヘンリー・ナイト・ストークス」(~18670515)
- 1864年11月15日-09:00|日本|茨城県水戸市|元治1年10月16日|幕府、筑波の叛(天狗党の乱)の罪を問い水戸家家老鳥居忠順、大久保忠貞など49名を斬る
- 1864年11月17日-09:00|日本|茨城県|元治1年10月18日|幕府軍、筑波勢と再び戦い敗る
- 1864年11月21日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|元治1年10月22日|鎌倉見物中の英国士官ボールドウィン、ハード両名が浪人・清水清次と間宮一に斬殺される(鎌倉事件)
- 1864年11月22日-09:00|日本|茨城県ひたちなか市|元治1年10月23日|那珂湊の天狗党壊滅/筑波勢、潮来勢、武田

1865迄 (2324件)

勢逃走

- 1864年11月23日-05:30|インド | |||<就任>ホ 国統治者(ヲ)「ハミルンジ 1世グ ラフ シンジ」(~18891024没)
- 1864年11月24日-12:00|ニュージーランド | |||<就任>ニュージーランド 首相「フレデリック・アロイクス・ウェルト」(~18651016)
- 1864年11月26日-09:00|日本|群馬県館林市|元治1年10月27日|<交替>上野館林藩6万石「秋元志朝」隠居⇒養子「秋元礼朝」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月2日、賞典禄1万石を加増され7万石)
- 1864年11月29日-02:00|ウクライナ/ロシア | |||<就任>ガ リシア知事「Franz Xaver Maria Aloys Freiherr von Paumgartten」(~18660926死去)
- 1864年11月29日 06:00|アメリカ | |||インディアン戦争:サント クリークの虐殺/米軍が無抵抗のシャイアン族とアラパホ族インディアン450人を虐殺
- 1864年11月29日-09:00|日本|神奈川県横浜市|元治1年11月|<開場>リスレー、アンフィアター(横浜居留地102番, →翌年ロイヤルパティオ劇場に改称)
- 1864年11月30日-01:00|マルタ/イギリス | |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督「ヘンリー・Knight Storks卿」(~18670515)
- 1864年11月30日 06:00|アメリカ | |||第二次フランクリンの戦い(フランクリンの戦い)/南北戦争のフランクリン・ナッシュビル方面作戦の一部としてテネシー州フランクリンで行われた戦闘/南軍にとってはこの戦争最大級の惨事となった/北軍のジョン・マリスター・スコフィールド少将が指揮するカイヤ軍は戦闘の後で戦場を離れたが、南軍は北軍の防御陣に対する正面攻撃を行って失敗した結果、6人の将官が戦死または致命傷を負った
- 1864年12月-04:00|ロシア | |||ロシアで司法制度を改革
- 1864年12月-01:00|アルバニア/トルコ | |||<就任>イシュコラのワリス「ディヴ イチ・イスマイル・ハッキ・パシヤ」(~1868年5月)
- 1864年12月1日-09:00|日本|大阪府大阪市|元治1年11月3日|幕府、京都敗走潜伏の長州藩士市川孫七「寿列」等七人を斬り、大阪千日に梟首
- 1864年12月2日-09:00|日本|山口県|元治1年11月4日|<改名>長州藩13代藩主「毛利慶親」⇒「毛利敬親」
- 1864年12月3日-09:00|日本/フランス/オランダ/イギリス/アメリカ | |||元治1年11月5日|4ヶ国代表、横浜・長崎・箱館3港における外人居留地配分規則協定を締結
- 1864年12月4日 06:00|アメリカ | |||<就役>アメリカ海軍カスコ級モニター「カスコ」(1175t, アトランティック鉄工所で建造)
- 1864年12月5日 00:00|イギリス | |||<死去>カライル伯「ジョージ・ウィリアム・フレデリック・ハワード」
- 1864年12月5日 00:00|イギリス | |||<就任>カライル伯「ウィリアム・ジョージ・ハワード」先代の弟(~18890329死去)
- 1864年12月7日 00:00|カナダ/オランダ | |||<就任>オランダ領ゴールドコースト総督「ヘンリー・アレクサンダー・エリクス」(2回目~18650504)
- 1864年12月7日 06:00|アメリカ | |||(5~)第三次マーンズバウの戦い/南北戦争のフランクリン・ナッシュビル方面作戦の一部としてテネシー州ザフォード郡で行われた戦闘/南軍部隊壊走
- 1864年12月8日-01:00|ドイツ | |||ドイツの物理学者マクスウェルは「電磁場の力学」という論文を発表、光は電磁波の波動であると結論
- 1864年12月8日 00:00|イギリス | |||<死去>イギリスの数学者・論理学者ブール/49歳(誕生18151102)
- 1864年12月8日-09:00|日本|東京都千代田区|元治1年11月10日|<昇格>老中格「松前崇広」→老中(~慶応1年10月1日)
- 1864年12月8日-09:00|日本|兵庫県神戸市|元治1年11月10日|幕府に兵庫奉行を置く
- 1864年12月9日 05:00|バハマ/イギリス | |||<就任>バハマ植民地総督「ローソン・ウィリアム・ローソン」(~18690111)
- 1864年12月9日 06:00|アメリカ | |||アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「オツイゴ」(1173t, Jacob A. & D. D. Westervelt)Rainbow Bluffの岬ノク川にて雷撃により沈没
- 1864年12月9日-09:00|日本|山口県|元治1年11月11日|長州藩が幕府に降伏/長州藩永代家老・益田親施が責任を取る形で切腹
- 1864年12月10日-09:00|日本|山形県|元治1年11月12日|長州藩永代家老「福原元圃」54歳、切腹/長州藩家老「国司信濃」24歳、切腹/四参謀、野山獄で斬首
- 1864年12月12日-06:00|ブータン/インド | |||インド でブータン戦争が始まる
- 1864年12月13日-09:00|日本|山口県|元治1年11月15日|長州藩に亡命していた天誅組の変の首領の公卿中山忠光暗殺される
- 1864年12月14日-03:00|マヨット/フランス | |||<就任>フランス保護領マヨット総監「ジョセフ・ヴァンセント・クリスティアン・コロンブス」(1回目~18680708)
- 1864年12月14日-09:00|日本|群馬県甘楽郡下仁田町|元治1年11月16日|<下仁田戦争>上州下仁田において、天狗党は追撃して来た高崎藩兵200人と交戦し激戦の末、天狗党死者4人、高崎藩兵は死者36人を出して敗走
- 1864年12月16日 06:00|アメリカ | |||南北戦争(15日~)ナッシュビルでの戦い/南軍全線を壊滅させフット 軍は崩壊
- 1864年12月16日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|元治1年11月18日|<死去>陸奥棚倉藩6万石「松平康泰」⇒20日、養子「松平康英」が継ぐ(⇒翌年10月15日、2万石加増され8万石)
- 1864年12月16日-09:00|日本|山口県萩市|元治1年11月18日|長州藩主父子萩城を出、天樹院に入り蟄居
- 1864年12月17日-09:00|日本|北海道|元治1年11月19日|乙部~熊石の8ヵ村、松前藩へ還付
- 1864年12月18日-09:00|日本|長野県小県郡長和町|元治1年11月20日|<和田峠の戦い>天狗党は信州諏訪湖近くの和田峠において高島藩・松本藩兵と交戦し、双方とも10人前後の死者を出したが天狗党が勝利
- 1864年12月19日-09:00|日本/イギリス/アメリカ/フランス/オランダ | |||神奈川県横浜市|元治1年11月21日|外国奉行ら英米仏蘭と横浜居留地覚書21ヶ条に調印
- 1864年12月22日 06:00|アメリカ | |||南北戦争:米北軍シャーマン将軍、サガナを占領
- 1864年12月24日-05:30|インド/ポルトガル | |||<就任>ポルトガル領インド 総督「ホセ・フェレイラ・ペスターナ」(2度目~18700507)
- 1864年12月24日-02:00|南アフリカ/イギリス | |||<就任>イギリス王領カラリア副知事「ロバート・グラハム」(~18660417)

1865迄 (2324件)

- 1864年12月26日-09:00|日本|高知県高知市|元治1年11月28日|土佐尊皇攘夷藩士田中衛吉、獄内で自殺
1864年12月27日-09:00|日本|神奈川県横浜市西区|元治1年11月29日|鎌倉事件の主犯・清水清次が暗闇坂刑場で斬首される
1864年12月28日 04:00|ボリビア| ||<就任>ボリビア共和国大統領「マヌエル・マリア・ノ・ムカレ」(18700815まで暫定~18710115)
1864年12月30日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「レヒ」(1173t, Edward Luptonで建造)
1864年12月30日-09:00|日本|東京都八丈町|元治1年12月2日|幕府商船「長崎丸一番」八丈島沖で沈没
1864年12月31日-02:00|南アフリカ/イギリス| ||<就任>イギリス領ナタール植民地特別委員「ジョン・マクリン」(~18650726)
1865年-08:00|フィリピン| ||<即位>ブヤンダルサラム・スルタン「Anwaruddin Uto」(~1899年)
1865年-07:00|タイ| ||<就任>ソクラエ知事(ブヤウイアンキリ)「メン・ナ・ソクラ」(~1884年)
1865年-05:30|インド| ||<死去>カティワラ国統治者(ターケル)「ゾラウル・シン」
1865年-05:30|インド| ||<就任>カティワラ国統治者(ターケル)「ハハトウル・シン」(~1903年)
1865年-05:30|インド| ||<就任>ジャヨ国統治者(テュワン)「シャトルジット・シン」(~1869年)
1865年-05:30|インド| ||<就任>ジャムナ・カシミール州首席大臣(テワン)「キルパ・ラム」(~1876年没)
1865年-05:30|インド| ||<就任>ナガオン国支配者(マハント)「ガーシ・ダス」(~1883年11月没)
1865年-05:30|インド| ||<就任>ハルデオ国統治者(ショーベ)「ムクント・シン」(~18740402没)
1865年-05:30|インド| ||<就任>マソール国統治者(ラ)「ラソジット・シン」(~1901年没)
1865年-05:30|インド| ||<就任>ラ国統治者(ターケル)「テイヤット・シン」(~1892年没)
1865年-05:30|インド| ||<即位>オカ国マハラジャ「ハミル・シン」(~18740315)
1865年-05:00|キルギス| ||<就任>アイ・キルギス統治者「カルマン・ヤン」(~1876年8月)
1865年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>アフガニスタン対立大王(カンダハール)「シル・アリ・カーン」(1回目~1867年1月)
1865年-03:00|スーダン/エジプト| ||<就任>エジプト領スーダン総督代行「ウマル・ファクリ・ベイ」(~11月)
1865年-03:00|エリトリア/エジプト| ||エジプトが紅海州(またはミソ州)としてエリトリア支配(名目上はオスマン帝国の一部) (~1882年12月)
1865年-03:00|スーダン/エジプト| ||スーダンと紅海沿岸がエジプトのスーダンに併合
1865年-02:00|キプロス/トルコ| ||<就任>オスマン帝国領キプロス地区総督「アハメト・ラティフ」(~1866年)
1865年-02:00|シリア/アラブ/トルコ| ||<就任>デリズール地区総督「Khalil Bey」(~1866年)
1865年-02:00|ジンバブエ| ||<就任>マリ統治者(マンボ)「チグイ3世マリ・ド」(~1879年10月)
1865年-02:00|モザンビーク| ||<就任>マニカ統治者(マンボ)「ムタサ・ムンベ」(~1870年)
1865年-02:00|ジンバブエ| ||<就任>マングウェ統治者(マンボ)「マコニ2世ムルコ」(~1889年)
1865年-02:00|モザンビーク/ポルトガル| ||<即位>モザンビーク州総督代行「アントニオ・デ・スザ・テイシェイラ」(~同年)
1865年-02:00|コンゴ 民主共和国| ||<即位>ルバ王国ムロウエ「キタンバ」(~1869年没)
1865年-01:00|ガボン| ||<就任>オルング王国支配者「ヌチケ」(~1882年)
1865年-01:00|スペイン| ||<就任>スペイン領セウタ総督(北アフリカ総司令部総督)「Ramon Gomez y Pulido」(2期目~1866年)
1865年-01:00|ニジェール| ||<就任>ドゥツ支配者(ザルマキヨイ)「アブドゥ」(~1890年)
1865年-01:00|ドイツ| ||<即位>ザクセン＝ラウエンブルク公「ヴィルヘルム1世」プロシエン王(1871年よりドイツ皇帝~1876年)
1865年-01:00|ニジェール| ||<即位>ソンガイ帝国国王(アスカ)「ワンコイ」(~1868年)
1865年 00:00|シエラレオネ| ||<死去>モリア統治者(アルマニ)「フォディ・ワイス」
1865年 00:00|コートジボワール/フランス| ||<就任>アシニー(ジョイングイル砦)民間司令官「アントワヌ・マリウス・エメ・ドゥー」(~1866年)
1865年 00:00|トゴ| ||<就任>カブ統治者(オホテ)「ジャリリア」(~1880年頃)
1865年 00:00|トゴ| ||<就任>コトコリ統治者(オロエツ)「クラ」(~1885年頃)
1865年 00:00|シエラレオネ| ||<就任>モリア統治者(アルマニ)「マリキ」(~1866年)
1865年 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>イギリス領ヴァージン諸島大統領「アーサー・Carlos ヘンリー・Rumbold卿」(~18690612死去)
1865年 04:00|セントクリストファー・ネイビス| ||<就任>ネイビス大統領代行「ウォルター・メイト」(~1866年没)
1865年 04:00|英領ヴァージン諸島/イギリス| ||<就任>バージン諸島主席「Sir Arthur Carlos Henry Rumbold」(~18690612死去)
1865年1月 03:00|ブラジル/パラグアイ| ||パラグアイ軍、ミオススを通りしてブラジル領南リオグランデ州に侵入
1865年1月 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ連合軍海軍ストーンウォール級砲郭装甲艦「ストーンウォール」(1390t⇒ハヴァナにて終戦、アメリカ合衆国に編入)
1865年1月1日-01:00|スイス| ||<就任>スイス連邦大統領「ヨハン・カール・エマニュエル・シェンク」Rad(1期目~12.31)
1865年1月1日-01:00|フランス| ||フランスの作家ベルヌが「地球から月へ」刊、元祖SF小説
1865年1月1日 06:00|アメリカ| ||アメリカ海軍フリゲイト「サン・ジャン」(2150t)Great Abaco Island近海にて難破
1865年1月1日 08:00|ヒトケアン諸島/イギリス| ||<就任>イギリス領ヒトケアン諸島主任判事「Moses Young」(1期目~18661231)
1865年1月1日-09:00|日本| ||元治1年12月4日|湯銭・髪結銭の引き下げ令が出される
1865年1月2日-09:00|日本|山口県|元治1年12月5日|<第一次長州征討>長州藩より総督府へ藩主父子からの謝罪文書が提出され第一次長州戦争終結
1865年1月4日-04:00|レニオン/フランス| ||<就任>レニオン知事「Marie Jules Dupre」(~18690923)
1865年1月5日 04:00|トミカ国/イギリス| ||<就任>イギリス領トミカ副総督代行「ウィリアム・クリーパー・フランス・ド・ソソ」(~10.18)

1865迄 (2324件)

- 1865年1月5日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モスコ級外輪砲艦「マスケター」(1370t, コンチネンタル鉄工所で建造)
- 1865年1月5日-09:00|日本|山口県下関市|元治1年12月8日|尊攘派公卿・中山忠光が長州藩俗論党に暗殺される
- 1865年1月12日-09:00|日本|東京都|元治1年12月15日|<死去>浮世絵師三代目・歌川豊國(79歳、元祖豊國の門人、始めは一雄斎国貞、又五渡亭、香蝶楼、梅戸など称す)
- 1865年1月12日 10:00|日本|山口県下関市|元治1年12月15日|夜、高杉晋作、遊撃隊を率いて功山寺で挙兵
- 1865年1月13日-04:00|ロシア| |||<就任>全ロシア閣僚委員会委員長「キャズのパウエル・パヴロヴィッチ・ガガーリン」(~18720304)
- 1865年1月13日-09:00|日本|石川県金沢市|元治1年12月16日|水戸藩の天狗党が加賀藩に降伏
- 1865年1月13日-09:00|日本|山口県下関市|元治1年12月16日|高杉晋作・伊藤俊輔ら率いる力士隊が下関奉行所・三田尻海軍局を無血奪取し軍艦三隻を奪い馬関占領
- 1865年1月14日-09:00|日本|千葉県館山市|元治1年12月17日|<交替>安房館山藩1万石「稲葉正巳」隠居⇒養子「稲葉正善」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1865年1月14日-09:00|日本|福井県敦賀市|元治1年12月17日|筑波山で挙兵した水戸藩尊攘急進派・天狗党が追討軍に追われて敦賀で降伏
- 1865年1月15日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:第二次フィッシャー砦の戦い/ノースカロライナ州ウイミントン郊外フィッシャー砦に対して、北軍の陸軍と海軍が合同で行った攻撃である。フィッシャー砦は「南部のジブラルタル」と言われることもある南軍最後の主要海岸拠点であり、南北戦争を通じて莫大な戦略的価値があった北軍の勝利
- 1865年1月15日-09:00|日本|岡山県倉敷市|元治1年12月18日|備中倉敷の豪商下津井屋吉左衛門、米の買い占めをしたとして奇兵隊士立石孫一郎に殺害される
- 1865年1月16日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍パセイク級モニター「パタースコ」(1335t)チャールストン川にて雷撃により沈没
- 1865年1月16日-09:00|日本|山口県萩市|元治1年12月19日|長州俗論党、野山獄の前田孫右衛門ら正義派7名を死罪に処す
- 1865年1月18日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの製鉄技術者ニールソン/72歳(誕生17920622)
- 1865年1月20日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カスコ級モニター「アキラ」(1175t, Aquila Adamsで建造)
- 1865年1月20日-09:00|日本|愛知県碧南市|元治1年12月23日|<立藩>三河西端藩10500石「本多忠寛」(⇒慶応3(1867)年5月20日、隠居)
- 1865年1月21日-09:00|日本|長野県飯田市|元治1年12月24日|<減封>信濃飯田藩17000石「堀親義」甲府城守備を放棄した勤役懈怠により⇒15000石(⇒慶応4(1868)年3月7日、隠居)
- 1865年1月23日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国大統領(人民と陸軍の意志によって一時的に行政権を担当する最高司令官)「ペドロ・アントニオ・ヒメンタル・チャモロ・ベニート・モンシオン・デ・ユラン/フエテリコ・デ・ベス・ガルス・イ・デ・ラ・クルス」(~24日)
- 1865年1月23日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モスコ級外輪砲艦「スニー」(1370t, Reaney, Son & Archboldで建造)
- 1865年1月24日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国大統領「ベニート・フイロメ・デ・ロハス・イ・ラマス」(2.27まで上級行政議会議長、その後主権国民会議議長~3.24)
- 1865年1月24日-09:00|日本|山口県|元治1年12月27日|幕府征長軍、撤兵
- 1865年1月26日 06:00|アメリカ| |||<改装>アメリカ海軍カスコ級モニター「アキラ」(1175t)ニューヨークにて水雷艇に
- 1865年1月26日-09:00|日本|長崎県長崎市|元治1年12月29日|長崎に現存する日本最古のキリスト教建築物「大浦天主堂」完成(国宝、世界文化遺産)
- 1865年1月28日-09:00|日本|山口県下関市|元治2年1月2日|長州藩士高杉晋作遊撃隊を率いて、下関新地の会所を占拠
- 1865年1月31日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<死去>キエフ軍総督・キエフ県民事最高責任者兼ボジニャーヴォルィニ総督「Nikolay Nikolayevich Annenkov」
- 1865年1月31日-02:00|ウクライナ/ロシア| |||<就任>キエフボジニャーヴォルィニ総督「Aleksandr Pavlovich Bezak」(~18690128死去)
- 1865年1月31日-09:00|日本|山口県|元治2年1月5日|山県狂介以下奇兵隊、絵堂を夜襲し俗論党軍は大半が逃亡
- 1865年2月-03:00|エリトリア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国マツラ総督「アブドラ・ハリル・エフエンディ」(~10月)
- 1865年2月1日 06:00|アメリカ| |||リットン大統領が米国憲法修正第13条に署名/奴隷制全廃へ
- 1865年2月2日-09:00|日本|山口県山口市|元治2年1月7日|高杉に呼応した太田市之進らの率いる御楯隊が小郡を占領し、山口へ進軍
- 1865年2月3日-09:30|オーストラリア| |||<就任>ニューサウスウェールズ植民地政府首相「チャールズ・クーパー」無所属(~18660121)
- 1865年2月3日-05:30|インド| |||<就任>サマルタラ国ラジャ「チャタル・シン」(~18960616没)
- 1865年2月3日-09:00|日本|大阪府大阪市|元治2年1月8日|谷三十郎・万太郎兄弟ら、大坂のぜんざい屋石蔵屋で土佐脱藩士を襲撃し、大坂焼き討ちを未然に防ぐ/土佐脱藩浪士、大利鼎吉(24歳)闘死
- 1865年2月5日-09:00|日本|山口県|元治2年1月10日|討伐軍は本道を攻めつつ、主力を川上口にまわした。奇兵隊の指揮官だった三好重臣(軍太郎)は敵の急襲に支えられず退却したが、本営の金麗社にいた山縣は狙撃隊をつれてV路上の真ん中にある竹藪の中を進み、左翼より敵を狙撃させ、奇兵隊の別隊長である湯浅祥之助の隊を横撃させた湯浅隊は大田街道右側の小山を駆け下りて敵の側面より攻撃し撃退
- 1865年2月6日-09:00|日本|鹿児島県いちき串木野市|元治2年1月11日|薩摩藩、五代友厚らを監督とする英留学生15名、鹿児島を出発し羽島港で待機
- 1865年2月6日-09:00|日本|東京都千代田区|元治2年1月11日|<死去>狂歌師、梅の屋秣翁(62歳)
- 1865年2月7日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ルーマニア公国閣僚会議議長(首相)「コンスタンチン・アントレイ・ボシアヌ」(~6.26)

1865迄 (2324件)

- 1865年2月7日-09:00|日本|山口県山口市|元治2年1月12日|奇兵隊、山口旧政事堂を占領
- 1865年2月8日-01:00|オーストリア| ||メンデルが[遺伝の法則]発表
- 1865年2月9日-09:00|日本|山口県|元治2年1月14日|高杉新作率いる奇兵隊は本道の香水峠で午前10時より午後2時まで戦った末に長州俗論党軍を撃退
- 1865年2月9日-09:00|日本|山口県周南市|元治2年1月14日|徳山藩士「浅見安之丞」「本城清」「信田作太夫」共に新宮の浜で暗殺される
- 1865年2月10日-01:00|ドイツ| ||<死去>ハインリッヒ・ルンツ、物理学者(生年1804年)
- 1865年2月11日-09:00|日本|山口県美祢市|元治2年1月16日|高杉晋作、山県狂介の奇兵隊と協力して赤村の粟屋隊を駆逐
- 1865年2月12日 00:00|イギリス| ||<死去>4代ノサンパ-ラント公・ハ-シー伯「アルジャーノン・ハ-シー」
- 1865年2月12日 00:00|イギリス| ||<就任>5代ノサンパ-ラント公「ジョージ・ハ-シー」先代の従兄弟、ハ-シー伯・ヒバリー伯(~18670822死去)
- 1865年2月15日 03:00|ウルクアイ| ||<就任>ウルクアイ東方共和国大統領代理「トマス・ヒンツェル」コロト党(~20日)
- 1865年2月18日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合国砲郭装甲艦「チャールストン」(1050t)チャールストンにてアメリカ合衆国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1865年2月18日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連合国コロンビア級砲郭装甲艦「コロンビア」(1520t)フォート・マールリーにてアメリカ合衆国軍に拿捕
- 1865年2月20日 03:00|ウルクアイ| ||<就任>ウルクアイ東方共和国臨時大統領「ヘンツォ・ワールス」国民党(2回目~18680215)
- 1865年2月20日 06:00|アメリカ| ||<開学>マサチューセッツ工科大学(設立1861年)
- 1865年2月20日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|元治2年1月25日|<交替>下野宇都宮藩77850石「戸田忠恕」強制隠居、5万石に減封⇒養子「戸田忠友」が継ぐ(⇒同年10月、77850石に戻る)
- 1865年2月22日 03:00|ブラジル/ウルクアイ| ||ブラジル・コロト派連合軍、モンテビデオを占領/ブランコ党政権を駆逐
- 1865年2月23日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|元治2年1月28日|西郷吉之助(隆盛)、39歳にて妻を娶る(岩山八郎太の長女糸子を迎う)
- 1865年2月24日-09:00|日本|山口県|元治2年1月29日|内戦状態の長州藩で中立派が台頭し、俗論党を更迭
- 1865年2月26日-01:00|イタリヤ| ||<就任>聖ヨハネ騎士団グランドマスター副官「レサントロ・ボッソニア・ボルジア」(~18720113没)
- 1865年2月26日-09:00|日本|東京都墨田区|元治2年2月|<大相撲>元治2年2月場所[江戸本所回向院](10日間)幕内優勝:(西関脇)鷲ヶ濱、6勝0敗1分1預2休
- 1865年2月26日-09:00|日本|東京都千代田区|元治2年2月1日|<就任>大老「酒井忠績」(~慶応1年11月12日)
- 1865年2月26日-09:00|日本|山口県|元治2年2月1日|奇兵隊、圧勝して俗論党軍撤退
- 1865年3月-05:00|ウズベキスタン/カザフスタン/キルギス/タジキスタン| ||<即位>コカンド・ハン国ハン「ヒルパチ・ハン」(~同年)⇒<復位>「ムハンマド・スルタン・ハン」(2期目~1866年)
- 1865年3月-02:00|エジプト| ||上エジプトの農村でアッタフ率いる農民反乱がおこる
- 1865年3月 00:00|シエラレオネ/イギリス| ||<就任>イギリス王領シエラレオネ植民地総督代行「ウィリアム・ジョン・チェンバレン」(1回目~18660219)
- 1865年3月1日-09:00|日本|東京都千代田区|元治2年2月4日|<死去>田安徳川家「徳川寿千代」6歳⇒翌日、弟「徳川亀之助」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年閏4月29日、徳川宗家相続)
- 1865年3月1日-09:00|日本|福井県敦賀市|元治2年2月4日|武田耕雲斎正生・藤田小四郎信24歳ら天狗党幹部24人敦賀で斬首
- 1865年3月2日 00:00|イギリス/インド| ||カルカッタとロンドン間に電信が開通
- 1865年3月3日-08:00|中国| ||イギリス人貿易商らが香港で香港上海銀行を設立開業
- 1865年3月3日 06:00|アメリカ| ||アメリカ、内国歳入法成立
- 1865年3月3日 06:00|アメリカ| ||アメリカで解放人局が設立され、黒人の救済にあたる
- 1865年3月4日 03:00|日本|岩手県盛岡市|元治2年2月7日|<盛岡元治2年の大火>昼九つ過ぎ(午前12時過ぎ)盛岡城下の西方雫石川河畔にある厨川村三ツ家の馬方の家から出火、炎は三ツ家の橋の手前にある20軒ばかりを焼き尽くし、延焼中、下厨川の三十軒に飛び火し木伏まで焼いた/また一方の炎は河北方面に延びて、城下の新田町組丁に移り、足軽屋敷120軒の内1軒を残し全焼させた/炎は、新土手向の小栗の屋舗に飛び火、長丁の飯岡家を灰にし、上田丁上り口では12、3軒を残したのみで後は灰じんにした/さらに材木町、長丁、平山丁、帷子丁、田丁、四ツ屋丁を焼き尽くし、仁王からさらに加賀野にも延焼して夜に入りようやく鎮火/1200余戸焼失
- 1865年3月6日-01:00|ベナン/ポルトガル| ||ポルトガル(サントメ・プリンシア 総督配下)によりサン・ジョアン・バプティスタ・デ・アジュダ砦が奪還される
- 1865年3月6日 00:00|セネガル/フランス| ||ケールはフランス植民地セネガルに編入された(~18710212)
- 1865年3月8日-01:00|チェコ| ||「ゲオルク・ヨハン・メンデル」が、「植物の雑種に関する研究」をブリュ市の自然科学協会の例会で発表/遺伝の法則の骨組の紹介になる
- 1865年3月8日-09:00|日本|山口県萩市|元治2年2月11日|長門萩藩鎮静会議員「冷泉五郎」「桜井三木三」ら3名が帰路の明木で俗論党(選鋒隊)により暗殺される
- 1865年3月8日 03:00|日本|長野県松本市|元治2年2月11日|<松本元治2年の大火>夜の四つ時(22時ごろ)博労町の山城屋から出火、同町を全焼、直ちに本町に延焼、同一丁目は残らず灰となった/飛び火により、生安寺小路から北の飯田町、小池町、中町、裏小路も全焼し、川を超えてなおも東町へと延焼の気配はあったがようやく消し止めた/東は桜川岸から西は本町まで川南の地域は一望の焼け野原となったが、朝方になってようやく鎮火/焼失した家屋1200軒、土蔵138戸、光明院と乾瑞寺が焼けた/放火が原因といわれている

1865迄 (2324件)

- 1865年3月9日 05:00|パナマ/コロンビア| |||再びコロンビアによる直接支配が復活。パナマでの独立をもとめる運動は武装衝突に発展
- 1865年3月10日 05:00|パナマ| |||<就任>パナマ大統領「ギル・コルツェ」(7.1まで暫定、その後代行~18660930)
- 1865年3月11日-09:00|日本|島根県鹿足郡津和野町|元治2年2月14日|椋梨藤太は萩より逃亡したが津和野で捕縛され俗論党は崩壊、長州藩の内訌戦は正義派の勝利に終わった
- 1865年3月11日-09:00|日本|山口県|元治2年2月14日|印藤聿、野々村勘九郎、熊野則之長府藩報国隊を結成
- 1865年3月11日-09:00|日本|山口県|元治2年2月14日|久留米志士真木菊四郎が土佐脱藩士と目される3人に暗殺される
- 1865年3月12日-09:00|日本|福井県敦賀市|元治2年2月15日|幕府、天狗党元水戸藩士秋山又三郎等135人敦賀で斬首
- 1865年3月13日-09:00|日本|福井県敦賀市|元治2年2月16日|幕府、天狗党元水戸藩士浜野松次郎等102人敦賀で斬首
- 1865年3月14日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「アレクサンドロス・スピリトノス・コウモントウロス」(1回目~11.1)
- 1865年3月15日-01:00|ドイツ| |||<初演>ワグネル「死の舞踏」
- 1865年3月16日-09:00|日本|福井県敦賀市|元治2年2月19日|天狗党75人敦賀で斬首
- 1865年3月17日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍水雷艇「ノーバック」(1175t, Perine's Iron Worksで建造)
- 1865年3月18日 03:00|アルゼンチン/パラグアイ/ウルグアイ| |||パラグアイがアルゼンチン、ウルグアイをも相手に戦争開始
- 1865年3月18日 04:30|ベネズエラ| |||<就任>ベネズエラ連邦大統領代理「Antonio Leocadio Guzman Blanco」(2期目~6.7)
- 1865年3月19日-09:00|日本|岡山県美作市|元治2年2月22日|土佐の井原応輔ら6人、美作土居で郷民に賊と間違えられ自刃
- 1865年3月20日-08:00|マレーシア| |||<死去>ペラ・スルタン「ジャファル・サフィウデイン・ムアッサム・シャー・イブニ・アル=マルフム・ラジヤ・アフマド」
- 1865年3月20日-08:00|マレーシア| |||<即位>ペラ・スルタン「アリ=ムカンマル・イナヤット・シャー・イブニ・アル=マルフム・スルタン・シャハブデイン・リアヤット・シャー」(~18710526没)
- 1865年3月20日-09:00|日本|京都府京都市|元治2年2月23日|新撰組山南敬助(33歳)、組からの脱走に失敗して切腹する
- 1865年3月20日-09:00|日本|福井県敦賀市|元治2年2月23日|天狗党16人敦賀で斬首
- 1865年3月21日-05:30|スリランカ/イギリス| |||<就任>イギリス領セイロン総督代行「ハキュリス・ロビンソン」(⇒5.16第13代総督~18700104)
- 1865年3月21日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ペンシルの戦い(19日~)加ライク方面作戦の一部としてノースカロライナ州のペンシルで起こった戦いで北軍ウィリアム・シャーマン少将と南軍ジョージ・ジョンストン将軍の間で戦われた最後の大会戦。ジョンストンは、この戦闘の圧倒的な敵兵力と自軍が蒙った比較的大きな損失に照らして、1ヶ月足らず後にダーラム駅近くのベネットプレスでシャーマンに降伏
- 1865年3月22日-09:30|オーストラリア| |||<就任>南オーストラリア植民地政府首相「フランス・ダットン」(2期目~9.20)
- 1865年3月23日-03:30|イラン| |||<就任>ペルシャ大宰相「ミルザ・モハマト・カーン・セハ・サラール」(~18660616)
- 1865年3月24日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督代理「Joaquin del Solar e Ibanez」(1期目~4.25)
- 1865年3月25日 04:00|ドミニカ共和国| |||<就任>ドミニカ共和国大統領「ペドロ・アントニオ・ピメンテル・チャモロ」(~8.4)
- 1865年3月25日 05:00|キューバ| |||「エル・シグロ」誌、改革党の発足を発表
- 1865年3月25日 06:00|アメリカ| |||南北戦争:ピーターズバーグ包囲戦(1864年6月15日~)バージニア州ピーターズバーグ周辺で行われた一連の戦闘で10ヶ月にもおよぶ塹壕戦であり、北軍の総司令官ユリシーズ・グランド中将がピーターズバーグを攻撃させて成功せず、続いて塹壕線を構築させて、最終的には町の東部と南部の郊外に30マイル(48 km)にも及ぶ戦線を作り上げた。ピーターズバーグは南軍将軍ロバート・E・リーの軍隊、およびアメリカ連合国の首都リッチモンドにとって、重要な供給拠点であった。リーは最終的に圧倒的な圧力に屈した。これは供給線が遂に遮断されて、本当の包囲戦が始まった時であり、1865年4月にリッチモンドとピーターズバーグ両市を放棄し、アポマトックス方面作戦での撤退と降伏に繋がった。ピーターズバーグ包囲戦は第一次世界大戦では通常のものになった塹壕線の先駆けとなり、軍事史の中でも顕著な位置付けを与えられている。またアフリカ系アメリカ人の部隊を戦争に大量に集中して投入したことにも特徴があり、クレーターやチャフィン農園の戦いで大きな損失を出した
- 1865年3月25日-09:00|日本|静岡県富士宮市|元治2年2月28日|大石寺客殿・六壺・大坊焼失
- 1865年3月30日 06:00|アメリカ| |||<竣工>アメリカ海軍ガソ級モニター「スクアント」(1618t, Donald McKayで建造)
- 1865年3月30日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍外輪戦闘艦「モビル」(1275t;⇒18650512、商船Republicとなる)
- 1865年4月-01:00|ナイジェリア/イギリス| |||<死去>ロス植民地総督「ハンリー・Stanhope Freeman」
- 1865年4月 03:00|アルゼンチン/パラグアイ| |||アントニオ・ベラクルス・エステカリアの指揮するパラグアイ軍、アルゼンチンのミオネス州首都コリエンテスを占領
- 1865年4月 04:00|ケレタ/イギリス| |||<就任>ケレタ副総督代行「アントリュー・マンロー」(1回目)⇒「エドウィン・D・ベインズ」(1回目~12月)
- 1865年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「セフティミウス・ベルツィ」 「ジャコモ・ベルティ」
- 1865年4月1日 06:00|アメリカ| |||ファイブ・フォークスの戦い/南北戦争の最終盤にアポマトックス方面作戦の一部としてバージニア州ピーターズバーグの近くデインウィッティイ郡で行われた戦い/南軍の最終的敗北を決定付けた/北軍のフィリップ・シェリダン少将が南軍ロバート・E・リー将軍の北バージニア軍のジョージ・ピケット少将と戦いピケットが敗北
- 1865年4月2日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの政治家で経済学者コフテン/60歳(誕生18040603)典型的自由主義者

1865迄 (2324件)

- 1865年4月3日 05:00|ベル| |||<就任>ベル共和国閣僚評議会議長(首相)「マヌエル・イグナシオ・デ・ビバンコ・エ・イトゥラルテ」(~7.12)
- 1865年4月3日 06:00|アメリカ| |||南北戦争でアメリカ盟邦(南部)の首都リッチモンド陥落、ピッツバーグ占領
- 1865年4月3日 06:00|アメリカ| |||アメリカ連合国外輪旅客船「パトリック・ヘンリー」(1300t)リッチモンドにてアメリカ合衆国軍に拿捕されるのを防ぐため焼却処分
- 1865年4月3日-08:00|中国/イギリス| ||清・同治4年3月8日|<設立>香港上海銀行(イギリス)
- 1865年4月5日-09:00|日本|京都府京都市下京区|元治2年3月10日|新撰組、屯所を壬生から西本願寺太鼓楼に移す
- 1865年4月5日-09:00|日本|長崎県長崎市|元治2年3月10日|長崎の金毘羅山ハダ揚げ
- 1865年4月5日 00:00|イギリス| |||イギリス外科医リスター:石灰酸で防腐手術法を考案
- 1865年4月6日 06:00|アメリカ| |||<南北戦争>セイヤーズ・クリークの戦い|最終盤にバージニア州で北軍勝利
- 1865年4月6日-01:00|ドイツ| |||BASF設立
- 1865年4月7日 00:00|イギリス/オーストラリア| |||植民地海軍防衛法、イギリス議会を通過/オーストラリア植民地が、船員を募集し、海軍を維持することが可能となる
- 1865年4月7日-09:00|日本|兵庫県神戸市|元治2年3月12日|<廃止>神戸海軍操練所
- 1865年4月8日-09:00|日本| ||元治2年3月13日|浜田彦造・岸田銀次郎・本間潜蔵ら、「新聞誌」を「海外新聞」として再創刊(~慶応2年8月25日廃刊)
- 1865年4月9日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、南北戦争で、南軍の総指令官リー将軍が北軍に降伏、南北戦争が終結
- 1865年4月10日-09:00|日本|京都府京都市|元治2年3月15日|新選組、撃剣指南田中寅蔵(27歳)長州内通の疑いで切腹
- 1865年4月13日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領コールドウェイク総督・最高司令官代行「ロバート・スティール・ウィルキンソン・ジョンズ」(~6.3)
- 1865年4月14日 06:00|グアテマラ| |||<死去>グアテマラ共和国大統領「ホセ・ラファエル・カラ・トルカス」病死
- 1865年4月14日 06:00|グアテマラ| |||<就任>グアテマラ共和国大統領代行「ペドロ・デ・アルカンタラ・デ・サンタ・テレサ・デ・アイソナ・イ・ビニョル」(~5.24)
- 1865年4月14日 06:00|アメリカ| |||リンカン米大統領がフォート・劇場で芝居観劇中にうしろから狙撃される/翌朝死亡/犯人の舞台俳優ジョン・ブーアは、舞台上に飛び下り逃走
- 1865年4月15日 06:00|アメリカ| |||<死去>アメリカ合衆国第16代大統領「リンカン」56歳(誕生18090212)前日の晩狙撃された
- 1865年4月15日 06:00|アメリカ| |||<就任>アメリカ合衆国第17代大統領「アンドリュー・ジョンソン」民主党(~18690303)
- 1865年4月17日-02:00|ロシア| |||<就任>ロシア及び北西部の地方総督「コンスタンチン・ペトローヴィッチ・フォン・カフマン」(~18661009)
- 1865年4月17日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第24代首相「ペルナルト・デ・サ・ノゲイラ・デ・フィゲイロ」(3期目~9.4)
- 1865年4月17日-09:00|日本|長崎県長崎市|元治2年3月22日|薩摩藩士19人がイギリス留学のため、長崎を出発
- 1865年4月18日-04:00|ロシア| |||ロシアが検閲制度を改革
- 1865年4月18日-09:00|日本|高知県高知市|元治2年3月23日|土佐藩士「島村衛吉」拷問死
- 1865年4月19日-09:00|日本|茨城県水戸市|元治2年3月24日|武田耕雲齋ら天狗党幹部の首、水戸に送られる/武田耕雲齋の家族処刑
- 1865年4月21日-05:30|インド| |||<就任>ランプール国統治者(ナワブ)「モハメド・カルブ・アリ・カーン」(~18870323没)
- 1865年4月21日-09:00|日本|群馬県高崎市|元治2年3月26日|<交替>上野吉井藩1万石「松平信発」隠居⇒養子「松平信謹」が継ぐ(⇒慶応4(1868)年2月22日、「松平信謹」から「吉井信謹」に改姓)
- 1865年4月22日-09:00|日本| ||元治2年3月27日|幕府、物価引下令、買占め売惜しみ禁令を出す
- 1865年4月23日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治4年3月28日|備辺司を議政府に併合(王権強化を目的に勢道政治の根拠地だった備辺司を廃止)
- 1865年4月24日-04:00|ロシア| |||<死去>ニコライ・アレクサンドロヴィチ大公、ロシアの皇太子(生年1843年)
- 1865年4月25日-08:00|フィリピン/スペイン| |||<就任>スペイン領フィリピン総督「フアン・デ・ララ」(~18660713)
- 1865年4月25日 05:00|ベル| |||<就任>ベル共和国大統領「マリアノ・イグナシオ・プラド」(~6.24)
- 1865年4月25日-09:00|日本|長崎県長崎市|元治2年4月上|日本初の西洋式病院小島養生所が精得館と改称
- 1865年4月26日 06:00|アメリカ| |||ジョン・ブーアがバージニア州の納屋に潜んでいたところを連合軍の兵士に射殺される/(誕生:1838)/リンカンを暗殺した俳優/共犯者も逮捕される
- 1865年4月27日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国の貨客船「サルタ」ミシシッピ川を就航中、火災により沈没(1450人以上死亡)
- 1865年4月28日 00:00|イギリス| |||<死去>サミュエル・キューナート、キューナート・ライン創業者(生年1787年)
- 1865年4月28日-09:00|日本|長崎県大村市|元治2年4月4日|長崎大村で池田乱民の変が起こる/周辺住民500人が部落焼き竹槍及び楯を以て男女十余人を殺害する
- 1865年4月29日-09:00|日本|茨城県古河市|元治2年4月5日|天狗党29名古河で処刑
- 1865年4月30日-05:30|インド| |||<就任>ジャヤ国支配者(ナワブ)「エサム・アルダ・ウラ・モハメド・イスマイル・カーン」(~18950306没)
- 1865年4月30日-09:00|日本|長崎大学|元治2年4月6日|長崎奉行、養生所を精得館と改称、医学所を付属機関に(病理学、薬剤学、内科、外科等7科)
- 1865年5月1日 00:00|セネガル/フランス| |||<就任>フランス領セネガル総督「ジャン・エミール・ピネラウラド」(2度目、7.12まで代行~18690817)
- 1865年5月1日 03:00|アルゼンチン/ブラジル/ウルグアイ| |||ブラジル、アルゼンチンと、ウルグアイのコロタド党政権とのあいだで対ハラ

1865迄 (2324件)

グアテマール同盟成立/5年間にわたるパナマ戦争始まる

- 1865年5月1日-09:00|日本| ||慶応1年4月7日|幕府、学問・貿易目的の海外渡航を許可
- 1865年5月1日-09:00|日本| ||慶応1年4月7日|「慶應」と改元
- 1865年5月4日-01:00|スペイン/ドミニカ共和国| ||スペインはドミニカ共和国の独立を認める
- 1865年5月4日 00:00|カナダ/オランダ| ||<就任>オランダ領ゴールドコースト総督代行「アレト・マクニシ」(~18660219)
- 1865年5月4日 06:00|アメリカ| ||<竣工>アメリカ海軍水雷艇「ナバ」(1175t)Harlan & Hollingsworth Co. で
- 1865年5月5日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍モトノック級モニター「アガメンティカス」(3295t, ホーツマス海軍工廠で建造)
- 1865年5月5日 06:00|アメリカ| ||カイロ・ミスーリ鉄道で、アメリカ初の列車強盗事件が発生
- 1865年5月5日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年4月11日|<解任>老中「稲葉正邦」
- 1865年5月6日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年4月12日|<就任>老中格「松平康直」(~10月16日)
- 1865年5月8日-12:00|フィジー| ||<就任>ウティ独立王国連合総会議長「セル・エ・ニサ・カホウ」(~18670502)
- 1865年5月8日-12:00|フィジー| ||<設立>ビティの独立王国連合(ハウ、フア、カウトローグ、レイカ、マアタ、ナカリを含む)
- 1865年5月10日 06:00|アメリカ| ||アメリカ連邦(南部連邦)大統領「ジェームズ・ブキャナン」逮捕・拘禁
- 1865年5月11日-09:00|日本|大阪府高槻市|慶応1年4月17日|<死去>摂津高槻藩36000石「永井直矢」⇒閏5月16日、養子「永井直諒」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月20日、版籍奉還)
- 1865年5月12日 03:00|ブラジル| ||<就任>ブラジル帝国閣僚評議会議長(首相)「オリヴァー・デ・アウヴェイラ」(4回目~18660803)
- 1865年5月13日 06:00|アメリカ| ||南北戦争:ハルメット農場の戦い(最後の陸戦)(12日~)戦われた。ロバート・E・リーの軍の降伏の後のさまざまな出来事の中にあっては、無視されがちな事件であるが、これは南北戦争における最後の武力衝突と位置づけられている。北軍の犠牲者は死者、負傷者、不明合わせて118名、南軍の犠牲者は数十名の負傷者のみで、死者はいなかった。南北戦争で最初の大会戦第一次ブルランの戦いのように、両軍ともに少しの利益ももたらさずに、戦いは南軍の勝利として記録された
- 1865年5月13日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年4月19日|<解任>老中「牧野忠恭」;老中格「諏訪忠誠」
- 1865年5月17日 00:00|世界/フランス| ||パリ会議で国際電信条約を締結、国連の専門機関である「世界電気通信連合」の前身「万国通信連合」が発足
- 1865年5月18日-09:00|日本|福島県相馬市|慶応1年4月24日|<交替>陸奥中村藩6万石「相馬充胤」隠居⇒長男「相馬誠胤」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
- 1865年5月19日-09:00|日本/フランス| ||慶応1年4月25日|幕府、軍制調査のため、柴田剛中らをフランスに派遣
- 1865年5月23日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍モントゴメリー級外輪砲艦「モントゴメリー」(1370t, Zeno Secor & Co. で建造)ニューヨーク海軍工廠にて
- 1865年5月24日 06:00|グアテマール| ||<就任>グアテマール共和国大統領「ヒセーチェル・サンバル」(~18710629)
- 1865年5月24日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍バークレー級モニター「カマンチ」(1335t, Donahue, Ryan, & Secor で建造)エノコ鉄工所にて
- 1865年5月25日-09:00|日本|神奈川県横浜市|慶応1年5月1日|<開業>「ピア・アントン・コンサート・ホール」(横浜居留地の山手99番)
- 1865年5月26日 06:00|アメリカ| ||テキサスで抵抗を続けていた南軍が北軍に降伏、全ての戦闘が終結
- 1865年5月26日-09:00|日本|京都府京都市|慶応1年5月2日|山城の緒山陵修理竣工
- 1865年5月28日-09:00|日本|福島県田村郡三春町|慶応1年5月4日|<死去>陸奥三春藩5万石「秋田肥季」⇒8月5日、次男「秋田映季」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1865年6月-02:00|トルコ| ||ナムクが新オスマン人協会を結成し、新オスマン人運動が始まる
- 1865年6月-01:00|イタリア| ||イタリア王国トリノからフィレンツェに遷都
- 1865年6月-01:00|スペイン| ||スペイン、ファン・ブリン・イ・ブラツラら進歩党系の軍人、軍事クーデターを試みるが失敗
- 1865年6月2日 04:00|アンティグア・バブータ| ||<即位>レトング王「マシュー1世」(~18720326)
- 1865年6月2日 06:00|アメリカ| ||<改名>アメリカ海軍外輪戦闘艦「アドヴァンス」(1300t)⇒「フロリック」
- 1865年6月3日 00:00|カナダ/イギリス| ||<就任>イギリス領ゴールドコースト総督・最高司令官代行「ウィリアム・エリオット・モックレー」(~8.19)
- 1865年6月4日-09:00|日本|高知県高知市|慶応1年5月11日|土佐藩、岡本次郎を吉田東洋の寵臣井上佐一郎を殺害した罪で処刑
- 1865年6月7日 00:00|イギリス| ||イングランド 中西部シュロップシャーの下り勾配の先で保線作業中の区間に、警告を見落とした列車が進入し脱線、死者13人
- 1865年6月7日 04:30|ベネチア| ||<就任>ベネチア連邦大統領「Juan Crisostomo Falcon y Zavarce」(3期目~18680627) PL
- 1865年6月7日-01:00|スイス/日本| ||慶応1年5月14日|伊勢神宮領内の異獣引き入れを禁止
- 1865年6月7日-01:00|スイス/日本| ||慶応1年5月14日|幕府、スイスと通商条約締結
- 1865年6月8日-12:00|ニュージーランド| ||ニュージーランドでマオリ軍の残党が降伏し、第2次アングロ・マオリ戦争が終結
- 1865年6月8日-08:00|中国| ||李鴻章が上海に江南製造総局を開設
- 1865年6月9日 00:00|イギリス| ||イギリス・セントで、時刻表を誤読しての保線作業によりレールの外された高架橋に列車が進入して脱線、死者10人
- 1865年6月10日-01:00|ドイツ| ||<初演>グイヘルム・リヒャルト・ワーグナー《楽劇「トリスタンとイゾルデ」》
- 1865年6月10日 03:00|仏領ギアナ/フランス| ||<就任>ギアナ総督「Privat Antoine Agathon Hennique」(~18700406死去)
- 1865年6月10日 06:00|アメリカ| ||<就役>アメリカ海軍カニコス級モニター「オチカ」(2100t, Alexander Swift & Co. で建造)、カ

1865迄 (2324件)

ターハ」(2100t)

- 1865年6月11日-05:30|インド| |||<就任>ジャハル国ラジャ「ウイラムシャー4世ハタンシャー」(~18650723没)
- 1865年6月11日 03:00|ブラジル/パラグアイ| |||パラグアイ軍舟艇、リアチエロに集結したブラジル海軍の艦隊を攻撃/当初パラグアイ有利に展開するが、火力に勝るブラジルが逆転/パラグアイ艦隊は7隻を失い、以後、河川の支配権を奪われる
- 1865年6月15日 04:00|BES諸島| |||<就任>セント・ユスティウス島副知事代理「Melville Wood Cruger」(~18660711)
- 1865年6月17日-05:00|ウスベキスタン/ロシア| |||タシュケントはロシアに占領される(1868.1コカトにより譲渡)
- 1865年6月19日 06:00|アメリカ| |||<最後の奴隷解放>米国テキサス州ガルフ・ストンの奴隷が最も遅く自由に
- 1865年6月19日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・同治4年5月26日|三軍府を設置(軍の統帥権を一元化し、砲兵中心に軍を精鋭化)
- 1865年6月20日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍外輪戦闘艦「クエーカー・シティ」(1428t;⇒18650811, 商船となる)
- 1865年6月21日-01:00|スペイン| |||<就任>スペイン王国閣僚評議会議長「Leopoldo O' Donnell」自由党(~18660710)
- 1865年6月21日-09:00|日本|山口県萩市|慶応1年5月28日|長州藩、棕梨藤太を逆賊として萩の野山獄で処刑
- 1865年6月22日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍補給艦「サーガアン」(1750t)商船となる
- 1865年6月23日 06:00|アメリカ| |||<竣工>アメリカ海軍カスコ級モニター「モック」(1175t) J. S. Underhill Dry Dock & Iron Worksで
- 1865年6月23日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶応1年閏5月|坂本龍馬、長崎で亀山社中結成
- 1865年6月24日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「ファン・アントニオ・ペセ」(~11.8)
- 1865年6月25日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴィッド・ベズ・モント・伯「ウィリアム・ハシル・フィールド・イング」
- 1865年6月25日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カリヤ諸島総司令官「Pedro Alejandro de la Barce na y Ponte」(~1866年)
- 1865年6月25日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴィッド・ベズ・モント・伯「Rudolph ウィリアム・ハシル・フィールド・イング」(~18920310死去)
- 1865年6月26日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ルーマニア公国閣僚会議議長(首相)「ニコライ・アレクサンドル・クレ・シュレスク」(2回目~18660223)
- 1865年6月26日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「アレクサンダー・グラーフ・フォン・ムントルフ・ブイリ」(~7.27)
- 1865年6月26日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国宰相「ジェルジ・マイラト・セケリ」(~18670310)
- 1865年6月27日 06:00|アメリカ| |||<竣工>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「ウイヌスキ」(1173t, チャールズ・タウン海軍工廠で建造)ブルックリン海軍工廠にて
- 1865年6月28日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶応1年閏5月6日|坂本龍馬ら長崎に亀山社中を興す
- 1865年6月28日-09:00|日本|三重県亀山市|慶応1年閏5月6日|<死去>伊勢亀山藩6万石「石川総脩」⇒弟「石川成之」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月19日、版籍奉還)
- 1865年6月29日-09:30|オーストリア| |||シトニーのセント・マリス大聖堂、築40年で焼失
- 1865年6月29日 00:00|イギリス/オーストリア| |||イギリス議会、植民地法有効化法を制定/イギリス法と矛盾しない限り、植民地法の有効性を確認
- 1865年6月30日 04:30|ベネチア| |||ベネチアにアヘン島の主権が与えられる
- 1865年7月-05:00|ウスベキスタン| |||<死去>コカト(フェルガナ)汗「Muhammad Sultan Sayyid Khan」
- 1865年7月-05:00|ウスベキスタン| |||<即位>コカト(フェルガナ)汗「Haydar Bek」(~2週間)⇒「Sayyid Muhammad Khudayar Khan」(3期目~1875.8)
- 1865年7月1日 04:00|ドミニカ共和国| |||ドミニカでは商人や封建的大地主を主体とする南部と自営農主体の北部が対立。北部は国民解放党(青色党)、南部は赤色党を結成
- 1865年7月3日-09:00|日本|高知県高知市|慶応1年閏5月11日|土佐藩、吉田東洋の寵臣井上佐一郎を殺害した罪で勤王党の武市瑞山(半平太)(38)に切腹を命じ、岡田以蔵(28)、岡本次郎ら9人を処刑
- 1865年7月4日 00:00|イギリス| |||イギリスの数学者にして作家「チャールズ・ラウヰッツ・ド・ジッソ」が、ルイス・キャロルの筆名で「不思議の国のアリス」出版
- 1865年7月5日 00:00|イギリス| |||英国で赤旗法施行
- 1865年7月5日 06:00|アメリカ| |||米国でシークレットサービス設立
- 1865年7月5日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶応1年閏5月13日|大坂の商人志士「藤井藍田」が拷問の上獄死
- 1865年7月10日-09:00|日本|新潟県長岡市|慶応1年閏5月18日|与板町で米価高騰に苦しむ小前らが、米屋7軒を打ちこわす
- 1865年7月12日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍水補給艦「ケンントン」(1052t;⇒18650731, 商船となる)
- 1865年7月14日-01:00|アルジェリア/フランス| |||アルジェリア人にフランス国籍を付与
- 1865年7月14日-01:00|スイス/イギリス| |||イギリスの登山家ウィンバーら7名が、ヨーロッパの最後の処女峰・マッターホルンに初登頂。しかし、下山中にパーティ7名のうち4名が墜死
- 1865年7月14日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長(首相)「ペドロ・ロセ・フェルマタ」(~11.6)
- 1865年7月17日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カスコ級モニター「サンクック」(1175t, Globe Iron Worksで建造)
- 1865年7月18日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国統治評議会議長「バルハロセー・キセー」(~18670612)
- 1865年7月19日-09:00|日本|山口県|慶応1年閏5月27日|長州藩士「棕梨藤太」処刑
- 1865年7月23日-09:00|日本| ||慶応1年6月|<出版>橋本貞秀「絵本孫子童観抄」
- 1865年7月23日-09:00|日本/ドイツ| ||慶応1年6月|プロシアの帆船「ブランテングル」を幕府が購入し「美加保丸」と命名
- 1865年7月24日-05:30|インド| |||<就任>ジャハル国ラジャ「ハタンシャー4世ウイラムシャー」(~19050127没)、摂政「ラニ・ゴピカバ」(~18750328没)
- 1865年7月24日 06:00|アメリカ| |||アメリカ海軍のモニター艦「オサーク」退役(1129売却)

1865迄 (2324件)

- 1865年7月26日-12:00|ニュージーランド| |||ニュージーランドが首都をウェリントンに移転し最初の議会を開催
 1865年7月26日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ナタール植民地特別委員代行「ジョン・ウェルズ・リー・トマス」(~8. 26)
 1865年7月27日-01:00|オーストリア| |||<就任>オーストリア首相「リヒャルト・グラーフ・ベルクレーディ」(~18670207)
 1865年7月30日 06:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領カナダ州共同首相「ジョン・アレクサンダー・マクドナルド」(5回目/カナダ西部)「ナルシス・フォルトウナット・ペロー卿(カナダ東部)」(~18670630)
 1865年7月31日-09:30|オーストラリア| |||クィーンズランド最初の鉄道、イフスウィッチとグランドチェスター(ヒッグス・キャンフ)間34キロに開通
 1865年7月31日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルト公「アフォンソ」(~19200221死去)
 1865年8月-03:00|エチオピア| |||<即位>シエラ王「サレ・マリアム」(2回目~18890310)
 1865年8月-02:00|エスワティニ| |||<就任>スワジランド最高支配者「ルトボンガ2世」(~18740318没)、摂政「タンデル・ヌシマロ女王」(~1875年6月没)
 1865年8月 00:00|セネガル| |||<就任>ファクトロ統治者統治者(アルマミ)「ラシ・ママトゥ・セリン・タリ」(1回目~1866年1月)
 1865年8月 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長(首相)「マリア・ノイグナシオ・プラト・オチョア」(1回目~9. 26)
 1865年8月 06:00|アメリカ| |||コナ軍がハウターリバー川流域に侵攻し、アラバマ族を虐殺
 1865年8月1日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||<就任>フェルナント・ホー総督代行「フランスコ・オリア」(~31日)
 1865年8月1日-09:00|日本|兵庫県丹波市|慶応1年6月10日|<死去>丹波柏原藩2万石「織田信民」⇒養子「織田信親」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月22日、版籍奉還)
 1865年8月2日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ・プリンシペ総督「Joao Baptista Brunachy」(2期目~18670730)
 1865年8月3日 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド総督「ソレン・ヒルマー・シュタイン・ル・フィンセン」(~18830507)
 1865年8月4日-05:30|インド| |||<即位>タタマハラジャ「ハバニシ」(~19070804)
 1865年8月4日 04:00|トミニカ共和国| |||<就任>トミニカ共和国大統領(共和国保護者)「ル・マリア・カラル・イ・デ・ルナ」(1回目~11. 15)
 1865年8月5日 03:00|アルゼンチン/ブラジル/パラグアイ/ウルグアイ| |||パラグアイ遠征軍、ウルグアイ遠征軍、アルゼンチンのミシオス回廊を突破、ブラジルのリオランテ・ド・スルに突入、ウルグアイ軍を占領
 1865年8月5日 06:00|アメリカ| |||アメリカ合衆国クルーザー「ジョージア」(1150t)ニューヘットフォードにて商船となる(⇒1870, カタ人に売却)
 1865年8月6日 06:00|アメリカ| |||カリフォルニアで白人入植者がヤヒ族を虐殺
 1865年8月8日-09:00|日本|東京都墨田区|慶応1年6月17日|本所で青木弥太郎ほか盗賊團一味逮捕
 1865年8月10日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カスコ級モニター「ノース」(1487t, Donald McKayで建造)
 1865年8月10日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍アラバマ級外輪戦闘艦「アラバマ」(1261t)
 1865年8月11日-09:00|日本|京都府京都市|慶応1年6月20日|新選組隊士、瀬山多喜人、真田次郎不義密通の罪で切腹
 1865年8月14日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||プロシヤとオーストリアがガスタイン協定を結び、プロシヤがシレズィアを、オーストリアがボヘミアンをそれぞれ統治することを定める
 1865年8月15日-01:00|ハンガリー| |||リスト作曲のオトリオ「聖エリザベートの物語」初演
 1865年8月15日-09:00|日本|福岡県太宰府市|慶応1年6月24日|深夜、福岡藩士「喜多岡勇平」太宰府で暗殺される
 1865年8月18日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍カスコ級モニター「ジョニー」(1175t, Curtis & Tildenで建造)
 1865年8月19日 00:00|カナダ/イギリス| |||<就任>イギリス領コロンビア総督・最高司令官代行「エドワード・コンラン」(⇒18660219イギリス領西アフリカ植民地コロンビア管理責任者代行~18670209)
 1865年8月21日-09:00|日本| |||慶応1年7月|新選組、酒井兵庫、大坂住吉神社潜伏中を発見され沖田総司他に殺害される
 1865年8月23日-09:00|日本|長野県下伊那郡|慶応1年7月3日|信濃国下伊那郡に米騒動
 1865年8月24日-09:00|日本|茨城県行方市|慶応1年7月4日|<死去>常陸麻生藩1万石「新庄直彪」急死⇒長男「新庄直類」が継ぐ(⇒慶応3(1867)年9月15日、死去)
 1865年8月26日-02:00|南アフリカ/イギリス| |||<就任>イギリス領ナタール植民地特別委員代行「ジョン・ジャビース・ベセット」(~18670524)
 1865年8月26日-01:00|ドイツ| |||<死去>ドイツの天文学者フランツ・エンケ(17910923~)「エンケ彗星」発見
 1865年8月27日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍外輪戦闘艦「フォート・ジャクソン」(1850t)商船North Americaとなる
 1865年8月30日 05:00|エクアドル| |||<退任>エクアドル国大統領「カブリエル・ガルシア・モロ」
 1865年8月31日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||<就任>フェルナント・ホー総督代行「フェリックス・レソ」(1回目~9. 18)
 1865年8月31日 05:00|エクアドル| |||<就任>エクアドル国大統領代行「ラファエル・カルバハル」(~9. 7)
 1865年9月-03:00|エチオピア| |||<即位>ムワリ・スルタン国スルタン「モハメド・ビン・サイディ・ハマディ・マカダラ」(~1874年没)、摂政「ジュンベ・ファティマ・ヒント・アブ・テレメネ」(1回目~1868年)
 1865年9月-02:00|シリア/アラブ/トルコ| |||<就任>ダマスカス・ワリス「Sakizli Esad uhlis Pasha」(~1866. 7)
 1865年9月 03:00|アルゼンチン/ブラジル/パラグアイ/ウルグアイ| |||ブラジル、アルゼンチン、ウルグアイ三国同盟軍、リオランテ・ド・スルに進出したパラグアイ軍を撃退
 1865年9月1日-01:00|フランス| |||パリに百貨店「ワランタン」が開店になる
 1865年9月1日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ陸軍河用装甲艦「ジェネラル・ブラック」(1043t)商船Mexicoとなる
 1865年9月2日-09:30|オーストラリア| |||メルボルン、『オーストラリアン・ジャーナル』、週刊誌の創刊
 1865年9月2日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリスの数学者ハミルトン/60歳(誕生18050804)
 1865年9月4日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル王国第25代首相「ジョアキン・アントニオ・デ・アギアル・エ・リベロ」(3期目~186

1865迄 (2324件)

80104)

- 1865年9月5日 04:00|ドミニカ国/イギリス| |||<就任>イギリス領ドミニカ副総督「ジェームズ・ロバート・ロングデン」(~1867年3月)
- 1865年9月5日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍物資輸送船「フォート・モーガン」(1248t)商船Cubaとなる
- 1865年9月7日-08:00|中国| |||ヤクブ・ベクが新疆のカシュガルで独立政権を樹立
- 1865年9月7日 05:00|エクトル| |||<就任>エクトル国大統領「ジェロモ・カリオン」(~18671106)
- 1865年9月8日-09:00|日本| ||慶応1年7月19日|邦字紙「日本新聞」が創刊(後の「ジャパントタイムズ」)
- 1865年9月12日-08:00|インドネシア/東ティモール/ポルトガル| |||<就任>ティモール知事「フランシスコ・テイシェイラ・ダ・シルバ」(~18690424)
- 1865年9月13日 00:00|イギリス| |||<死去>12代ストラスマークキング・ホーン伯「トマス・ライアン・ホーズ」
- 1865年9月13日 00:00|イギリス| |||<就任>13代ストラスマークキング・ホーン伯「クロード・ホーズ=ライアン」先代の弟(~19040216死去)
- 1865年9月14日-01:00|フランス| |||ジュール・ヴェルヌ「地球から月へ」連載開始(~10月14日、Journal des debats紙)
- 1865年9月14日 00:00|イギリス| |||<ゴルフ>第6回全英オープン選手権優勝:アンドリュー・ストラス(スコットランド/162)
- 1865年9月14日-09:00|日本|京都府京都市|慶応1年7月25日|新選組、平隊士佐野牧太郎、隊規違反により斬首される
- 1865年9月15日 03:00|ブラジル/パラグアイ| |||ウカグアイアのパラグアイ軍, 2万のブラジル軍に包囲されエステカリベア将軍は、戦うことなく降伏
- 1865年9月15日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍外輪戦闘艦「キーストン・ステート」(1364t;⇒18651222, 商船San Franciscoとなる)
- 1865年9月16日-09:00|日本/ロシア|北海道函館市|慶応1年7月27日|幕府のロシア留学生6人が箱館を出発
- 1865年9月17日-01:00|スペイン/チリ| |||チリはスペインに宣戦布告/海岸戦争開始
- 1865年9月17日 04:00|ホルヘ・ア/チリ/エクトル/ペルー| |||ペルー, チリ, ホルヘ・ア, エクトルが同盟を結ぶ
- 1865年9月18日-01:00|赤道ギニア/スペイン| |||<就任>フェルナンド・ホーネ総督「ホセ・ゴメス・デ・バルタ」とルイス・デ・マス・メラ(~18680401)
- 1865年9月18日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モットノック級モニター「マイアントノマー」(3401t, ブルックリン海軍工廠)
- 1865年9月20日-09:30|オーストラリア| |||<就任>南オーストラリア植民地政府首相「ヘンリー・エアーズ」(2期目~10.23)
- 1865年9月20日-01:00|ジブラルタル/イギリス| |||<就任>イギリス領ジブラルタル知事「Richard Airey卿」(~18700912)
- 1865年9月20日-09:00|日本|新潟県上越市|慶応1年8月1日|直江津今町に米騒動起こり, 豪商, 大年寄の家屋が打ちこわされる
- 1865年9月21日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍外輪戦闘艦「コネカット」(1725t)商船South Americaとなる;アメリカ海軍外輪戦闘艦「サンチアゴ・デ・キューバ」(1567t;⇒18651116, 商船となる);アメリカ海軍補給艦「バミュータ」(1238t)商船General Meadeとなる
- 1865年9月21日-09:00|日本|東京都|慶応1年8月2日|<死去>広島藩士、儒学者・藩儒・文筆家「金子霜山」77歳
- 1865年9月23日 00:00|イギリス/ブラジル| |||ブラジルと英国, 国交を回復
- 1865年9月26日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長(首相)「ファン・アントニオ・ウガルテ」(~11.15)
- 1865年9月27日-05:00|パキスタン| |||<就任>パハール州国ワジル「グラム・モハマト・チャキ」(~1866年3月)
- 1865年9月27日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍補給艦「トネール」(1150t)商船Austinとなる
- 1865年9月27日-09:00|日本|岐阜県大垣市|慶応1年8月8日|<死去>美濃大垣藩10万石「戸田氏彬」35歳⇒弟「戸田氏共」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月17日、版籍奉還)
- 1865年9月29日-08:00|中国| ||清・同治4年8月10日|李鴻章が上海に江南機器製造局を設立
- 1865年9月30日-01:00|アンゴラ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領西アフリカ総督「ルイス・ホセ・メンデス・アフォンソ」(統治評議会議長) (~18660312)
- 1865年9月30日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラト・ロイスモ民政知事「Albino de Abranches Freire de Figueiredo」(~11.22)
- 1865年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「フィリッポ・ベルツツィ」(シルベスター・マン)
- 1865年10月3日-09:00|日本/フランス| ||慶応1年8月14日|仏領事下僕の清国人を惨殺した小村幸八処刑される
- 1865年10月4日-09:00|日本|長崎県長崎市|慶応1年8月15日|<移転改称>長崎大村町の語学所が新町の長州屋敷跡に新築校舎を竣工⇒済美館
- 1865年10月7日 05:00|ジャマイカ| |||モント・ベイの黒人下層階級, 拘留されている仲間の釈放を要求してデモ/民兵の発砲をきっかけに暴動/教区長ほか18人の白人が死亡
- 1865年10月8日 05:00|ジャマイカ| |||モント・ベイ, 自警団との衝突で22人の白人将校などが殺される
- 1865年10月8日-09:00|日本|奈良県御所市|慶応1年8月19日|<死去>大和櫛羅藩1万石「永井直壯」20歳⇒養子「永井直哉」が継ぐ(⇒明治2(1869)年6月24日、版籍奉還)
- 1865年10月9日-09:00|日本/アメリカ| ||慶応1年8月20日|アメリカ船「マグネツリユス」(1854年, 呀伊ストルで建造)を幕府が購入「鶴港丸」と命名
- 1865年10月10日 06:00|アメリカ| |||<竣工>イギリス海軍ノースカロライナ級航洋装甲艦「Wivern」(2750t), 「Scorpion」(2750t)
- 1865年10月12日 05:00|ジャマイカ| |||エア総督は戒厳令を公布, マルンの助けを借りながら拷問や弾圧により450人を殺傷
- 1865年10月12日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モットノック級モニター「トワンダ」(3400t, フィラデルフィア海軍工廠)
- 1865年10月13日-09:00|日本|神奈川県横浜市中区|慶応1年8月24日|幕府横浜製鉄所完成
- 1865年10月16日-12:00|ニュージーランド| |||<就任>ニュージーランド首相「エドワード・ウィリアム・スタッフオード」(2回目~18690628)
- 1865年10月16日 00:00|イギリス| |||<死去>イギリス連合王国第37代首相「ヘンリー・ハーマストン」80歳(誕生17841020)
- 1865年10月17日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍モッコ級外輪砲艦「シヤキン」(1370t, Reaney, Son & Archbold)

1865迄 (2324件)

- 1865年10月18日 04:00|バミューダ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地バミューダ 総督「ハリ・St. ジョージ・オード 大佐」(2期目~18661124)
- 1865年10月20日-09:00|日本|神奈川県横浜市|慶応1年9月|横濱、外人居留地, 山手遊歩道に専門の居酒屋, (日本最初のBarか), 食堂など13カ所の, 休憩所, 開店
- 1865年10月20日-09:00|日本| ||慶応1年9月1日|<死去>新選組四番隊組長「松原忠司」
- 1865年10月21日 06:00|アメリカ| |||<竣工>アメリカ海軍カスコ級モニター「ワックス」(1175t, A. & W. Denmead&Son)
- 1865年10月22日 00:00|カナリア諸島/スペイン| |||<就任>スペイン王領カナリア諸島市民知事「Jose Cabezas de Herrera」(~18660310)
- 1865年10月23日-09:30|オーストラリア| |||<就任>南オーストラリア植民地政府首相「ジョン・ハート」(~18660328)
- 1865年10月23日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年9月4日|<就任>老中格「小笠原長行」(~10月9日)
- 1865年10月25日 06:00|アメリカ| |||<売却>アメリカ海軍外輪戦闘艦ステート・オブ・ジョージア」(1204t;⇒18660509, 商船Andrew Johnsonとなる); アメリカ海軍特務艦「ユニオン」(1114t;⇒18651208, 商船Missouriとなる); アメリカ海軍外輪戦闘艦「マルファン」(1477t)ニュー・ヨークにてS. G. Bogartに
- 1865年10月25日-09:00|日本|福岡県北九州市|慶応1年9月6日|<死去>豊前小倉藩15万石「小笠原忠幹」⇒次男「小笠原忠忱」が継ぐ(翌年9月、田川郡香春に政庁を移す)
- 1865年10月28日 06:00|アメリカ| |||<竣工>アメリカ海軍カスコ級モニター「ワサック」(1175t, George W. Lawrence)
- 1865年10月29日 00:00|イギリス| |||<就任>イギリス連合王国第38代首相「初代ラッセル伯爵ジョン・ラッセル」自由党(第2期~18660626)
- 1865年10月29日-09:00|日本|東京都|慶応1年9月10日|十三代中村勘三郎が、芝居寿狂言を興行
- 1865年10月30日-09:00|日本|神奈川県横浜市西区|慶応1年9月11日|鎌倉英仕官殺害の共犯者間宮一、処刑
- 1865年11月-03:00|スーダン/エジプト| |||<就任>エジプト領スーダン総督「ジャファル・サティク・ハシヤ」(~1866年)
- 1865年11月-01:00|北マケドニア/トルコ| |||<就任>ウスク・クリス(総督)兼マスティル・クリス(総督)「イスMAIL・ハッキ・ハシヤ」(~1869年7月)
- 1865年11月1日-05:30|インド| |||<就任>ソハル国統治者(レイ)「シェール・ジャン・バハドゥール・シン」(~18991122没)
- 1865年11月1日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「エフ・メイノダ・ステイミティル・テリゲオルギス」(1回目~15日)
- 1865年11月4日-01:00|クロアチア/オーストリア| |||<就任>ダルマチア自治領総督「ヨゼフ・フィリップ・ウイッチ・フォン・フィリップスベルク」(~1868年8月没)
- 1865年11月6日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国首相「クラック 伯爵クリスティアン・エミール」(~18700528)
- 1865年11月8日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領代行「ペドロ・ノラスコ・デ・イス・カンセコ・コルパチヨ」(2回目~28日)
- 1865年11月8日 05:00|ペルー| |||<就役>ペルー海軍装甲艦「ワスカ」(1007tイギリスのレイアード・ブラザーズ造船所で進水)
- 1865年11月11日-06:00|プータン/イギリス| |||<制定>英領インド 保護領プータン
- 1865年11月14日-09:00|日本|山口県|慶応1年9月26日|桂小五郎が木戸貫治と改名
- 1865年11月15日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「テオドシオス・ケオルギオウ・ゲルガリス」(3回目~18日)
- 1865年11月15日 04:00|トミカ共和国| |||<就任>トミカ共和国大統領(暫定政府大統領)「ペドロ・キレルモ・イ・ゲレロ」(~12. 8)
- 1865年11月15日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国閣僚評議会議長(首相)「フランシスコ・ハビエル・マリアテギ・テレリア」(~28日)
- 1865年11月15日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍レカ級砲艦「スワタ」(1129t, フィテ・ルフィア海軍工廠)
- 1865年11月17日-09:00|日本|山口県|慶応1年9月29日|高杉晋作が藩命で谷潜蔵に改名
- 1865年11月18日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「アレクサンドロス・スピリトノス・コウメントゥロス」(2回目~25日)
- 1865年11月18日 04:00|プエルトリコ/スペイン| |||<就任>プエルトリコ知事兼提督「Jose Maria Marchesi Oleaga」(~1866年)
- 1865年11月18日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|慶応1年10月|<加増>下野宇都宮藩5万石「戸田忠友」⇒77850石に戻る(⇒翌年3月、支藩高德藩1万石を分与立藩し67850石)
- 1865年11月18日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年10月1日|<解任>老中「阿部正外」|「松前崇広」
- 1865年11月19日-01:00|スロベニア/オーストリア| |||<就任>オーストリア領スロベニア総督代行「エドゥアルト・フライヘル・フォン・ハッハ」(~18670509)
- 1865年11月19日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年10月2日|將軍徳川家茂、將軍職の辞表を提出
- 1865年11月24日 06:00|アメリカ| |||ミシシッピ州が、黒人取締法制定
- 1865年11月25日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「エフ・メイノダ・ステイミティル・テリゲオルギス」(2回目~12. 10)
- 1865年11月25日-01:00|ドイツ| |||<初演>ヨハネス・ブラームス《ハガニニの主題による変奏曲(短調)》
- 1865年11月27日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年10月10日|<昇格>老中格「小笠原長行」→老中(~慶応2年10月6日)
- 1865年11月28日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国暫定閣僚評議会議長(首相)「マリア・ノ・イグナチオ・フラド・チゾア」(2回目~18670215)
- 1865年11月28日 05:00|ペルー| |||<就任>ペルー共和国大統領「マリア・ノ・イグナチオ・フラド・チゾア」(1回目18670215まで暫定最高首長、18670831まで暫定大統領~18680107)
- 1865年11月28日 10:00|ボリネシア| |||<死去>リマタラ統治者「Tamaeva2世」
- 1865年11月28日 10:00|ボリネシア| |||<就任>リマタラ統治者「Tamaeva3世」(~1876年)
- 1865年11月29日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>アングラ・ド・エイス 民政知事「Jose Guillerme Pacheco」(~18661226)

1865迄 (2324件)

- 1865年12月-05:30|インド| |||<就任>ガンブール国ジャラガナト・シカル・デオ (~1917年没)、摂政「ラル・ガジラジ・シカル・デオ」 (~1871年1月)
- 1865年12月 04:00|グレナダ/イギリス| |||<就任>グレナダ副総督「ロバート・ミラー・マンディ」 (2度目~1866年5月)
- 1865年12月1日-05:30|インド| |||<就任>チャンバカル国統治者(ハヤ)「バラブ・ハトラ・シン・デオ」 (~1896年9月没)
- 1865年12月2日-03:00|サウジアラビア| |||<死去>シャリフ首長「ファイサル1世イブン・トウキ」
- 1865年12月2日-03:00|サウジアラビア| |||<就任>シャリフ首長「アブドゥッラー-3世イブン・ファイサル」 (1度目~18710409)
- 1865年12月2日-09:00|日本|福島県東白川郡棚倉町|慶応1年10月15日|<加増>陸奥棚倉藩8万石「松平康英」+2万石
⇒8万石(⇒翌年10月27日、武蔵川越藩8万石に移封)
- 1865年12月3日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年10月16日|<解任>老中「松平康直」
- 1865年12月5日 00:00|イギリス/日本| ||慶応1年10月18日|P&O Line, London「Southampton Union」(1854, Union Steam Collier Co. 所有, Charles Lungley, Rotherhithe建造進水→1858年, P&O Line, Londonに売却)薩摩藩に売却、「櫻島丸」と改名(長門藩に売却、「乙丑丸」と改名→1871年, 廃藩置県に伴い日本政府(東京)に移籍)
- 1865年12月7日-01:00|マルタ/イギリス| |||<就任>イギリス直轄植民地マルタ総督代理「ウイリアム・ジョン・Ridley」(1期目~18661222)
- 1865年12月7日-01:00|ドイツ| |||<初演>ヨハネス・ブラームス《ホリ三重奏曲変林長調Op. 40》
- 1865年12月7日-01:00|スウェーデン| |||スウェーデンで、新議会法が可決され、4身分制度が廃止される
- 1865年12月8日 04:00|トミニカ共和国| |||<就任>トミニカ共和国大統領「フエバンチュラ・バエス・メンデス」(3回目~18660529)
- 1865年12月9日-13:00|トンガ| |||<死去>最後のトンガ大首長「サムリア・ファタフエイ・ラウフィトガ」
- 1865年12月9日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年10月22日|<就任>老中「板倉勝静」(~慶応4年1月29日)
- 1865年12月10日-02:00|ギリシャ| |||<就任>ギリシャ閣僚評議会議長「ヘンセロス・アタナシオウ・ロウフォス」(~18660621)
- 1865年12月10日-01:00|ベルギー-| |||<死去>ベルギー-国王「レオポルト1世」
- 1865年12月10日-01:00|ベルギー-| |||<就任>ベルギー-国家元首代理「シャルル・ラウール・ロジェ」(~17日)
- 1865年12月10日-01:00|ベルギー-/オランダ| |||<即位>フランド公「レオポルト」(~18690122死去)
- 1865年12月10日-09:00|日本|福岡県福岡市|慶応1年10月23日|月形洗蔵、福岡藩の勤王派弾圧で斬首
- 1865年12月12日 05:00|ジャマイカ/イギリス| |||<就任>英領サントピア総督代行「ヘンリー・ナイト・ストークス卿」(~18660716)
- 1865年12月15日 06:00|アメリカ| |||<竣工>アメリカ海軍カスコ級モニター「ヤスー」(1175t, C. H. & W. H. Crampで建造)アメリカ海軍チャールズタウン海軍工廠にて
- 1865年12月17日-01:00|オーストリア| |||<初演>フランツ・ヘーター・シュベルト《交響曲第7番短調“未完成”》D. 759
- 1865年12月17日-01:00|ベルギー-| |||<即位>ベルギー-第2代国王「レオポルト2世」レオポルト1世の長男(~19091217)
- 1865年12月18日 06:00|アメリカ| |||アメリカ憲法修正第13条が3分の2の州によって批准され奴隷制度が違法とされる
- 1865年12月18日-09:00|日本|東京都墨田区|慶応1年11月|<大相撲>慶応1年11月場所[江戸本所回向院](10日間)
幕内優勝:(東関脇)陣幕, 6勝0敗1分1預2休
- 1865年12月18日-09:00|日本|大阪府大阪市|慶応1年11月1日|<就任>大坂城代「牧野貞明」(⇒明治元(1868)年2月20日)
- 1865年12月19日-01:00|フランス| |||テンペル・タトル彗星フランスのマルセイユの天文学者エルスト・テンペルが発見
- 1865年12月19日-01:00|オランダ/日本| ||慶応1年11月2日|開陽丸、蘭国で完成進水
- 1865年12月23日-01:00|ベルギー-/フランス/イタリア/スイス| |||フランス、イタリア、ベルギー、スイスの間に、レン貨幣同盟が成立
- 1865年12月24日 06:00|アメリカ| |||南部のテネシー州で、秘密結社クー・クラックス・クランが発足する
- 1865年12月25日 06:00|アメリカ| |||アメリカ、ユニオン・ストック・ヤード社設立
- 1865年12月27日 06:00|アメリカ| |||<就役>アメリカ海軍サカス級外輪砲艦「タホマ」(1173t, フルクリン海軍工廠)
- 1865年12月27日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年11月10日|<就任>老中「松平康直」(~1868年2月5日)
- 1865年12月29日-09:00|日本|東京都千代田区|慶応1年11月12日|<解任>大老「酒井忠績」